

令和2年度

年 報



令和3年10月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

| | | |
|----------------------|-----------|-----|
| 1. 保健学部門の活動 | • • • • • | 1 |
| 2. 各分野の活動 | | |
| 2-1. 分野の活動：看護学分野 | • • • • • | 3 |
| 2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野 | • • • • • | 6 |
| 2-3. 分野の活動：検査技術科学分野 | • • • • • | 9 |
| 3. 教員の活動 | | |
| 3-1. 教員の活動：看護学分野 | • • • • • | 11 |
| 3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野 | • • • • • | 53 |
| 3-3. 教員の活動：検査技術科学分野 | • • • • • | 83 |
| 4. 教員組織および委員会一覧 | | |
| 4-1. 教員人員及び教員配置表 | • • • • • | 103 |
| 4-2. 部内委員一覧 | • • • • • | 104 |
| 4-3. 病院地区委員会 | • • • • • | 106 |
| 4-4. 全学委員会 | • • • • • | 108 |

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|----------|-----------|--|--------|
| 令和2年4月1日 | 新部門長の就任 | 保健学部門長に佐々木雅之教授が就任した。 任期は令和2年4月1日～令和4年3月31日 | |
| 令和2年4月 | 大学改革活性化制度 | 大学改革活性化制度に諸隈誠一教授を中心とする計画が採択された。 期間：令和2年度～令和6年度（5年間） 申請区分：部局改革推進枠 改革計画：アジア地域における周産期保健医療開発及びグローバル人材育成 計画に係る教員として菊地君与講師が着任した。 | 部門会議資料 |

2. 教育活動

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--------------------------------------|---------------------|--|----------------------|
| 令和2年4月6日 | 学部入学式 | 新入生名（看護：70、放射：35、検査：35）が入学した。 | 学生係資料 |
| 令和2年4月6日 | 大学院入学式 | 修士35名（看護：3、助産学：7、医用量子：12、検査技術：13）、博士5名（看護：1、医療技術：4）が入学した。 | 学生係資料 |
| 令和2年4月6日 | 大学院在学学生ガイダンス | 新型コロナウイルス感染症拡大のため専攻毎で開催した。 | 学生係資料 |
| 令和2年4月10日 | 学部在学学生ガイダンス | 新型コロナウイルス感染症拡大のためオンラインで開催した。 | 学生係資料 |
| 令和2年4月20日 | 学部新入生ガイダンス | 新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止とした。 | 学生係資料 |
| 令和2年5月18日～25日 | 国立大学保健医療学系代表者協議会 | 新型コロナウイルス感染症拡大のためメール会議で開催された。（幹事校：徳島大学） | 協議会議事録 |
| 令和2年8月17日 | 修士課程入学試験 | 48名（看護：3名、助産学：15名、医用量子：14名、検査技術：16名）が志願した。 | 学生係資料 |
| 令和2年9月10日 | 博士後期課程入学試験 | 5名（看護：2名、医療技術：3名）が志願した。 | 学生係資料 |
| 令和2年9月17日 | 保健学部門FD | 会場：オンライン（Zoom）テーマ：「遠隔授業の現状を踏まえた今後の活用に向けて！」内容：情報基盤研究開発センター・教育情報基盤研究部門 多川孝央先生より、「遠隔授業とその周辺」について講演を頂いた。その後教員間で「遠隔授業の良い点と悪い点、今後の利用法」というテーマでグループ討議を行った。 | 保健学部門FD報告書 |
| 令和2年9月25日 | 秋季学位記授与式 | 修士1名（医用量子線） 博士2名（看護：1、医療技術：1） | 保健学専攻学年暦 |
| 令和2年10月1日 | 秋季入学式 | 修士 アジア保健学コース 2名（医用量子線：2名） 博士 保健学国際コース 0名 新型コロナウイルス感染症拡大のため新入生2名の入国が間に合わずオンラインで開催した。 | 保健学専攻学年暦 |
| 令和2年11月11日 令和3年1月12日 令和3年1月19日 | 就職セミナー（放射+検査） | 参加：3年生 感染防止の観点から遠隔で、講師から就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。 | 学生委員会議事録 |
| 令和3年1月8日 令和3年3月26日 | 就職セミナー（看護） | 参加：3年生 感染防止の観点から遠隔で、講師から就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。 | 学生委員会議事録 |
| 令和3年1月16～17日 | 大学入学共通テスト | | 保健学科学年暦 |
| 令和3年1月23日 | 入学者選抜：総合型選抜Ⅱ〔第2次選抜〕 | 84名（看護：48名、放射：22名、検査：14名）が志願した。 | 学生係 資料 |
| 令和3年2月1日、5日 | 修士論文発表会 | 修士2年30名（看護：14名、医用量子：10名、検査：6名）が発表を行った。 | 保健学専攻学年暦 |
| 令和3年2月25～26日 | 入学者選抜：個別学力検査（前期日程） | 299名（看護：142名、放射：88名、検査：69名）が志願した。 | 学生係 資料 |
| 令和3年3月24日 | 卒業式・学位記授与式 | 学士146名（看護：69、放射：44、検査：33） 修士 30名（看護：7、助産：7、医用量子：10、検査：6） 博士 8名（看護：6、医療技術：2） | 保健学科 保健学専攻 学年暦 |

3. 国際交流

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--------------------|----------------------|--|------------|
| 令和2年11月20日 | 第15回九州大学保健学国際フォーラム開催 | 第1部 特別講演 演者 九州大学病院国際医療部 清水周次先生 テーマ「Telemedicine in Asia and beyond:Benefits and challenges」 第2部 Student Meeting 各分野にて海外講師より遠隔講演、各国の学生と九州大学の学生間で英語での発表と討論を行った。 | 国際フォーラム報告書 |
| 令和2年4月1日～令和3年3月31日 | SGU(スーパーグローバル大学創成支援) | (1)学部:国際医療人育成に向けた看護教育Onlineプログラム基盤構築(看護) 予算 675,000円 (2)学府:先端医用量子線技術科学オンライン交流・バーチャル教育充実化プログラム(医用量子線) 予算 648,000円 | |
| 令和2年4月1日～令和3年3月31日 | 教育の質向上支援プログラム(NEEP) | 保健学国際教育・研究におけるジェミニ・プロジェクトの構築(保健学部門/九大病院国際医療部) 予算 2,716,000円 (支援金額:1,120,000円、部局負担額:1,596,000円) 概要: 1.学生、教員の国際交流促進 2.遠隔医療教育システムの活用 | |

4. 社会連携

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--------|-----------|--|-------------------------|
| 令和2年6月 | 大学院入試説明会 | 保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要についての説明会をHP上で開催した。 | 保健学部門会議事録 入試実施委員会議事録 |
| 令和2年8月 | オープンキャンパス | 感染防止の観点から、オンラインにて、保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象としたオープンキャンパスを開催した。 | 学生委員会議事録 |
| 令和2年9月 | 公開講座 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。これに伴い、参加予定者への開催中止案内状とあわせて、「コロナ感染予防に関する啓蒙資料」「学科案内パンフレット」を送付した。 | 広報委員会資料 |

5. 主な人事異動

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------|------------------|--------------|----|
| 令和2年4月1日 | 後藤 健一 (看護・教授) | 採用 | |
| 令和3年3月31日 | 中尾 久子 (看護・教授) | 定年退職、名誉教授に選出 | |

6. 大型設備・機器の整備

| 年月日 | 分野 | 物品・事項 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

7. その他

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

2. 各分野の活動

❖ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--|---------|----------------------------------|---------|
| 令和2年4月22日 令和2年5月27日 令和2年6月24日 令和2年7月29日 令和2年9月23日 令和2年10月28日 令和2年11月24日 令和2年12月22日 令和3年1月26日 令和3年2月22日 令和3年3月24日 | 看護学分野会議 | 分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。 | 分野会議議事録 |

2. 教育活動 1) 学生・教員

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------|--------------|--|-----------------|
| 令和2年4月 | 学部生(第18期)の入学 | 担任: 藤田君支教授、宮田潤子講師、山口優助教、藤田貴子助教 | 分野会議議事録 |
| 令和3年2月18日 | 看護学分野FD | 「看護学教育におけるAIの活用」のテーマで、藪内英剛教授の講演およびグループワークを行った(地域・在宅看護領域担当) | 令和2年度看護学分野FD報告書 |

2. 教育活動 2) 実習関係

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--|-----------------------|---|-----------------|
| 令和2年4月27日(オンライン) 令和2年5月25日(オンライン) 令和2年6月22日(オンライン) 令和2年7月27日 令和2年8月24日 令和2年9月28日 令和2年10月26日 令和2年11月30日 令和2年12月21日 令和3年1月25日 令和3年2月15日 令和3年3月15日 | 実習委員会 | 各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。 | 実習委員会議事録 |
| 令和2年5月(書面会議) 令和2年7月14日 令和2年9月11日 令和2年11月13日 令和3年1月(書面会議) 令和3年3月12日 | 看護キャリアセンター会議 | 九州大学病院で行われる看護学実習に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に検討した。実習に関する教育、研究に関する検討を行った。 | 看護キャリアセンター会議議事録 |
| 令和2年度 通年 | 臨地実習に関する説明(九大病院以外) | 老年、小児、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。 老年看護学実習は、前年度の2月また当該年度4.5.8.9月に実習施設と打ち合わせを行った。 小児看護学実習Ⅰは、4月～5月、7月に8箇所の実習施設と打ち合わせを行った。 在宅看護論実習は、4～8月と12月～3月に、11ヶ所の実習施設と打ち合わせを行った。 公衆衛生看護学実習は、4月～5月にかけて3ヶ所の保健センターを訪問し、打ち合わせを行った。 助産学実習は、9-10月に3ヶ所、1月に1ヶ所の実習施設を訪問し、打ち合わせを行った。 | 実習要項 |
| 令和3年2月3日(オンライン) | 3校合同九州大学病院臨地実習打ち合わせ会議 | 九州大学病院で実習予定の他校(福岡女学院、福岡看護大学)と九州大学病院看護部とで、令和2年以降の実習予定について相互に確認、検討を行った。 | 3校合同会議議事録 |

| | | | |
|---|-----------------------|---|----------------------------------|
| 令和2年度 4月～7月 | 総合実習に関する 実習説明会 | 看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。 | 実習要項 |
| 令和2年5月11日 令和2年5月22日 令和2年9月15日 令和2年10月12日 | 福岡県公衆衛生看護学実習 連絡協議会 | 公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、保健師課程を置く県内大学等が加盟する協議会に出席した。コロナ禍における実習対応(5月2回)、各大学の各自治体実習配置(9月、10月)について協議した。 | 福岡県公衆衛生 看護学 実習連絡協議会 議事録 |
| 令和2年12月2日 | 在宅看護実習指導者連絡会 議 | 看護学専攻3年生～4年生の在宅看護論実習に関して、実習施設(訪問看護ステーション)の実習指導者に説明を行った。 | 実習指導者連絡 会議資料 |

2. 教育活動 3) 選抜試験

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------|-----------|---|---------|
| 令和3年2月17日 | 保健師課程選抜試験 | 看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者について、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。 | 分野会議議事録 |

2. 教育活動 4) 研究発表会

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------------------|------------------------|-----------------------------------|---------|
| 令和3年2月2日 | 博士後期課程 特別研究の中間発表 | 博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。 | 分野会議議事録 |
| 令和2年9月～11月 (オンライン) | 講座卒業研究中間発表会 | 看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。 | 講座会議議事録 |
| 令和2年11月24日 | 卒業研究発表会 | 医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。 | 卒業研究抄録集 |
| 令和3年2月1日 | 修士課程 看護学特別研究 の最終試験 | 修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年2月2日 | 修士課程 看護学特別研究 の中間発表会 | 修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。 | 分野会議議事録 |

2. 教育活動 5) 国家試験

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-------------------------------------|--|--|---------|
| 令和2年度 通年 | 国家試験学内模擬試験(看護師、保健師) | 4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。看護師国家試験模試計7回、保健師国家試験模試計2回 | 分野会議議事録 |
| 令和3年2月14日 令和3年2月12日 令和3年2月11日 | 第110回看護師国家試験 第107回保健師国家試験 第104回助産師国家試験 | 3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験100%、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率であった。 | 分野会議議事録 |

3. 国際交流

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|------------|---|------------------------------------|
| 令和2年11月20日 | 保健学国際フォーラム | 本年度の保健学国際フォーラムはCovid-19感染拡大のためオンラインで開催された。九州大学病院国際医療部の清水修二先生の基調講演後、看護学分野はタイのマヒドン大学とのstudent meetingをオンラインで開催した。マヒドン大学のRuttanaporn Konger先生よりご講演いただき、その後、マヒドン大学と本学学生との間で英語での発表と討論が行われた。本学からは3題の演題発表を行った。 | 第15回九州大学 保健学国際フォー ラム報告書、2020 |

4. 社会連携 1) 人材育成

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-------------------------------------|-------------------------------|---|--------------|
| 令和2年7月20日 令和2年8月25日 令和2年9月18日 | 九州大学病院臨地実習指導 者研修(一般、アドバンス) | 九州大学病院看護部の新たな臨地実習指導者48名を対象に実施 研修講師:藤田君支教授、橋口暢子教授、青本さとみ講師 | 九州大学病院資 料 |
| 令和2年8月7日 | 九州大学病院臨地実習指導 者研修(アドバンス) | 九州大学病院看護部の臨地実習指導者29名を対象に実施 研究講師:橋口暢子教授 | 九州大学病院資 料 |

4. 社会連携 2)看護教育協議会など

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-------------------|--------------------------|---|--------------------|
| 令和元年10月21日～11月10日 | 令和2年度看護学教育ワークショップ(Web開催) | 千葉大学において開催された。「看護学教育支援におけるICT活用の可能性」をテーマに、講演やGWを通して、他大学の取り組みについて相互理解を深めた。 | 分野会議議事録 |
| 令和2年6月13日 | 全国助産師教育協議会定時社員総会(書面会議) | 公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会が開催された。 | 全国助産師教育協議会定時社員総会資料 |
| 令和2年7月10日 | 国立大学助産師教育専任教員会議(Web開催) | 国立大学助産師教育加盟校により、国立大学助産師教育について協議および意見交換を行った。 | 国立大学助産師教育専任教員会議資料 |
| 令和2年8月1日 | 九州・沖縄地区助産師教育協議会(Web開催) | 九州、沖縄地区の加盟校により全国助産師教育の検討課題および教育、実習の情報交換について協議・意見交換を行った。 | 九州・沖縄地区助産師教育協議会資料 |
| 令和3年2月20日 | JANPU 国際交流推進セミナー(Web開催) | テーマ:with コロナ時代の看護学教育における国際交流・連携の実際と課題 学部教育における国際交流～九州大学の事例～(発表橋口教授) 九州大学看護学専攻における国際交流の実際について発表を行った。看護系協議会登録校より参加者209名 | JANPU活動報告書 |

4. 社会連携 3)公開講座

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

5. その他

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

❖ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--|-------------------|----------------------------------|---------|
| 令和2年4月9日 令和2年5月15日 令和2年6月4日 令和2年7月2日 令和2年9月2日 令和2年10月7日 令和2年11月4日 令和2年12月10日 令和3年1月15日 令和3年2月4日 令和3年3月2日 | 医用量子線科学分野 分野会議 | 分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。 | 分野会議議事録 |

2. 教育活動

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|---|--|--|---|
| 令和2年4月6日 | 大学院生(第14期)の入学 | オリエンテーション実施 | 分野会議議事録 |
| 令和2年4月20日 | 学部生(第18期)の入学 | 主担任:井手口准教授 副担任:杜下教授 オリエンテーション実施 | 分野会議議事録 学生便覧 |
| 令和2年5月11日 令和2年7月6日 令和2年9月7日 令和2年9月20-22日 令和2年11月9日 令和3年1月4日 令和3年1月18日 令和3年2月2日 | 国家試験学内模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試 | 医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。 | |
| 令和2年6月23日 | 令和2年度臨地実習前会議 | 放射線技術科学専攻教員と臨地実習指導者で今年度の臨地実習スケジュール、成績評価方法、実習生のコロナ感染対策について議論した。 会場:5番講義室 | 分野会議議事録 |
| 令和2年7月10, 17日 | 先端技術セミナーの開催 | 医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った。 | 分野会議議事録 先端技術セミナープログラム |
| 令和2年7月30日 | 修士および博士課程 中間発表会 | | |
| 令和2年9月26日 | 2020年度医学物理士 認定試験 | 大学院生1名中1名合格 教員1名中1名合格 | http://www.jbmp.org/certification/passers/ |
| 令和2年9月29日 | 卒業研究セミナー1 | 医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と分野内教員が参加して、卒業研究と臨地実習に関する研修会をZoomで開催した。 | 分野会議議事録 |
| 令和2年11月14, 15日 | 第15回九州放射線医療技術学術大会 | 学部4年生が参加して講演を聴講した。教員1名、大学院生2名、学部生18名が筆頭発表者として学術研究発表を行った。 | 第15回九州放射線医療技術学術大会プログラム |
| 令和2年12月2日 | 令和2年度臨地実習後会議 | 放射線技術科学専攻教員と臨地実習指導者で、学生の成績、学生のおよび指導者のアンケート結果、来年度の臨地実習スケジュールについて議論した。 会場:5番講義室 | 分野会議議事録 |

| | | | |
|---------------|-----------------|---|-------------------------|
| 令和2年12月3, 4日 | 卒業研究発表会 | 医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生44名が卒業研究の成果発表を行った。 | 分野会議議事録 卒業研究発表会プログラム |
| 令和3年2月5日 | 修士研究発表会 | 医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士2年生10名が修士研究の成果発表を行った。 | 分野会議議事録 修士研究発表会プログラム |
| 令和3年2月15, 16日 | 卒業研究セミナー2 | 医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生を対象に卒業研究紹介のオープンラボを開催した。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年2月18日 | 第73回診療放射線技師国家試験 | 46名が受験し36名が合格した（既卒者2名含む）。 新卒合格者は81.8%（36/44名）、既卒者は0% | 官報 |

3. 国際交流

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|---------------------------------------|--|--|
| 令和2年9月5日 | 留学生のリクルート活動 | 現地への訪問が難しい状況において、交流実績のあるバンドン工科大学へのオンライン訪問により、先端医用量子線技術科学に関するオンライン交流会を開き、九大の紹介、研究交流を行い、友好的な関係の継続を互いに確認した。（有村秀孝教授） | 2020（令和2）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和2年11月20日 | 第15回九州大学保健学国際フォーラム Student Meeting | オンライン開催：Prof. Kwan Hoong Ng 氏（Department of Biomedical Imaging, Faculty of Medicine, University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia）を講師に迎え講演会を開催。講演会後のstudent meetingでは、Malaysiaの学生1名がマラヤ大学での研究について、Chinaの研究生2名は日本と中国について、当分野の大学院5名はタイ、台湾への留学リポートを報告し、学生間の国際交流を推進した。 | 2020（令和2）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和2年12月16日 | 留学生のリクルート活動 | 現地への訪問が難しい状況において、交流実績のあるベトナム国立大学科学大学ホーチミンへのオンライン訪問により、先端医用量子線技術科学に関する国際シンポジウムを開き、九大の紹介、研究交流を行い、友好的な関係の継続を互いに確認した。（佐々木雅之部門長、藪内分野長、有村秀孝教授） | 2020（令和2）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |

4. 社会連携

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------|------------------------|--|------------------|
| 令和2年11月4日 | 第20回国立大学診療放射線技師教育施設協議会 | Webにて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。（藪内英剛教授） | 分野会議議事録 会議報告書 |
| 令和2年11月4日 | 第65回全国診療放射線技師教育施設協議会 | Webにて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。（藪内英剛教授） | 開催プログラム |

5. その他

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|----------------|--|--|---|
| 令和2年10月17, 18日 | PHITS講習会の開催(Web) | 粒子・重イオン輸送計算コードPHITS講習会を、保健学科共催により、webで開催した。学内外から約20名が参加した。 | |
| 令和2年12月19日 | 2020年度第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 (Zoom) | 臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会をオンライン開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒業教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 ・帝京大学 福岡医療技術学部 前畑 京介先生「気体GEM検出器を用いたがん治療用重粒子線ビームの線量分布モニター技術の開発」 ・高麗大学大学院 Kihyun Kim 先生（英語講演） “Semiconductor-based Radiation detector and Imaging system” ・名古屋市立大学病院 國友 博史先生「診断領域における物理的画質特性についてと放射線治療領域への活用」 参加者90名 | http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/ |

| | | | |
|----------------|--|--|---|
| 令和2年12月27, 28日 | 放射線取扱主任者試験第1種国家試験 | 合格者 学部2年生1名、学部3年生19名、学部4年生2名、大学院生4名 | 官報 |
| 令和3年1月9日 | 2020年度第2回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 (Zoom) | 臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会をオンライン開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒後教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 ・大分県立看護科学大学 甲斐 倫明先生「実効線量の意味合いとその適用について」 ・福岡大学病院 長町 茂樹先生「核医学update - radiotheranosticsについて-」 ・藤田医科大学 寺本 篤司 先生「がん診療および治療における人工知能の応用とその可能性」 参加者96名 | http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/ |

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

❖ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|------------------|----------------------------------|---------|
| 令和2年4月22日 | 検査技術科学分野 分野会議 | 分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。 | 分野会議議事録 |
| 令和2年5月27日 | | | |
| 令和2年6月24日 | | | |
| 令和2年8月26日 | | | |
| 令和2年9月30日 | | | |
| 令和2年10月28日 | | | |
| 令和2年11月25日 | | | |
| 令和2年12月23日 | | | |
| 令和3年1月27日 | | | |
| 令和3年2月17日 | | | |
| 令和3年3月31日 | | | |

2. 教育活動

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------------------------------|-------------------|--|---------|
| 令和2年4月7日 | 新入生研修 | 新入生に対し入学時ガイダンスおよび研修を実施した。 | 分野会議議事録 |
| 令和2年12月8日 | 九大病院検査部との臨地実習反省会 | 九州大学病院検査部部長、技師長、副技師長、臨地実習担当の臨床検査技師の部署責任者と、保健学部門検査技術科学分野教員間で、令和2年度臨地実習の実施状況報告と令和3年度の実施計画について討議した。 | 分野会議議事録 |
| 令和2年12月10日 | 大学院博士課程・修士課程中間発表会 | 修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表を行った。 | 分野会議議事録 |
| 令和2年12月18日 | 卒業研究発表会 | 医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。 | 分野会議議事録 |
| 令和2年9月12日 令和2年11月7日 令和3年1月9日 | 国家試験模擬試験 | 検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対策として、2回の校内模試と3回の国試業者模試を実施した。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年3月5日 | 修士課程論文審査会 | 修士課程大学院生の修士論文審査会が行われた。 | 分野会議議事録 |

3. 国際交流

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|---|--|-----------------|
| 令和2年11月20日 | The 15th International Forum of Health Sciences. Student Meetingの開催 | Pamukkale University (Turkey)からProf. Mehmet Bulent ÖZDEMİRを招聘してSpecial Lecture “The use of metformin as antiepileptic agent” のオンライン講演を依頼。また、National Taiwan University (Taiwan)の学生 Mr. Chao Shao Yu と検査分野大学院生7名によるStudents Presentationをオンライン討論を行った。 | 地域国際連携・FD委員会議事録 |

4. 社会連携

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

5. その他

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《統合基礎看護学》

| | |
|----|---------|
| 教授 | 中尾 久子 |
| 教授 | 後藤 健一 |
| 教授 | 橋口 暢子 |
| 教授 | 藤田 君支 |
| 講師 | 丸山 マサ美 |
| 講師 | 松尾 和枝 |
| 講師 | 松永 由理子 |
| 講師 | 能登 裕子 |
| 講師 | 青本 さとみ |
| 助教 | 前野 里子 |
| 助教 | 山口 優 |
| 助教 | 木原 深雪 |
| 助教 | 松本 美晴 |
| 助教 | 相星 香 |
| 助教 | 藤田 香奈恵 |
| 助教 | 薬師寺 佳菜子 |
| 助教 | 道面 千恵子 |
| 助教 | 酒井 久美子 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|-------------------|-------|-----|
| ヘルスサイエンス論(分担) | 中尾 | 前期 |
| 健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担) | 中尾 | 前期 |
| 健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担) | 中尾 | 後期 |
| 看護学研究方法論Ⅰ(分担) | 中尾 | 春学期 |
| 医療と生命倫理(分担) | 中尾 | 後期 |
| 看護組織・マネジメント論(分担) | 中尾 | 後期 |
| 国際社会とチーム医療(分担) | 後藤 | 前期 |
| 看護教育方法開発学Ⅰ | 橋口 | 前期 |
| 看護研究方法論Ⅰ(分担) | 橋口 | 春学期 |
| 看護教育論(分担) | 橋口 | 前期 |
| 基礎看護学特論Ⅰ(分担) | 橋口 | 前期 |
| 基礎看護学特論Ⅱ(分担) | 橋口 | 後期 |
| 看護組織・マネジメント論(分担) | 橋口 | 後期 |
| 国際プレゼンテーション(橋口教授) | 橋口 | 通年 |
| 健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担) | 藤田(君) | 前期 |
| 健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担) | 藤田(君) | 後期 |
| 国際プレゼンテーション(藤田教授) | 藤田(君) | 通年 |
| 臨床看護学特論Ⅰ(分担) | 藤田(君) | 通年 |

| | | |
|------------------|-------|-----|
| 臨床看護学特論Ⅱ(分担) | 藤田(君) | 通年 |
| 保健学研究論(分担) | 藤田(君) | 前期 |
| 生命倫理学 | 丸山 | 春学期 |
| 医療と生命倫理(分担) | 丸山 | 後期 |
| 看護教育論(分担) | 松尾 | 前期 |
| 看護組織・マネジメント論(分担) | 松尾 | 後期 |
| 医療と生命倫理(分担) | 松尾 | 後期 |
| 臨床看護学特論Ⅰ(分担) | 松永 | 通年 |
| 臨床看護学特論Ⅱ(分担) | 松永 | 通年 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 松永 | 夏学期 |

2. 大学院実験・実習なし

3. 大学院演習

| | | |
|---------------|-------|----|
| 保健学特別研究(中尾教授) | 中尾 | 通年 |
| 看護学特別研究(中尾教授) | 中尾 | 通年 |
| 保健学特別研究(橋口教授) | 橋口 | 通年 |
| 看護学特別研究(橋口教授) | 橋口 | 通年 |
| 看護教育方法開発学Ⅱ | 橋口 | 後期 |
| 保健学特別研究(藤田教授) | 藤田(君) | 通年 |
| 看護学特別研究(藤田教授) | 藤田(君) | 通年 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|-------|--------------------------------|
| 西田 彩子 | 中堅看護師の看護実践能力と経験年数および個人背景要因との関係 |
| 中島 紀江 | 成人女性における下肢のむくみと月経周期の関連 |
| 吉田恵美 | 糖尿病透析予防指導に関する後ろ向きコホート研究 |

5. 大学院博士課程修了者

| | |
|---------------------|--|
| 富田祐亮 | Relationship between casual serum triglyceride levels and the development of hypertension in Japanese |
| 姜旻廷 (SouthKorea) | Elaborate evaluation of serial changes in electrocardiograms of atrial septal defects after transcatheter closure for a better understanding of the recovery process |
| 田中るみ | Development and evaluation of the sedentary behavior and light-intensity physical activity questionnaire |
| 田中さとみ | Relationships of accelerometer-determined physical activity with obesity, hypertension, diabetes, dyslipidemia, and health-related quality of life in patients after liver transplantation |
| 村井孝子 | Individual and Organizational Factors Affecting Ethical Behavior among Hospital Nurses |
| 新 裕紀子 | Verification of Reliability and Validity of the Development of Growth Motivation Scale for Nurses |

6. 学部講義

| | | |
|--------------|----|-----|
| 老年看護学概論(分担) | 中尾 | 夏学期 |
| 老年看護学各論Ⅰ(分担) | 中尾 | 冬学期 |
| 老年看護学各論Ⅱ(分担) | 中尾 | 前期 |

| | | |
|---------------|-------|-----|
| 医療倫理・看護倫理 | 中尾 | 夏学期 |
| 医学総論Ⅰ(分担) | 後藤 | 秋学期 |
| 臨床病態学(分担) | 後藤 | 後期 |
| 国際保健と医療(分担) | 後藤 | 後期 |
| 人体の構造と機能Ⅰ(分担) | 後藤 | 前期 |
| 公衆衛生学 | 後藤 | 春学期 |
| 臨床倫理(分担) | 橋口 | 後期 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 橋口 | 春学期 |
| 看護研究Ⅱ(分担) | 橋口 | 夏学期 |
| 看護教育論 | 橋口 | 秋学期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 橋口 | 前期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 橋口 | 後期 |
| 看護過程論(分担) | 橋口 | 後期 |
| 看護理論(分担) | 橋口 | 夏学期 |
| 看護学概論(分担) | 橋口 | 春学期 |
| 国際保健と医療(分担) | 橋口 | 秋学期 |
| 成人看護学概論 | 藤田(君) | 秋学期 |
| 成人慢性期看護論Ⅱ(分担) | 藤田(君) | 前期 |
| がん看護論(分担) | 藤田(君) | 夏学期 |
| 成人慢性期看護論Ⅰ(分担) | 藤田(君) | 春学期 |
| インフォームド・コンセント | 丸山 | 前期 |
| 薬害 | 丸山 | 前期 |
| バイオエシックス入門 | 丸山 | 春学期 |
| バイオエシックス入門 | 丸山 | 夏学期 |
| コミュニケーション論 | 丸山 | 冬学期 |
| 医療倫理学Ⅰ | 丸山 | 秋学期 |
| 医療倫理学Ⅱ | 丸山 | 冬学期 |
| 課題例示科目 Life | 丸山 | 後期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 松尾 | 前期 |
| 看護学概論(分担) | 松尾 | 春学期 |
| 看護管理(分担) | 松尾 | 秋学期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 松尾 | 後期 |
| 看護過程論(分担) | 松尾 | 後期 |
| 成人急性期看護論Ⅰ(分担) | 松永 | 春学期 |
| 成人急性期看護論Ⅱ(分担) | 松永 | 前期 |
| 精神保健・疾病論(分担) | 青本 | 前期 |
| 精神看護学各論(分担) | 青本 | 前期 |
| 精神看護学概論(分担) | 青本 | 後期 |
| 成人急性期看護論Ⅰ(分担) | 山口 | 春学期 |
| 成人急性期看護論Ⅱ(分担) | 山口 | 前期 |
| クリティカルケア論(分担) | 山口 | 秋学期 |
| 精神保健・疾病論(分担) | 木原 | 前期 |
| 精神看護学各論(分担) | 木原 | 前期 |
| 看護過程論(分担) | 松本 | 後期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 松本 | 前期 |

| | | |
|---------------|-------|-----|
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 松本 | 後期 |
| 看護管理(分担) | 松本 | 秋学期 |
| 看護理論(分担) | 松本 | 夏学期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 藤田(香) | 前期 |
| 看護過程論(分担) | 藤田(香) | 後期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 藤田(香) | 後期 |
| 成人慢性期看護論Ⅰ(分担) | 薬師寺 | 春学期 |
| がん看護論(分担) | 薬師寺 | 夏学期 |
| 成人慢性期看護論Ⅱ(分担) | 薬師寺 | 前期 |
| 看護理論(分担) | 道面 | 夏学期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 道面 | 前期 |
| 看護過程論(分担) | 道面 | 後期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 道面 | 後期 |
| 看護学概論(分担) | 道面 | 春学期 |
| 老年保健・疾病論(分担) | 酒井 | 秋学期 |
| 老年看護学各論Ⅰ(分担) | 酒井 | 冬学期 |
| 老年看護学各論Ⅱ(分担) | 酒井 | 前期 |
| 老年看護学概論(分担) | 酒井 | 夏学期 |
| 成人慢性期看護論Ⅰ(分担) | 前野(里) | 春学期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|---------------------------|-------|-----|
| 老年看護学実習(分担) | 中尾 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 中尾 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 中尾 | 後期 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 橋口 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 橋口 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 藤田(君) | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 藤田(君) | 後期 |
| 総合実習(分担) | 藤田(君) | 通年 |
| 老年看護学実習(分担) | 藤田(君) | 前期 |
| 看護研究Ⅳ アドバンス コミュニケーション論 | 藤田(君) | 通年 |
| 医療倫理学Ⅰ | 丸山 | 冬学期 |
| 医療倫理学Ⅱ | 丸山 | 秋学期 |
| 課題例示科目 Life | 丸山 | 冬学期 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 丸山 | 後期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 松尾 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 松尾 | 後期 |
| 老年看護学実習(分担) | 松尾 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 松永 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ | 松永 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ | 松永 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 松永 | 後期 |
| 精神看護学実習(分担) | 青本 | 前期 |
| | 青本 | 後期 |

| | | |
|-----------------|-------|----|
| 老年看護学実習(分担) | 山口 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 山口 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 山口 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 山口 | 通年 |
| 総合実習(分担) | 山口 | 前期 |
| 精神看護学実習 | 木原 | 後期 |
| 精神看護学実習(分担) | 木原 | 後期 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 松本 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 松本 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 松本 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 相星 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 相星 | 後期 |
| 老年看護学実習(分担) | 相星 | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 相星 | 通年 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 藤田(香) | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 藤田(香) | 後期 |
| 総合実習(分担) | 藤田(香) | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 薬師寺 | 通年 |
| 成人老年看護学実習Ⅰ(分担) | 薬師寺 | 後期 |
| 成人老年看護学実習Ⅱ(分担) | 薬師寺 | 後期 |
| 老年看護学実習(分担) | 薬師寺 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 薬師寺 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 道面 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 道面 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 道面 | 通年 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 酒井 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 酒井 | 後期 |
| 老年看護学実習(分担) | 酒井 | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 酒井 | 通年 |
| 老年看護学実習(分担) | 前野(里) | 前期 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|--------|--|
| 柏木 涼香 | 病棟看護師による ACP を用いた患者の意思決定支援に関する文献検討-現在の課題と今後の取り組みに焦点を当てて- |
| 寺井 穂夏 | がん患者の倦怠感緩和に対するアロマセラピーケアの実践内容と効果 |
| 伊藤 舞 | 外来透析患者に対する自己管理支援の効果に関する文献的研究 |
| 田中 暢也 | 高血圧患者に対する減塩指導を目的とした食塩摂取量の評価方法に関する文献検討 |
| 大橋 知代 | 術前患者の不安への看護に関する文献検討 |
| 中尾 桜 | 看護学臨地実習における指導者と学生が抱く困難感とその相互作用 |
| 肥田木 梨恵 | フライトナースの看護実践の特徴に関する文献研究 |
| 高田 麻衣 | 被災により子どもが示した反応に関する文献研究 |
| 土田 美穂 | 術後乳がん患者におけるボディイメージの変容の受け止め方 |
| 廣石 芽生 | タッチングの看護実践としての効果に関する文献研究 |
| 松本 滯 | 脳卒中に罹患した患者の退院後の QOL とその影響要因に関する文献検討 |
| 原田 梨花 | 脳死下臓器提供プロセスにおける看護師が抱く困難感に関する文献検討 |

| | |
|------------------|--|
| 中本 映里 | 慢性疾患を持つ患者に対して看護師が行っているストレングスモデルを活用した関わりの効果 |
| 倉 洋明 | 統合失調症患者を対象とする認知行動療法を用いた看護の実際 |
| 陣内 香織 | 統合失調症患者をきょうだいに持つ人の思いの変化と支援 |
| 春山 奈菜 | 新人看護職員が就職後に受けるリアリティショックへの支援と課題に関する文献検討 |
| 村上 雅未 | 災害時の発災直後から急性期における看護師の意識に関する文献検討 |
| 森下 友稀 | 外来通院患者における満足度調査の現状と課題 |
| 加藤 亜美 | 成人に対するタッチングの方法と効果における文献検討 |
| 津田 麗央 | 成人のメタボリックシンドロームに対する介入研究の現状 |
| 森本 拓磨 | 終末期がん患者の体験に関する文献研究 |
| 松本 美祐 | 疾患を有する患者に対する禁煙指導の検討 |
| 堤 萌々香 | 看護学実習における学生と患者の良い関係構築過程に関する文献研究 |
| 黒木 里奈 | 高齢者の口腔ケア効果に関する文献検討 |
| 原田 知佳 | 高齢者の主観的健康感を向上させる要因とその介入についての検討 |
| 江口 京香 (アドバンス) | 保存期慢性腎臓病患者に対する介入研究のレビューとデータ分析 |
| 田浦 詩乃 (アドバンス) | 不登校支援における医療的介入についての文献レビュー |
| 正木 友梨 | 終末期がん患者に関する文献研究-患者の QOL に焦点を当てた看護の一考察- |
| 森崎 那々 | 僻地医療における訪問看護に関する文献研究 |
| 橋本 栄一 | 終末期患者の看護場面におけるコミュニケーション |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

道面 顧問 バスケットボール(保健学科)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | |
|---|-------|
| 1 医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ(がん医療、看護) | 中尾 |
| 2 高齢者特有の症状と QOL に関する研究 | 中尾 |
| 3 ストレスおよび生活行動の関連性、看護者の well-being | 中尾 |
| 4 高齢者の身体拘束と QOL | 中尾 |
| 5 家庭血圧と臓器障害に関する研究 | 後藤 |
| 6 心血管疾患発症予防につながる危険因子・防御因子の同定に関する研究 | 後藤 |
| 7 高血圧と血管内皮機能障害 | 後藤 |
| 8 医療従事者における個人防護衣着用と熱ストレス | 橋口 |
| 9 医薬品添付文書の活用における実態とその要因 | 橋口 |
| 10 女性の下肢疲労、むくみ発生に関する研究 | 橋口 |
| 11 低強度身体活動量を測定する尺度開発 | 藤田(君) |
| 12 コミュニケーション教育・研究-看護のためのマイクロカウンセリング- | 丸山 |

| | | |
|----|--|-------|
| 13 | 古医書・貴重書の書誌的研究-史料を活用した倫理教育・研究- (九州大学医学部における史料研究-新しい「医の倫理」教育方法論の構築-) | 丸山 |
| 14 | 生殖補助医療における生命倫理研究 | 丸山 |
| 15 | 看護職のキャリアディベロップメントに向けた支援の検討 | 松尾 |
| 16 | 認知症と視覚情報との関連についての研究 | 松尾 |
| 17 | 緑内障患者の点眼アドヒアランス向上に関する研究 | 松尾 |
| 18 | 人工股関節/膝関節手術患者の身体活動量と QOL に関する研究 | 松永 |
| 19 | 慢性閉塞性肺疾患患者の身体活動量と QOL に関する研究 | 松永 |
| 20 | 高齢者の転倒予防に向けた身体感覚・日常生活動作の評価 | 能登 |
| 21 | 外来通院中の精神障がい者を抱えた家族のリカバリーの実態とその構造 | 青本 |
| 22 | 2型糖尿病高齢者の身体活動と睡眠に関する研究 | 前野(里) |
| 23 | 2型糖尿病患者の身体活動に関する研究 | 前野(里) |
| 24 | 救急看護コンピテンシーの評価尺度の開発と検証 | 山口 |
| 25 | 依存症中間施設通所者の回復促進方法の検討 | 木原 |
| 26 | アルコール依存症者の感情体験 | 木原 |
| 27 | アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラム開発の検討 | 木原 |
| 28 | 末梢静脈カテーテル留置における効果的な静脈怒張を促すための研究 | 松本 |
| 29 | 家族看護学全般に関する研究難治性疾患患者・家族の支援臨床看護師の教育・研究活動に関する研究 | 相星 |
| 30 | 人工関節患者における術前の期待とその到達度、QOL に関する調査 | 薬師寺 |
| 31 | 看護師と保健師の健康教育ビリーフ | 道面 |
| 32 | 高齢者の口腔ケア | 酒井 |
| 33 | 持続陽圧呼吸 (CPAP) 療法を受ける患者の治療アドヒアランスに関する研究 | 藤田(香) |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

中尾 久子

- 「基盤研究(C)」C 型肝炎ウイルス排除後患者のセデンタリーライフスタイルと肝がん発症との関連，中尾(分担)
- 「基盤研究(C)」一般病棟での術後せん妄ケアにおける家族のケア参加プロトコールの構築，中尾(分担)
- 「基盤研究(B)」高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築，中尾(分担)
- 「基盤研究(C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発，中尾(代表)

後藤 健一

- 「基盤研究(B)」心房細動患者の至適降圧レベルを検討する無作為化比較試験，後藤(分担)
- 「基盤研究(C)」若年高血圧に関連する口腔内・腸内細菌を探索し予防と治療につなげる研究，後藤(分担)

橋口 暢子

- 「基盤研究(B)」高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成，橋口(代表)

- 高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築, 橋口(分担)

藤田 君支

- 「基盤研究(C)」糖尿病をもつ高齢者における睡眠と身体活動量に関する研究, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」在宅高齢者のヘルスリテラシーと口腔に関連した健康関連 QOL の関連性の解明, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」人工関節術後高齢者における身体不活動ライフスタイル予防の包括的看護モデルの開発, 藤田(君)(代表)
- 「基盤研究(C)」認知症ワーキングケアラーのエンパワメントを高める教育支援プログラムの開発と検証, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」C型肝炎ウイルス排除後患者のセデンタリーライフスタイルと肝がん発症との関連, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」高齢糖尿病患者における座位行動改善への介入方法の開発と検証, 藤田(君)(分担)

松尾 和枝

- 「若手研究」原発開放隅角緑内障患者の主観的・客観的視覚を基盤とした治療支援プログラムの開発, 松尾(代表)

松永 由理子

- 「基盤研究(C)」慢性閉塞性肺疾患管理に特化した自己効力感尺度の開発とその臨床応用可能性の検討, 松永(分担)
- 「基盤研究(C)」自己教示法・問題解決法を応用した呼吸困難を改善する新たな生活指導プログラムの開発, 松永(分担)
- 「基盤研究(B)」COPD プロアクティブリサーチシステム構築のための横断的、および縦断的探索, 松永(分担)
- 「基盤研究(C)」在宅の要介護高齢者と家族介護者への補完代替療法としての有効な看護介入モデルの開発, 松永(分担)

能登 裕子

- 「基盤研究(C)」リスクゼロ段階からの転倒予防介入指針の開発-身体感覚と運動機能のズレによる層別化, 能登(代表)

青本 さとみ

- 「基盤研究(C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発, 青本(分担)

山口 優

- 「若手研究」救急看護コンピテンシーの評価尺度の開発と検証, 山口(代表)

松本 美晴

- 「若手研究」PIVC における穿刺静脈の血管怒張を促すために有効な温罨法の加温条件の検討, 松本(代表)

薬師寺 佳菜子

- 「研究活動スタート支援」人工膝/股関節全置換術患者におけるデジタルヘルスを活用した看護支援モデルの構築, 薬師寺(代表)

酒井 久美子

- 「基盤研究(C)」虚弱高齢者に対する口腔ケアシステムの作成, 酒井(代表)

前野 里子

- 「基盤研究(C)」糖尿病をもつ高齢者における睡眠と身体活動に関する研究, 前野里(代表)
- 「基盤研究(C)」高齢糖尿病患者における座位行動改善への介入方法の開発, 前野里(代表)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「公益財団法人 三井住友海上福祉財団「人工股関節再置換(revision)術を受けた高齢患者の生活活動量と健康関連 QOL の検証」」公益財団法人 三井住友海上福祉財団, 松永, 500 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

- 学会誌・学術専門誌

- Yukiko Arata, Hisako Nakao, Tatsuyuki Kakuma: Verification of Reliability and Validity of the Development of Growth Motivation Scale for Nurses, *Fukuoka Acta Medica*, 112, 1, -, 2021 年 03 月.
- Takako MURAI, Hisako NAKAO, Masahiro NAKANO: Individual and organizational factors affecting ethical behavior among hospital nurses, *Fukuoka Acta Medica*, 111, 4, -, 2020 年 12 月.
- Yusuke Tomita, Satoko Sakata, Hisatomi Arima, Ikumi Yamato, Ai Ibaraki, Toshio Ohtsubo, Kiyoshi Matsumura, Masayo Fukuhara, Kenichi Goto, Takanari Kitazono: Relationship between casual serum triglyceride levels and the development of hypertension in Japanese, *J Hypertens*, , 2020 年 11 月.

- Fuyoko Kawashima Bori, Masayo Fukuhara, Chihiro Masaki, Yuko Ohta, Ikuo Nakamichi, Satoko Sakata, Kenichi Goto, Shota Kataoka, Satoko Kakuta, Masanori Iwasaki, Toshihiro Ansai, Ryuji Hosokawa: The relationship between masticatory performance and intakes of foods and nutrients in Japanese male workers: A cross-sectional study, *J Oral Rehabil*, 47, , 1142 – 1149, 2020 年 09 月.
- Mayu Higashioka, Satoko Sakata, Takanori Honda, Jun Hata, Mao Shibata, Daigo Yoshida, Kenichi Goto, Takanari Kitazono, Haruhiko Osawa, Toshiharu Ninomiya: The Association of Small Dense Low-Density Lipoprotein Cholesterol and Coronary Heart Disease in Subjects at High Cardiovascular Risk, *J Atheroscler Thromb.*, , 2020 年 04 月.
- Satoko Sakata, Jun Hata, Takanori Honda, Yoichiro Hirakawa, Emi Oishi, Mao Shibata, Daigo Yoshida, Kenichi Goto, Takanari Kitazono, Toshiharu Ninomiya: Serum Uric Acid Levels and Cardiovascular Mortality in a General Japanese Population: The Hisayama Study, *Hypertens Res*, 43, , 560 – 568, 2020 年 06 月.
- 黒川 雄平, 廣瀬 仁美, 立石 礼望, 東 八千代, 能登 裕子, 橋口 暢子: 若年健康成人男女における清拭時の乾拭の有無が及ぼす生理的・主観的反応, *日本生理人類学会誌*, 25, 4, 79 – 88, 2020 年 11 月.
- Rumi Tanaka, Kimie Fujita, Kiyoko Makimoto, Kanako Yakushiji, Satomi Tanaka, Goro Motomura, Masanori Fujii, Satoshi Ikemura, Yasuharu Nakashima: Development and evaluation of the sedentary behavior and light-intensity physical activity questionnaire, *Journal of Physical Therapy Science*, 33, 2, 125 – 131, 2021 年 02 月.
- Satomi Tanaka, Kimie Fujita, Kiyoko Makimoto, Maki Kanaoka, Kanako Yakushiji, Rumi Tanaka, Noboru Harada, Tomoharu Yoshizumi: Relationships of accelerometer-determined physical activity with obesity, hypertension, diabetes, dyslipidemia, and health-related quality of life in patients after liver transplantation, *Clinical transplantation*, 34, 12, 1 – 13, 2020 年 10 月.
- Kiyoko Makimoto, Kimie Fujita, Rie Konno: Review and synthesis of the experience of patients following total hip or knee arthroplasty in the era of rapidly decreasing hospital length of stay, *Japan Journal of Nursing Science*, 17,4, e12361 , 2020 年 08 月.
- Satomi Tanaka, Kimie Fujita, Maki Kanaoka, Kiyoko Makimoto, Kanako Yakushiji, Rumi Tanaka, Noboru Harada, Toru Ikegami, Tomoharu Yoshizumi: Prospective study of objective physical activity and quality of life in living donor liver transplant recipients, *Japan Journal of Nursing Science*, 17, 4, e12362, 2020 年 10 月.
- Yuriko Matsunaga, Kimie Fujita, Shuya Ide, Yasuko Tabuchi, Masaaki Mawatari, Kiyoko Makimoto: Changes in actual daily physical activity and patient-reported outcomes up to 2 years after total knee arthroplasty with arthritis, *Geriatric Nursing*, 2020 年 07 月.
- Sayori Sakanashi, Kimie Fujita: Development of the empowerment scale for family caregivers of community-dwelling people with dementia in Japan, *Japan Journal of Nursing Science*, 17, 2, – , 2020 年 04 月.
- 東八千代, 能登裕子, 立石礼望, 黒川雄平, 松本美晴, 松尾和枝, 橋口暢子: 看護学実習における長時間立位活動に伴う下肢むくみの発生状況とその要因, *人間と生活環境*, 28, 1, 1 – 8, 2020 年 11 月.

- 高木雄作, 能登裕子: 小規模介護施設職員の離職要因に関する研究～職務満足度尺度調査を用いた検討～, *作業療法佐賀*, 10, 1, 9 - 16, 2021年03月.
- Umpei Yamamoto, Sayaka Soda, Kanae Fujita, Hiroyuki Sawatari & Shin-ichi Ando: Gender differences in the preference for upper airway stimulation therapy among Japanese patients with obstructive sleep apnea already treated with continuous positive airway pressure, *Sleep and Biological Rhythms*, , 18, 313 - 319, 2020年05月.
- **国際会議・国際学会などのプロシーディングス**
 - Hisako Nakao, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Satomi Aomoto, Kumiko Sakai Miyuki Uhsio: A literature review on ethics education for nurses working in hospitals in Japan - Aiming at educational reform through collaboration between hospitals and educational institutions, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (The 6th WANS), 2020年06月, Japan.
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- **調査研究報告**
 - 大橋綾子 池田智子 花田敦子 青本さとみ: Post Intensive Care Syndrome(PICS):敗血症により当院で集中治療を受けた患者の退院後の精神障害及び心理面に関する質的研究, 公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団 研究助成報告集 第32号 P23-25, 2020年06月.
- **国内学会での講演, 発表**
 - 中尾久子, 潮みゆき, 酒井久美子, 青本さとみ, 金岡麻希, 木下由美子: 病院看護師の道徳的感受性, 倫理的行動の基礎調査 一道徳的感受性, 倫理的行動の特性一, 第40回日本看護科学学会学術集会, 2020年12月, オンライン開催.
 - 中尾久子, 青本さとみ, 酒井久美子, 潮みゆき, 金岡麻希, 木下由美子: 病院看護師の倫理研修に関する意識, 第32回日本生命倫理学会年次大会, 2020年12月, オンライン開催.
 - 山口恭平, 中尾久子, 酒井久美子: 中堅看護師の同僚間における対人ストレス, 対人ストレスコーピング, 精神的健康の関連, 日本看護研究学会第46回学術集会, 2020年08月, 札幌コンベンションセンター.
 - 中尾久子, 青本さとみ, 潮みゆき, 酒井久美子: 病院看護師の道徳的感受性, 倫理的行動の実態一看護倫理の研修・教育のあり方の検討をめざして一, 日本看護倫理学会 第13回年次大会, 2020年05月.
 - 中島紀江, 檜木ゆうか, 立石礼望, 藤田香奈恵, 橋口暢子: 成人女性における下肢むくみと月経周期の関連, 日本人間工学会九州・沖縄支部会第41回大会(福岡市), 2020年12月, .
 - 田中さとみ, 藤田君支, 吉住朋晴: 万歩計型加速度計による生体肝移植後患者の身体活動量の評価, 第38回日本肝移植学会学術集会, 2021年02月, オンライン開催.
 - 潮みゆき, 田中さとみ, 田中るみ, 薬師寺佳菜子, 金岡麻希, 藤田君支: 肝移植レシピエントの低強度活動を測定できる簡易身体活動調査票(改訂版 SQUASH)の開発, 第40回日本看護科学学会学術集会, 2020年12月, オンライン開催.

- 田中るみ、藤田君支：下肢人工関節置換術後患者の低強度身体活動に影響を及ぼす因子，第40回日本看護科学学会学術集会，2020年12月，オンライン開催。
- 丸山マサ美：九州大学医学図書館における著書『看護と教育の探求』追悼展示，日本医史学会福岡地方会，福岡ガーデンパレス，2020年8月
- 丸山マサ美：理事会セッションⅡ研究活動推進委員会企画，歴史研究で心掛けていること—論文投稿の経験、資料の集め方を中心に—，司会，日本看護歴史学会第34回学術集会講演集76頁，徳島文理大学保健福祉学部看護学科2020年9月4日
- 丸山マサ美：著書『看護と教育の探求』と岡本陽子の生涯，日本看護歴史学会第34回学術集会講演集92頁，徳島文理大学保健福祉学部看護学科，2020年9月4日
- 丸山マサ美、木村利人、鈴木美香、川勝和哉：中・高・大学連携におけるバイオエシックス教育，日本生命倫理学会第32回年次大会ワークショップ開催，静岡大学，2020年12月
- 丸山マサ美：九州大学生体解剖事件関係資料を巡って，日本医史学会福岡地方会，2021年02月。
- 松尾 和枝：Information-Motivation-Behavioral Skills モデルを基盤とした看護介入モデルの構築—緑内障患者の点眼アドヒアランスに焦点をあてて—，第1回理論看護研究会，2021年03月，オンライン開催。
- 野呂呂勇，能登裕子，伊部亜紀，小野保，戸上英憲，中川翔：教育講演「気軽に実験しませんか」，第2回看護人間工学会学術集会，2020年09月，オンライン開催。
- 中尾久子 青本さとみ 酒井久美子 潮 みゆき 金岡麻希 木下由美子 3：病院看護師の倫理研修に関する意識，第32回日本生命倫理学会年次大会，2020年12月，静岡。
- 中尾久子 木下由美子 金岡麻紀 牛尾美幸 青本さとみ 酒井久美子：病院看護師の道徳的感受性、倫理的行動の基礎調査—道徳的感受性、倫理的行動の特性—，第40回看護科学学会，2020年12月，東京(ハイブリット開催)。
- 野口英里、佐々木彩花、進藤幸之助、桑田睦子、堀智恵、肥後太基、塩瀬明、牛島智基、山口優、樋口妙、永富祐太、定松慎矢、富重明弘：循環補助用心内留置型ポンプカテーテル(IMPELLA)装着患者の看護の標準化による効果と課題，第85回日本循環器学会学術集会，2021年03月，パシフィコ横浜(ハイブリット開催)。
- 井上智恵、太田美帆、伊波早苗、東めぐみ、小田和美、河口てる子、安酸史子、大澤栄実、岡美智子、道面千恵子 他8名：「治療の看護仕立て」でスタンダードな療養法をアレンジする—看護の教育的関わりモデル—，第25回日本糖尿病教育・看護学会，2020年09月，WEB開催(岩手県立大学)。
- 平田能子、酒井久美子：認知症高齢者の家族介護者の性別・続柄別にみる介護特性についての文献検討，日本看護研究学会第25回九州・沖縄地方会学術集会，2020年10月，WEB開催(福岡大学)。
- 酒井久美子 姫野稔子：寝たきり非経口摂取高齢者における口腔内調査の一例，日本看護研究学会第25回九州・沖縄地方会学術集会，2020年10月，WEB開催(福岡大学)。

○ 学会以外での講演、発表

- 橋口暢子 次世代に求められる看護研究者の育成～異分野融合研究から得た経験をもとに～、看護薬理学カンファレンスシンポジウム、2020年11月。

- 橋口暢子 九州大学女性教員 WEB 座談会-多用な人材が活躍するグローバルな大学へ- ポリモルフニア6 九州大学男女共同参画推進室 2020年11月

著作

1. 単行本

- 牧本清子(著, 編), 山川みやえ(著, 編), 中岡亜希子, 内海桃絵, 矢山壮, 今野理恵, 土田敏江, 樋上容子, 植木真悟, 井上満代, 松中枝理子, 山田絵里, 塚崎恵子, 松永由理子, 高橋伸平: (共著) よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版: 研究手法別のチェックシートで学ぶ, 2020年07月, 日本看護協会出版会.

2. 総説

- 後藤健一: 高血圧と血管内皮依存性過分極(EDH), 福岡医学雑誌, 2020年12月.
- Kenichi Goto, Takanari Kitazono: Endothelium-dependent hyperpolarization (EDH) in diet-induced obesity, Endocrine and Metabolic Science, 2020年11月.

3. 解説, 書評など

- Shunsuke Yamada, Hideaki Oka, Kenichi Goto, Toshiaki Nakano, Takanari Kitazono: Rupture of a heavily calcified aortic arch in a patient with aortitis syndrome, advanced atherosclerosis, and renal ischemia: a dilemma between appropriate blood pressure control and maintenance of renal perfusion., CEN Case Rep, 2020年10月.
- 野呂影勇, 能登裕子, 伊部亜紀, 小野保, 戸上英憲, 中川翔: 第2回 看護人間工学会学術集会 教育講演「気軽に実験しませんか」, 看護人間工学会誌, Vol.2, 15-20, 2021年03月.

受賞

- 日本生理人類学会 2020年度論文奨励, 黒川 雄平, 廣瀬 仁美, 立石 礼望, 東 八千代, 能登 裕子, 橋口 暢子, 若年健康成人男女における清拭時の乾拭の有無が及ぼす生理的・主観的反応, 日本生理人類学会誌, 25, 4, 79 - 88, 2020年11月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業なし

5. 特記すべきその他の技術相談

- 依存症中間施設で提供される支援について, ジャパンマック福岡.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし
2. 外国人研究者の受入れ
 - 訪問教授・研究員 なし
 - 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ なし
4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 中尾, 学生支援委員会委員.
- 橋口, 研究活動基礎支援専門委員.
- 橋口, 入試実施委員会委員.
- 橋口, 入学者選抜研究委員会委員.
- 後藤, 学生支援委員会委員.

2. 部局委員

- 橋口, 模擬患者養成専門部会委員.
- 丸山, 医療系統合教育研究センター委員会委員.
- 木原, 安全衛生推進委員.
- 山口, 災害医療小委員会委員.
- 相星, 100人委員会委員.

3. 部門・コース内委員

- 中尾, 学生委員会委員長.
- 中尾, 広報委員会委員長.
- 中尾, クラス担任.
- 後藤, 保健学部門学生支援会運営委員.
- 後藤, 保健学部門学生委員会・副委員長.
- 後藤, 看護学分野国際 WG 副委員長.
- 橋口, 入試実施委員会 委員長.
- 橋口, 実習委員会委員長.
- 橋口, クラス担任.
- 橋口, 大学院委員会副委員長.
- 橋口, 人事委員会・教員活動評価委員会委員.
- 橋口, 看護学分野 副分野長.

- 橋口, 統合基礎看護学講座長.
- 橋口, 地域国際連携推進 FD 委員会委員.
- 橋口, 看護学分野国際 WG 委員長.
- 橋口, 看護キャリアセンター会議委員.
- 藤田(君), 看護分野長.
- 藤田(君), 副部門長.
- 藤田(君), 総務委員会委員.
- 藤田(君), 将来計画, 点検・評価・年報委員会委員.
- 藤田(君), 人事委員会・教員活動評価委員会委員.
- 藤田(君), 財務委員会委員.
- 藤田(君), 入試実施委員会委員.
- 藤田(君), 保健学部門学生支援会運営委員会委員.
- 藤田(君), 実習委員会オブザーバー.
- 藤田(君), 卒業研究委員会委員
- 藤田(君), クラス担任.
- 藤田(君), 看護キャリアセンター会議副センター長.
- 藤田(君), 交流教員担当委員.
- 松永, 看護研究委員.
- 松永, 保健学科実習委員.
- 青本, 実習委員会委員.
- 青本, 九州大学病院キャリアセンター委員.
- 青本, クラス担任
- 松尾, 教務委員会・委員.
- 山口, 看護学分野国際 WG 委員.
- 山口, 地域国際連携委員会/FD 実行委員会委員.
- 松本, 卒業研究委員会委員.
- 相星, 「保健学の明日を考える会」世話人.
- 道面, 実習委員会委員.
- 道面, 保健学地域国際連携・FD 実行委員.
- 道面, 看護学分野国際 WG 委員
- 酒井, 看護研究委員.
- 酒井, 実習委員会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡女学院看護大学, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡県看護協会皮膚排泄ケア認定看護師教育課程, 集中講義.
- 中尾, 福岡県看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 集中講義.
- 中尾, 福岡県看護協会認定看護管理者教育課程セカンドレベル, 集中講義.

- 中尾, 長崎県看護協会研修会, 集中講義.
- 藤田(君), 京都大学大学院, 非常勤講師
- 藤田(君), メンタルケア協会 スペシャリスト養成講座講師
- 橋口, 放送大学, 客員教員.
- 橋口, 放送大学, 面接授業講師.
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院 修士課程, 集中講義.
- 丸山, 純真学園大学保健医療学部, 看護倫理
- 松尾, 放送大学, 面接授業講師.
- 能登, 福岡県看護協会新人看護職員教育担当者研修, 集中講義.
- 能登, 福岡県看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 集中講義.
- 青本, 福岡看護高等専修学校, 非常勤講師.
- 青本, 一般社団法人日本医療安全調査機構, 兼任教員.

2. 学協会

- 中尾, 日本看護管理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護倫理学会, 評議員 (学術活動推進委員会委員), 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 編集委員, 国内.
- 中尾, 日本看護管理学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 日本看護学倫理学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 日本看護学教育学会誌, 査読委員, 国内.
- 後藤, 日本高血圧学会, その他 (診療・保険委員会委員) .
- 後藤, 日本高血圧学会, 評議員 .
- 橋口, 日本生理人類学会, 評議員, 国内.
- 橋口, 日本看護技術学会, 編集委員, 国内.
- 橋口, 日本循環器看護学会, 査読委員, 国内.
- 橋口, 人間-生活環境系学会, 理事, 国内.
- 橋口, 日本看護科学学会, その他 (代議員), 国内.
- 橋口, 人間-生活環境系学会, 編集委員 (英文誌), 国内.
- 藤田(君), 日本看護科学学会, その他 (代議員), 国内
- 藤田(君), 日本看護研究学会, その他 (代議員), 国内.
- 藤田(君), 日本糖尿病教育・看護学会, 理事, 国内.
- 藤田(君), 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本慢性看護学会, 評議員 (評議員), 国内.
- 丸山, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 理事長 (研究推進委員会・渉外委員会・六史学会), 日本看護歴史学会事務局, 国内.
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, その他 (国内学術交流委員会委員・国際学術交流委員会委員・企画委員会), 国内.

- 丸山, 日本生殖医学会
- 丸山, 日本医史学会
- 丸山, 日本医史学会福岡地方会
- 丸山, 西日本生命倫理学会, 事務局長
- 丸山, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 編集委員, 国内.
- 丸山, Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 編集委員 (査読委員), 国際.
- 能登, バイオメディカルファジイシステム学会, その他 (総務), 国内.
- 能登, バイオメディカルファジイシステム学会, 運営委員 (評議員兼任), 国内.
- 能登, 日本人間工学会, 評議員, 国内.
- 能登, 日本人間工学会九州・沖縄支部, 理事, 国内.
- 山口, 日本救急看護学会, 評議員, 国内.
- 山口, 日本救急看護学会雑誌, 査読委員, 国内.
- 前野(里), 日本糖尿病教育・看護学会誌, 編集委員, 国内.
- 道面, 日本糖尿病教育・看護学会, 査読委員, 国内.

3. 官界

- 中尾, 「福岡県内の保健・医療・福祉施設における身体拘束の廃止状況の調査、広報、研修を通じた身体拘束廃止の取り組み推進」, 福岡県保健医療介護部:福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 木原, 「依存症中間施設で提供される支援について。」, ジャパンマック福岡, (技術相談).
- 能登, 福岡県看護協会, 認定看護管理者教育運営委員.
- 橋口, 福岡県看護協会, WOC 入試委員会. 委員.

5. 公開講座・公開講演会

- 中尾, 「看護師が経験する看護倫理 -事例を通して学ぼう-」, 産業医科大学病院, 北九州市八幡西区, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護師が経験する看護倫理 -事例を通して学ぼう-」, 産業医科大学若松病院, 北九州市若松区, セミナー・研修会.
- 後藤, 「脳心血管病予防のために -血圧の話-」, 西鉄人事サービス株式会社, 講演会・公開討論.
- 後藤, 「健康講話」, 西鉄人事サービス株式会社、ANA 福岡空港株式会社, 講演会・公開討論.
- 松尾, 「緑内障患者の点眼アドヒアランス」, 参天製薬株式会社, 講演, 福岡県眼科医会セミナー.
- 丸山, 令和 2 年度科学倫理教育研修会講演, 兵庫県立姫路東高等学校 SSH 推進事業, バイオエシックスにおける知性教育と感性教育の統合-高校教育への期待-, 兵庫県立姫路高等学校
- 橋口, 「家庭内における不慮の事故の現状と課題」ステップアップセミナー、放送大学

6. 初等中等教育への貢献

- 丸山, 兵庫県立姫路東高等学校 SSH 運営支援教員
- 丸山, 博多青松高校 D-Labo, 集中講義バイエシックス
- 丸山, 令和 2 年度福岡県高校生知の創造力育成セミナー事業, ファッションリテータ

看護学分野

《広域生涯看護学》

| | |
|-----|--------|
| 教授 | 諸隈 誠一 |
| 教授 | 鳩野 洋子 |
| 准教授 | 前野 有佳里 |
| 准教授 | 川田 紀美子 |
| 准教授 | 寺岡 佐和 |
| 准教授 | 濱田 裕子 |
| 講師 | 宮田 潤子 |
| 講師 | 菊地 君与 |
| 助教 | 佐藤 洋子 |
| 助教 | 木村 一絵 |
| 助教 | 末次 美子 |
| 助教 | 森口 晴美 |
| 助教 | 福田 陽子 |
| 助教 | 藤田 紋佳 |
| 助教 | 藤田 貴子 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|--|----|-----|
| 助産診断・技術学Ⅲ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅱ(分担) | 諸隈 | 冬学期 |
| 発達看護学特論Ⅱ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 生命倫理・遺伝相談カウンセリング論(分担) | 諸隈 | 冬学期 |
| リプロサイエンスⅡ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 先端医療論(分担) | 諸隈 | 前期 |
| リプロサイエンスⅠ(分担) | 諸隈 | 前期 |
| 周産期の薬理学(分担) | 諸隈 | 夏学期 |
| 助産診断・技術学Ⅱ(分担) | 諸隈 | 夏学期 |
| 助産診断・技術学Ⅰ(分担) | 諸隈 | 前期 |
| 地域国際母子保健論Ⅱ(分担) | 諸隈 | 夏学期 |
| 看護研究方法論Ⅰ(分担) | 諸隈 | 春学期 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 諸隈 | 夏学期 |
| 母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担) | 諸隈 | 前期 |
| 病態情報解析学Ⅰ(分担) | 諸隈 | 前期 |
| Pediatric Maternal Womens Health Care System Ⅰ(分担) | 諸隈 | 前期 |
| 看護研究方法論Ⅰ(分担) | 鳩野 | 春学期 |
| 地域国際母子保健論Ⅰ(分担) | 鳩野 | 春学期 |

| | | |
|----------------------------------|----|-----|
| 地域看護学特論Ⅰ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 地域看護学特論Ⅱ(分担) | 鳩野 | 後期 |
| 看護研究方法論Ⅰ(分担) | 前野 | 春学期 |
| 地域看護学特論Ⅰ(分担) | 前野 | 前期 |
| 基礎助産学(分担) | 川田 | 前期 |
| Women's Health(分担) | 川田 | 前期 |
| 地域国際母子保健論Ⅰ(分担) | 川田 | 春学期 |
| 助産マネジメント論Ⅰ(分担) | 川田 | 後期 |
| 助産マネジメント論Ⅱ(分担) | 川田 | 後期 |
| 周産期の薬理学(分担) | 川田 | 夏学期 |
| Women's Health 補完代替医療(分担) | 川田 | 春学期 |
| 生命倫理・遺伝相談カウンセリング論 | 川田 | 冬学期 |
| Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅰ(分担) | 川田 | 後期 |
| Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅱ(分担) | 川田 | 後期 |
| 地域国際母子保健論Ⅱ(分担) | 川田 | 前期 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 川田 | 夏学期 |
| 地域看護学特論Ⅰ(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 地域看護学特論Ⅱ(分担) | 寺岡 | 後期 |
| ヘルスサイエンス論(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 看護学研究方法論Ⅰ(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 発達看護学特論Ⅰ(分担) | 濱田 | 前期 |
| 発達看護学特論Ⅱ(分担) | 濱田 | 後期 |
| 看護学研究方法論Ⅱ(分担) | 濱田 | 夏学期 |
| 生命倫理・遺伝カウンセリング論(分担) | 濱田 | 後期 |
| 母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担) | 濱田 | 前期 |
| 小児家族看護学 | 濱田 | 前期 |
| 母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担) | 宮田 | 前期 |
| 発達看護学特論Ⅰ(分担) | 宮田 | 前期 |
| 周産期の薬理学(分担) | 宮田 | 夏学期 |
| リプロサイエンスⅠ(分担) | 宮田 | 前期 |
| 先端医療論(分担) | 宮田 | 前期 |
| 助産マネジメント論Ⅰ(分担) | 末次 | 後期 |
| Women's Health(分担) | 末次 | 前期 |
| 高次助産診断技術学演習(分担) | 末次 | 後期 |
| 助産診断・技術学Ⅲ(分担) | 末次 | 後期 |
| 基礎助産学(分担) | 末次 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅱ(分担) | 末次 | 夏学期 |
| 助産診断・技術学Ⅰ(分担) | 末次 | 前期 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 菊地 | 夏学期 |
| 看護研究方法論Ⅰ(分担) | 菊地 | 春学期 |
| 地域国際母子保健論Ⅰ(分担) | 菊地 | 春学期 |
| 助産マネジメント論Ⅰ(分担) | 佐藤 | 秋学期 |
| 助産診断・技術学Ⅲ(分担) | 佐藤 | 後期 |

| | | |
|------------------------------------|-------|-----|
| 基礎助産学 (分担) | 佐藤 | 前期 |
| 助産診断・技術学 I (分担) | 佐藤 | 夏学期 |
| 助産診断・技術学 II (分担) | 佐藤 | 前期 |
| Women's Health (分担) | 佐藤 | 前期 |
| 発達看護学特論 I (分担) | 森口 | 前期 |
| 助産マネジメント論 I (分担) | 福田 | 秋学期 |
| リプロサイエンス II (分担) | 福田 | 後期 |
| Women's Health ヘルスプロモーション特論 I (分担) | 福田 | 秋学期 |
| 助産マネジメント論 II (分担) | 福田 | 後期 |
| 基礎助産学 (分担) | 福田 | 前期 |
| Women's Health 補完代替医療 (分担) | 福田 | 春学期 |
| 助産診断・技術学 I (分担) | 福田 | 夏学期 |
| 助産診断・技術学 II (分担) | 福田 | 前期 |
| 発達看護学特論 I (分担) | 藤田(紋) | 前期 |
| 発達看護学特論 II (分担) | 藤田(紋) | 後期 |
| 地域看護学特論 I (分担) | 木村 | 後期 |
| 地域看護学特論 II (分担) | 木村 | 前期 |
| 地域看護学特論 I (分担) | 藤田(貴) | 前期 |

2. 大学院実験・実習

| | | |
|-----------------|----|----|
| 助産学総合実習 I (分担) | 諸隈 | 後期 |
| 助産学総合実習 II (分担) | 諸隈 | 前期 |
| 助産学実習 I (分担) | 諸隈 | 後期 |
| 助産学総合実習 I (分担) | 諸隈 | 後期 |
| 助産学実習 II (分担) | 川田 | 後期 |
| 助産学総合実習 I (分担) | 川田 | 後期 |
| 助産学実習 I (分担) | 末次 | 後期 |
| 助産学総合実習 I (分担) | 末次 | 後期 |
| 助産学実習 I (分担) | 佐藤 | 後期 |
| 助産学実習 II (分担) | 佐藤 | 後期 |
| 助産学総合実習 I (分担) | 佐藤 | 後期 |
| 助産学実習 I (分担) | 福田 | 後期 |
| 助産学実習 II (分担) | 福田 | 後期 |
| 助産学総合実習 I (分担) | 福田 | 後期 |

3. 大学院演習

| | | |
|--|----|----|
| 高次助産診断・技術学演習 (分担) | 諸隈 | 後期 |
| 母子発達ケアシステム論 II (分担) | 諸隈 | 後期 |
| Pediatric Maternal Womens Health Care System II (分担) | 諸隈 | 後期 |
| 病態情報解析学 II (分担) | 諸隈 | 後期 |
| 国際プレゼンテーション | 諸隈 | 通年 |
| 保健学特別研究 | 諸隈 | 通年 |

| | | |
|------------------|----|----|
| 看護学特別研究 | 諸隈 | 通年 |
| 看護学特別研究 | 鳩野 | 通年 |
| 保健学特別研究 | 鳩野 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション | 鳩野 | 通年 |
| 高次助産診断・技術学演習(分担) | 川田 | 後期 |
| 看護学特別研究 | 川田 | 通年 |
| 看護学特別研究 | 濱田 | 通年 |
| 小児家族コミュニケーション演習 | 濱田 | 前期 |
| プロジェクトチーム演習(Ⅱ) | 濱田 | 後期 |
| Women's Health | 末次 | 前期 |
| 高次助産診断技術学演習(分担) | 末次 | 後期 |
| 高次助産診断・技術学演習(分担) | 佐藤 | 後期 |
| 高次助産診断・技術学演習(分担) | 福田 | 後期 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|--------|---|
| 上野 友莉 | 自宅退院後の認知症患者との生活を継続している高齢介護者の介護の受け止め |
| 黒田 百花 | 児に対する母親の夜間対応と生後1か月時の睡眠との関連 |
| 古庄 未来 | 妊婦の内受容感覚と胎動初覚週数との関連 |
| 中村 優花 | オンライン母親学級及び母親学級の受講満足度に関する調査研究 |
| 三原優希 | 総排泄腔遺残症の子どもをもつ母親の体験 |
| 野田優子 | 小児がん患児の付き添い家族への抗がん剤曝露の実態と関連要因の探索 |
| 王丸 真知子 | 産後1か月の母親における抑うつ影響要因の分析—親の手段的サポートが不十分であった群に着目して— |
| 伊東 萌絵 | 第1子出産予定の妊婦における妊娠の計画性と関連因子 |
| 宮原 あゆ美 | 母乳育児における父親の自己効力感や意識と母親の自己効力感との関連 |
| 豊永 摩優 | 妊娠中のパートナーをもつ男性における、不安要因と夫の役割行動実践との関連 |
| 木津 朱音 | 職場復帰直後の母親における仕事と家庭間の役割葛藤と育児ストレスとの関連 |

5. 大学院博士課程修了者

| | |
|--------|---|
| 水畑 喜代子 | Effects of Breastfeeding on Stress Measured by Saliva Cortisol Level and Perceived Stress |
| 川口賀津子 | Development of the Role Performance Scale for Middle-aged Generalist Nurses in Japan |

6. 学部講義

| | | |
|------------------|----|-----|
| 人体の構造と機能Ⅱ(分担) | 諸隈 | 前期 |
| 母性疾病論 | 諸隈 | 春学期 |
| 臨床医学論Ⅰ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 臨床病態学(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 保健医療福祉行政論Ⅱ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担) | 鳩野 | 前期 |

| | | |
|--------------------|-------|-----|
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ(分担) | 鳩野 | 夏学期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 疫学(分担) | 鳩野 | 秋学期 |
| 公衆衛生看護管理論(分担) | 鳩野 | 秋学期 |
| 公衆衛生看護学概論(分担) | 鳩野 | 後期 |
| 国際保健と医療(分担) | 鳩野 | 後期 |
| 保健医療福祉行政論Ⅰ | 前野 | 春学期 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 前野 | 春学期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担) | 前野 | 前期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担) | 前野 | 前期 |
| 公衆衛生看護管理論(分担) | 前野 | 秋学期 |
| 母性看護学概論 | 川田 | 秋学期 |
| 母性看護学各論Ⅰ(分担) | 川田 | 冬学期 |
| 看護研究Ⅱ(分担) | 川田 | 夏学期 |
| 公衆衛生看護学概論(分担) | 寺岡 | 後期 |
| 在宅看護概論 | 寺岡 | 秋学期 |
| 公衆衛生看護管理論(分担) | 寺岡 | 秋学期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 寺岡 | 春学期 |
| 小児看護学各論Ⅰ(分担) | 濱田 | 冬学期 |
| 小児看護学概論(分担) | 濱田 | 秋学期 |
| 小児看護学各論Ⅱ(分担) | 濱田 | 前期 |
| 看護研究Ⅱ(分担) | 濱田 | 夏学期 |
| 終末期医療・ターミナルケア論(分担) | 濱田 | 秋学期 |
| 人体の構造と機能Ⅱ(分担) | 宮田 | 前期 |
| 医学総論Ⅰ(分担) | 宮田 | 後期 |
| 医学総論Ⅱ(分担) | 宮田 | 後期 |
| 漢方医薬学(分担) | 宮田 | 春学期 |
| 小児外科ベッドサイド実習講義(分担) | 宮田 | 通年 |
| 母性看護学各論Ⅰ(分担) | 末次 | 後期 |
| 母性看護学各論Ⅱ(分担) | 末次 | 前期 |
| 保健統計学 | 菊地 | 冬学期 |
| 国際保健と医療(分担) | 菊地 | 後期 |
| 母性看護学各論Ⅰ(分担) | 佐藤 | 冬学期 |
| 母性看護学各論Ⅱ(分担) | 佐藤 | 春学期 |
| 疫学(分担) | 木村 | 秋学期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担) | 木村 | 前期 |
| 小児看護学各論Ⅰ(分担) | 森口 | 冬学期 |
| 小児看護学概論(分担) | 森口 | 秋学期 |
| 小児看護学各論Ⅱ(分担) | 森口 | 前期 |
| 母性看護学各論Ⅰ(分担) | 福田 | 冬学期 |
| 母性看護学各論Ⅱ(分担) | 福田 | 春学期 |
| 小児看護学各論Ⅱ(分担) | 藤田(紋) | 前期 |

| | | |
|-------------------|-------|-----|
| 小児看護学各論Ⅰ(分担) | 藤田(紋) | 冬学期 |
| 小児看護学概論(分担) | 藤田(紋) | 秋学期 |
| 公衆衛生看護学概論(分担) | 藤田(貴) | 後期 |
| 公衆衛生看護学支援論Ⅰ(分担) | 藤田(貴) | 春学期 |
| 公衆衛生看護学支援論Ⅱ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 公衆衛生看護学活動展開論Ⅲ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 保健医療福祉行政論Ⅱ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|----------------|----|----|
| 母性看護学実習(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 諸隈 | 通年 |
| 看護研究Ⅳ(分担) | 諸隈 | 通年 |
| 総合実習(分担) | 鳩野 | 通年 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 鳩野 | 通年 |
| 看護研究Ⅳ(分担) | 鳩野 | 通年 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担) | 前野 | 前期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担) | 前野 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 前野 | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 前野 | 通年 |
| 母性看護学実習(分担) | 川田 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 川田 | 通年 |
| 看護研究Ⅳ(分担) | 川田 | 通年 |
| 在宅看護論各論(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 在宅看護論実習 | 寺岡 | 通年 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 濱田 | 通年 |
| 小児看護学実習Ⅱ(分担) | 濱田 | 後期 |
| 小児看護学実習Ⅰ(分担) | 濱田 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 濱田 | 前期 |
| 母性看護学実習(分担) | 末次 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 末次 | 通年 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 菊地 | 通年 |
| 看護研究Ⅳ(分担) | 菊地 | 通年 |
| 母性看護学実習(分担) | 佐藤 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 佐藤 | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 佐藤 | 通年 |
| 在宅看護論実習(分担) | 木村 | 通年 |
| 総合実習(分担) | 木村 | 前期 |
| 在宅看護論各論(分担) | 木村 | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 木村 | 通年 |

| | | |
|----------------|-------|----|
| 小児看護学実習Ⅱ(分担) | 森口 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 森口 | 通年 |
| 小児看護学実習Ⅰ(分担) | 森口 | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 森口 | 通年 |
| 母性看護学実習(分担) | 福田 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 福田 | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 福田 | 通年 |
| 小児看護学実習Ⅰ(分担) | 藤田(紋) | 前期 |
| 小児看護学実習Ⅱ(分担) | 藤田(紋) | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 藤田(紋) | 通年 |
| 総合実習(分担) | 藤田(紋) | 前期 |
| 在宅看護論実習(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 藤田(貴) | 通年 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|--------|--|
| 石川亜依 | LGBT の児童生徒に対する養護教諭の理解と支援の現状に関する文献検討 |
| 木村万里子 | 更年期就労女性が自覚している更年期症状および不定愁訴に関する文献検討—看護職とVDT 作業者に着目して— |
| 諏訪結香 | 特定保健指導の効果的な実施方法に関する文献検討 |
| 川畑舞佳 | 分娩時のオキシトシン投与が母乳育児に与える影響に関する文献研究 |
| 吉永萌央 | 母性・父性の神経基盤に関する文献研究 |
| 外山愛理 | 妊娠中のボディイメージと妊娠中の体重増加に関する文献研究 |
| 増井美耶 | 災害時の糖尿病患者の血糖コントロールに関する研究 |
| 中島雪乃 | 終末期患者の尊厳についての概念分析 |
| 寺田美樹 | 糖尿病患者のフットケア行動に関する阻害要因・促進要因の検討 |
| 須志田佳代 | 認知症患者へのユマニチュードの効果とユマニチュード導入に伴う看護者の意識の変容 |
| 河上春菜 | がん性疼痛に対するアロマセラピー効果の検討 |
| 道田 真歩 | 児童虐待における関係機関の対応と連携 |
| 田中 祐花 | 小児がん患児に付き添う家族の関わりの実際 |
| 石岡杏奈 | 重症心身障害児とともに生活する家族の思い |
| 高井良華恵 | 国内外の NICU における音楽療法の現状 |
| 大津七海 | 侵襲的処置(採血)のプレパレーションの実態と効果について |
| 猪名富暖 | 産後うつ病に関連する要因と妊娠期から行う予防的支援の検討 |
| 小嵯友菜 | 妊娠期から未就学の子どもの育児期におけるひとり親の体験 |
| 佐古万里子 | 女子大学生における子宮頸がんの予防行動についての関連要因 |
| 豊永真菜 | 障がい児を育てる女性の妊娠出産の選択についての文献研究 |
| 大庭遼 | 妊娠・出産に対する看護師の見解についての文献研究 |
| 高田真友 | 妊娠前の体格・体型認識と妊娠中の体重変化との関連についての文献研究 |
| 宮本 優 | 医療的ケア児が NICU から退院するまでの母親の思い |
| 木部 奈津美 | 子どもの検査・処置における親の関わりの現状 |

| | |
|--------|---|
| 小田真愛 | 立ち合い分娩を経験した夫の気持ちの変化と産後生活への影響に関する文献研究 |
| 松下美優 | 不妊治療後の母親の心理的特徴と支援の検討 |
| 細谷うらら | 食物アレルギー児とその家族が抱える問題と支援 |
| 竹下千尋 | 1型糖尿病小児の医療移行の現状と課題 |
| 谷口響子 | 21世紀における乳幼児を育てる母親の育児困難感に関連する要因の文献研究 |
| 藤田麻椰 | 日本における小児を対象としたトラウマインフォームドケアの実践に関する文献研究 |
| 柴田恵里 | 発達障害児を養育する家族に必要とされる地域支援の検討 |
| 堀江菜奈未 | 在日外国人の母親が子育て中に抱えるストレスや困難と保健師の支援についての検討 |
| 藤本 紅葉 | 産前休業取得が妊婦の心理・社会的適応と対児感情へ与える影響 |
| 大力 舞 | 産後1か月の褥婦が認識するパートナーからの満足度と関連因子の検討 |
| 石橋 綾乃 | The London Measure of Unplanned Pregnancy 日本語版の信頼性と妥当性の検討 |
| 永尾 昌美 | 妊婦の心理社会的適応および対児感情と不妊治療との関連 |
| 有働 和海 | 子どもの発達課題に伴う夫婦関係の変化 |
| 田中 美乃里 | 出生前診断を受検した妊婦の心理過程 |

9. 研究生

徐昊楠

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|----|-------------------------------------|----|
| 1 | 母体の生活習慣が妊娠合併症、胎児および生後発達に及ぼす影響に関する研究 | 諸隈 |
| 2 | 胎児行動学 | 諸隈 |
| 3 | 行政保健師のアドボカシー | 鳩野 |
| 4 | 統括保健師の能力開発プログラム開発 | 鳩野 |
| 5 | 出産後の母子の QOL 向上を目的とする妊娠期ケアの研究 | 川田 |
| 6 | 健康行動と母子関係に関する研究 | 川田 |
| 7 | 健康行動と母子関係に関する研究環境汚染の母子への影響に関する研究 | 川田 |
| 8 | 住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解に関する研究 | 寺岡 |
| 9 | 認知症高齢者の QOL に関する研究 | 寺岡 |
| 10 | ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成 | 濱田 |
| 11 | 小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究 | 濱田 |
| 12 | 発達障害児に対する漢方治療の有効性について | 宮田 |
| 13 | 周産期のメンタルヘルスとボンディング困難性 | 末次 |
| 14 | 妊娠期の栄養と産科アウトカムの関係 | 末次 |
| 15 | バングラデシュにおける母子の遠隔健診に関する研究 | 菊地 |
| 16 | バングラデシュ農村部の妊婦に対する遠隔健診 | 佐藤 |
| 17 | 妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに対する自己効力感 | 佐藤 |

| | | |
|----|---|-------|
| 18 | 地域保健分野における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討ーランダム化比較試験ー | 木村 |
| 19 | 幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムに関する研究 | 木村 |
| 20 | 小児がんの在宅移行支援 | 森口 |
| 21 | 子育て支援 | 森口 |
| 22 | ナラティブ・アプローチを用いた対話によるグリーフ(悲嘆)ケアの生成 | 藤田(紋) |
| 23 | 肝移植後の学童後期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築 | 藤田(紋) |
| 24 | パーキンソン病患者の医療・介護サービス利用が与える影響に関する定量的評価 | 藤田(貴) |
| 25 | レセプトデータを使用した健康指標への評価 | 藤田(貴) |
| 26 | 喫煙が健康に与える影響 | 藤田(貴) |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

諸隈 誠一

- 「基盤研究(B)」微小粒子状物質(PM2.5)とその成分曝露がもたらす妊婦・胎児の健康影響評価, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(B)」「育てにくさ」と胎児行動との関連に関する研究, 諸隈(代表)
- 「基盤研究(C)」「周産期の抑うつに影響を及ぼす要因: 夫婦のコミュニケーションスタイルとの関連, 諸隈(分担)

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」中高年ジェネラリストナースの役割遂行尺度の開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」組織変容を伴うプリセプター保健師教育支援プログラムの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」住民ボランティアの認知症予防と認知症理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」公衆衛生看護におけるアドボカシーおよび関連要因の明確化に関する研究, 鳩野(代表)
- 「基盤研究(C)」子育て世代のがんサバイバーのコミュニティ・エンパワメントモデル開発に関する研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」地域共生社会における発達障害児家族を支える地域高齢者による支援モデルの検討, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」精神障害者支援における市町村と基幹相談支援センターとの協働に関する研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」5日間連続夜勤を開始する新規採用職員の疲労・ストレス・眠気に関する縦断研究, 鳩野(分担)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」精神障害者支援における市町村保健師の基幹相談支援センターとの協働技術指標の開発, 前野(代表)

川田 紀美子

- 「基盤研究(C)」総排泄腔遺残症患者の母子関係の特徴と家庭における性教育との関連, 川田(代表)

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 寺岡(代表)

濱田 裕子

- 「基盤研究(C)」ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成, 濱田(代表)
- 「基盤研究(C)」肝移植後の学童後期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築, 濱田(分担)
- 「基盤研究(C)」総排泄腔遺残症患者の母子関係の特徴と家庭における性教育との関連, 濱田(分担)

宮田 潤子

- 「基盤研究(C)」総排泄腔遺残症患者の母子関係の特徴と家庭における性教育との関連, 宮田(分担)
- 「基盤研究(C)」腸管神経節細胞僅少症への幹細胞移植における大建中湯を用いた治療戦略の開発, 宮田(分担)

末次 美子

- 「基盤研究(C)」ボンディング障害の全容解明を目指した周産期総合的アプローチ, 末次(代表)
- 「基盤研究(B)」妊娠各期の至適体重増加とそれに関連する健康行動・心理社会的要因:コホート研究, 末次(分担)

菊地 君与

- 「基盤研究(B)」HIV 感染児の口腔ケアによる AIDS 発症抑制の可能性に関する研究, 菊地(代表)
- 「基盤研究(B)」カンボジアにおける母子保健・感染症対策を統合する包括的継続ケアの検証, 菊地(分担)

佐藤 洋子

- 「若手研究」妊娠糖尿病発症および周産期合併症に関連する生活因子調査，佐藤(代表)

木村 一絵

- 「基盤研究(C)」エビデンスに基づく家族関係再構築支援プログラムの確立，木村(分担)
- 「基盤研究(C)」地域保健における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討，木村(代表)

藤田 紋佳

- 「基盤研究(C)」肝移植後の学童後期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築，藤田(紋)(代表)
- 「基盤研究(C)」ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成，藤田(紋)(分担)

藤田 貴子

- 「若手研究」パーキンソン病患者の医療・介護サービス利用と予後に関する定量的評価，藤田(貴)(代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「国立大学改革強化推進補助金」アジア地域における周産期保健医療開発及びグローバル人材育成，諸隈(代表)，8900 千円.
- 「外国語校閲経費支援」，川田(代表)，60 千円.
- 「英語論文オープンアクセス支援」，川田(代表)，200 千円.
- 「研究補助者雇用支援(短期)」春期・秋期，宮田(代表)，758.5 千円.
- 「出産・育児復帰者支援」社会保障危機時代に向けた持続可能な看護ケアシステムの構築，藤田(紋)(代表)
- 「研究補助者雇用支援(短期)」春期・秋期，社会保障危機時代に向けた持続可能な看護ケアシステムの構築，藤田(紋)(代表)

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「サステイナブルな未来への研究助成，旭硝子財団」，菊地(代表)
- 「ICT による母子遠隔健診システムの構築，電気通信普及財団」，菊地(代表)

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「理化学研究所 新生児・乳児におけるシート型生体センサーを用いた行動期評価に関する研究」，諸隈(代表)

- 「日本医療研究開発機構 成育疾患克服等総合研究事業-BIRTHDAY 疾病の0次予防に向けた研究開発の推進-胎児心電図を用いた次世代胎児モニタリング診断技術の研究」, 諸隈(分担)
- 「厚生労働科学研究費補助金 保健師活動の展開推進および統括保健師の役割遂行能力開発」, 鳩野(分担)
- 「障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト」, 濱田(分担)
- 「エンドオブライフ期にある小児がんの子どもに対する在宅医療の現状と課題及び在宅ケアのあり方に関する研究, 財団法人笹川保健財団」, 濱田(代表)
- 「厚生労働科学研究費補助金 小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究; 専門病院・自宅以外の療養場所について」濱田(分担)
- 「日本学術振興会 二国間交流事業 バングラデシュにおけるICTを利用した母子ケアシステムの構築」, 菊地(代表)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Nakahara, Kazushige; Michikawa, Takehiro; Morokuma, Seiichi; Ogawa, Masanobu; Kato, Kiyoko; Sanefuji, Masafumi; Shibata, Eiji; Tsuji, Mayumi; Shimono, Masayuki; Kawamoto, Toshihiro; Ohga, Shouichi; Kusahara, Koichi: Non-reassuring foetal status and sleep problems in 1-year-old infants in the Japan Environment and Children's Study: a cohort study, *SCIENTIFIC REPORTS*, 10, 1, -11432, 2020年07月
- Nakahara, Kazushige; Michikawa, Takehiro; Morokuma, Seiichi; Ogawa, Masanobu; Kato, Kiyoko; Sanefuji, Masafumi; Shibata, Eiji; Tsuji, Mayumi; Shimono, Masayuki; Kawamoto, Toshihiro; Ohga, Shouichi; Kusahara, Koichi: Association of maternal sleep before and during pregnancy with preterm birth and early infant sleep and temperament, *SCIENTIFIC REPORTS*, 10, 1, - 11084, 2020年07月
- Michikawa, Takehiro; Morokuma, Seiichi; Yamazaki, Shin; Takami, Akinori; Sugata, Seiji; Yoshino, Ayako; Takeda, Yuki; Nakahara, Kazushige; Saito, Shinji; Hoshi, Junya; Kato, Kiyoko; Nitta, Hiroshi; Nishiwaki, Yuji: Exposure to chemical components of fine particulate matter and ozone, and placenta-mediated pregnancy complications in Tokyo: a register-based study, *JOURNAL OF EXPOSURE SCIENCE AND ENVIRONMENTAL EPIDEMIOLOGY*, 2021年02月
- Kikuchi K; Yi S; Yasuoka J; Tuot S; Okawa S; Murayama M; Yem S; Chhoun P; Eng S; Huot C; Morokuma S: Oral health among HIV-positive and HIV-negative children in Phnom Penh, Cambodia: a cross-sectional study, *BMJ PAEDIATRICS OPEN*, 11, 5, 1, 2021年03月.
- Kana Maehara, Seiichi Morokuma, Kazushige Nakahara, Hikohiro Okawa, Kiyoko Kato: A Study on the Association Between Eye Movements and Regular Mouthing Movements

(RMMs) in Normal Fetuses Between 24 to 39 Weeks of Gestation, *PLoS One*, 11, 5, 2020年05月.

- Mizuhata K, Taniguchi H, Shimada M, Hikita N, Morokuma S; Effects of Breastfeeding on Stress Measured by Saliva Cortisol Level and Perceived Stress, *Asian Pac Isl Nurs J*. 5(3):128-138. 2020年12月.
- 中山貴美子, 鳩野洋子, 合田加代子, 草野恵美子: 乳幼児を持つがんサバイバーの母親ががん診断後に抱える困難, *日本看護科学学会誌*, 40 :279-289, , 279 - 289, 2020年11月.
- Kazuko Kawaguchi, Yoko Hatono: Development of the Role Performance Scale for Middle-aged Generalist Nurses in Japan, *Japan Journal of Nursing Science*, , 2020年12月.
- Chisato Yamanaka and Kimiko Kawata: Characteristics of Mother-Daughter Relationships and Sexual Risk-Coping Consciousness among Japanese Female University Students., *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 17, 23, 8795 - , 2020年11月.
- Kimiko Kawata, Hinako Koga.: Sexually transmitted infections and cervical cancer: Knowledge and prevention awareness among female university students in Japan., *Nursing Open*, 7, 4, 1129 - 1138, 2020年07月.
- 原山和子, 川田紀美子: 分娩取扱い施設における10代女性への周産期支援の現状と助産師の属性との関連, *思春期学*, 38, 2, 224 - 231, 2020年06月.
- Ayaka Fujita, Yuko Hamada, @Toshiharu Matsuura: Mothers' Experiences With Pregnancy and Childbirth Following Pediatric Living Liver Transplant Donation: A Qualitative Descriptive Study, *Transplantation Proceedings*, 53, 2, 630 - 635, 2021年03月.
- 田代恵理、濱田裕子、藤田紋佳、北尾真梨: 新生児医療施設で子どもを亡くした母親の悲嘆に関する体験, *日本新生児看護学会誌*, 26, 11-17, 2020年05月.
- Yuko Noda, Yuhki Koga, Yuko Hamada, Shouichi Ohga, et al: High risk of hazardous drug exposure in caregivers of pediatric cancer patients, *Pediatric Blood & Cancer*, 68(6): e29019, 2021年3月.
- 同側の外傷/手術歴と痞根の硬結を有し当帰四逆加呉茱萸生姜湯が奏功した難治性上腹部痛の2症例、坂本篤彦、貝沼茂三郎、前田麻木、前田利朗、宮田潤子、河野恵子、栗山一道、*日本東洋医学雑誌* 71(1), 18-23, 2020年1月
- Yoshiko Suetsugu, Megumi Haruna, Kiyoko Kamibeppu: A longitudinal study of bonding failure related to aspects of posttraumatic stress symptoms after childbirth among Japanese mothers, *BMC Pregnancy Childbirth*, 20, 1, 434 - , 2020年07月.
- Fumihiko Yokota, Rajshri Nagar, Deepak Tiwari, Manish Biyani, Mariko Nishikitani, Kimiyo Kikuchi, Ashir Ahmed, Rafiqul Islam Maruf, Yasunobu Nohara, Rieko Izukura, Naoki Nakashima: Comparisons of anthropometric obesity indicators for predicting

hypertension among male factory workers in Rajasthan, India, *Decision Sciences*, 8, , 91 – 104, 2021 年 03 月.

- Fumihiko Yokota, Mariko Nishikitani, Manish Biyani, Rajshri Nagar, Suresh Yadav, Deepak Tiwari, Kimiyo Kikuchi, Ashir Ahmed, Rafiqul Islam Maruf, Yasunobu Nohara, Rieko Izukura, Naoki Nakashima: Awareness, treatment, and control of hypertension and type 2 diabetes among male industry workers in Jaipur, India, *Decision Sciences*, 8, , 77 – 90, 2021 年 03 月.
- Rajshri Nagar, Fumihiko Yokota, Deepak Tiwari, Suresh Yadav, Mariko Nishikitani, Kimiyo Kikuchi, Ashir Ahmed, Rafiqul Islam Maruf, Rieko Izukura, Yoko Sato, Yasunobu Nohara, Manish Biyani, Naoki Nakashima: Mobile health checkup intervention to improve factory workers' health awareness, attitudes, behaviors, and clinical outcomes in Jaipur District, India, *Decision Sciences*, 8, , 65 – 76, 2021 年 03 月.
- Xizheng Sun, Fumihiko Yokota, Ashir Ahmed, Mariko Nishikitani, Kimiyo Kikuchi, Naoki Nakashima: The history, applications of telemedicine and prospects for COVID-19 triage, *Decision Sciences*, 8, 53 – 64, 2021 年 03 月.
- Chowdhury R, Yokota F, Ahmed A, Nishikitani M, Islam R, Tasneem R, Kikuchi K, Izukura R, Sato Y, Nohara Y, Nakashima N. Monitoring seasonal differences in non-communicable disease outcomes using telemedicine and health checkups in Bangladesh. *Decision Sciences*, 8, 9-22, 2021 年 03 月.
- Mu Y, Yokota F, Nishikitani M, Kikuchi K, Ahmed A, Islam R, Izukura R, Sato Y, Nohara Y, Yadav S, Nagar R, Biyani M, Nakashima N. Body mass index and sociodemographic factors associated with type 2 diabetic complications in vegetarian outpatients in the city of Jaipur, India. 2021. *Decision Sciences*, 8, 23-36, 2021 年 03 月.
- Kikuchi K, Yasuoka J, Tuot S, Okawa S, Yem S, Chhuon P, Murayama M, Huot C, Yi S: Dental caries in association with viral load in children living with HIV in Phnom Penh, Cambodia: a cross-sectional study, *BMC Oral Health*, 21:159, 2021 年 02 月.
- Ayer R, Poudel KC, Kikuchi K, Ghimire M, Shibanuma A, Jimba M: Nurse-led mobile phone voice call reminder and on-time antiretroviral pills pick-up in Nepal: a randomized controlled trial, *AIDS and Behavior*, 25, 1923-1934, 2020 年 12 月.
- Islam R, Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Yokota F, Nishikitani M, Tasneem R, Sultana N, @Ahmed A, @Nakashima N: Personal health record (PHR) system in Portable Health Clinic, *Studies in health technology and Informatics*, 270, , 1347 – 1348, 2020 年 07 月.
- Junko Yasuoka, Siyan Yi, Sumiyo Okawa, Sovannary Tuot, Makoto Murayama, Chantheany Huot, Pheak Chhoun, Sokunthea Yem, Kazuki Yuzuriha, Tetsuya Mizutani, Kimiyo Kikuchi: Nutritional status and dietary diversity of school-age children living with HIV: a cross-sectional study in Phnom Penh, Cambodia, *BMC Public Health*, 20, 1181, 2020 年 12 月.

- Masuda Begum Sampa, Md. Rakibul Hoque, Rafiqul Islam, Mariko Nishikitani, Naoki Nakashima, Fumihiko Yokota, Kimiyo Kikuchi, Md Moshir Rahman, Faiz Shah, Ashir Ahmed: Redesigning Portable Health Clinic Platform as a Remote Healthcare System to Tackle COVID-19 Pandemic Situation in Unreached Communities, *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 17, 13, 4709 – 4709, 2020年06月.
- Yunfei Li, Akira Babazono, Aziz Jamal, Takako Fujita, Shinichiro Yoshida, Sung-A Kim: Variation in the use of percutaneous coronary interventions among older patients with acute coronary syndromes: a multilevel study in Fukuoka, Japan., *International journal for equity in health*, 20, 1, 80 – 80, 2021年03月.
- Yunfei Li, Akira Babazono, Aziz Jamal, Peng Jiang, Takako Fujita: Cost-Sharing Effects on Hospital Service Utilization Among Older People in Fukuoka Prefecture, Japan., *International journal of health policy and management*, online ahead of print, 2020年10月.
- Aziz Jamal, Akira Babazono, Yunfei Li, Shinichiro Yoshida, Takako Fujita: Multilevel analysis of hemodialysis-associated infection among end-stage renal disease patients: results of a retrospective cohort study utilizing the insurance claim data of Fukuoka Prefecture, Japan., *Medicine*, 99, 18, e19871, 2020年05月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kimiyo Kikuchi, Rafiqul Islam, Yoko Sato, Rieko Izukura, Mariko Nishikitani, Kiyoko Kato, Seiichi Morokuma, Nustrat Jahan, Meherun Nessa, Fumihiko Yokota, Nazneen Sultana, Ashir Ahmed, Naoki Nakashima: Establishing remote health checkup systems for maternal and newborn health in the rural communities in Bangladesh, American Public Health Association Annual Meeting, 2020年10月27日, United States of America / オンライン.
- Islam R, Yokota F, Nishikitani M, Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Rahman M, Sultana N, Ahmed A, Nakashima N: COVID-19 system in Portable Health Clinic for remote patient follow-up ensuring clinical safety, Asia Pacific Association for Medical Informatics, 2020年11月22日, Japan.
- Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Nishikitani M, Kato K, Morokuma S, Nessa M, Nohara Y, Yokota F, Ahmed A, Islam R, Nakashima N.: Portable Health Clinic for Sustainable Care of Mothers and Newborns in Rural Bangladesh, Asia Pacific Association for Medical Informatics, 2020年11月22日, Japan.
- Nishikitani M, Nohara Y, Islam R, Yokota F, Kikuchi K, Ahmed A, Sultana N, Nakashima N: Effects of renal dysfunction on the improvement of anemia in Bangladesh: an epidemiological analysis of health checkup data with ICT intervention, Asia Pacific Association for Medical Informatics, 2020年11月22日, Japan

- Yokota F, Ahmed A, Nishikitani M, Islam R, Izukura R, Chowdhury R, Kikuchi K, Sato Y, Nohara Y, Nakashima N: Comparisons of anthropometric indices for predicting type 2 diabetes among participants in telemedicine and health checkups in Bangladesh, Asia Pacific Association for Medical Informatics, 2020年11月22日, Japan.
 - Islam R, Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Yokota F, Nishikitani M, Tasneem R, Sultana N, Ahmed A, Nakashima N: Personal Health Record (PHR) System in Portable Health Clinic, Medical Informatics Europe 2020年4月28日, Switzerland/オンライン.
- **大学・研究機関などの刊行誌**
- 草野恵美子, 鳩野洋子, 合田加代子, 中山貴美子, 小倉加恵子: 発達障害のある学童期児童と家族に対する社会資源ごとにみた地域での支援の課題, *大阪医科大学看護研究雑誌*, 11, , 35 - 43, 2021年03月.
 - 中山貴美子, 鳩野洋子, 金子仁子, 草野恵美子, 小寺さやか: コミュニティ・エンパワメントに向けて地域組織と保健師が協働するための支援モデルの開発, *大阪医科大学看護研究雑誌*, 11, , 3 - 13, 2021年03月.
- **調査研究報告** なし
- **国内学会での講演, 発表**
- 野田三奈未, 諸隈誠一: 妊婦の内受容感覚と不安・うつ傾向との関連日本赤ちゃん学会, 2020年9月18日, 福岡/オンライン.
 - 田中希実, 佐藤洋子, 諸隈誠一: 妊娠中期における初産婦の胎児愛着に影響を及ぼす要因, 日本赤ちゃん学会, 2020年9月18日, 福岡/オンライン.
 - 中山貴美子, 鳩野洋子, 合田加代子, 草野恵美子: 乳幼児がもつがんサバイバーである母親ががん診断後に抱える困難, 日本地域看護学会 第23回学術集会, 2020年08月, 大阪(オンライン).
 - 馬場順子, 鳩野洋子, 寺岡佐和, 前野有佳里, 木村一絵, 藤田貴子: 市町村における非常勤保健師との協働による効果的な活動方法の検討 第1報, 第79回日本公衆衛生学会総会, 2020年10月, 京都/オンライン.
 - 鳩野洋子, 馬場順子, 寺岡佐和, 前野有佳里, 木村一絵, 藤田貴子: 市町村における非常勤保健師との協働による効果的な活動方法の検討 第2報, 第79回日本公衆衛生学会総会, 2020年10月, 京都/オンライン.
 - 草野恵美子, 鳩野洋子, 合田加代子, 中山貴美子: 地域での子育て支援への参加意欲がある男性高齢者の背景要因の特徴, 第79回日本公衆衛生学会総会, 2020年10月, 京都(オンライン).
 - 寺岡佐和, 馬場順子, 鳩野洋子, 前野有佳里, 木村一絵, 藤田貴子: 市町村保健師の効果的な保健活動に向けて(第1報)非常勤保健師の役割の実態, 第9回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2021年01月, 東京/オンライン.

- 前野有佳里、馬場順子、鳩野洋子、寺岡佐和、木村一絵、藤田貴子：市町村保健師の効果的な保健活動に向けて(第2報)人材確保に影響する要因とその方策，第9回日本公衆衛生看護学会学術集会，2021年01月，東京/オンライン
- 馬場順子、鳩野洋子、寺岡佐和、前野有佳里、木村一絵、藤田貴子：市町村保健師の効果的な保健活動に向けて(第3報)非常勤保健師の人材育成，第9回日本公衆衛生看護学会学術集会，2021年01月，東京/オンライン。
- 阿部朱美、鳩野洋子、寺岡佐和：住民組織活動が地域づくりに発展するための保健師の支援評価項目の精選－表面妥当性と内容妥当性の検討，第9回日本公衆衛生看護学会学術集会，2021年01月，東京/オンライン。
- 嶋津多恵子、麻原きよみ。鳩野洋子、遠藤直子、吉野純子、今野弘美、清水雅子：プリセプター保健師研修を企画・構築し根付かせていくプロセス，第9回日本公衆衛生看護学会，2021年01月，東京(オンライン)。
- 遠藤直子、嶋津多恵子、麻原きよみ。鳩野洋子、吉野純子、今野弘美、清水雅子：組織の特性に合わせたプリセプター保健師研修の内容の実践例，第9回日本公衆衛生看護学会，2021年01月，東京(オンライン)。
- 王丸真知子 川田紀美子：親からの実質的サポートが少ない産後を過ごした母親の育児・生活実態とストレス緩衝要因，第61回日本母性衛生学会学術集会，2020年10月，静岡(オンライン)。
- 濱田裕子、藤田紋佳：子どもを亡くした親は子どもとの関係性をどのように紡いでいくのか～描画にみる過去・現在・未来とグリーフの様相～，第3回日本グリーフ&ビリーブメント学会，2021年03月，京都/オンライン
- 野田優子、古賀友紀、濱田裕子、若杉陽子、北村佳代子、大賀正一：小児がん患者の付添い家族における抗がん剤暴露の現状と課題，第18回日本小児がん看護学会，2020年11月，福島/オンライン
- 古賀友紀、野田優子、若杉陽子、北村佳代子、濱田裕子、大賀正一：小児医療センターにおける閉鎖式薬物移送システムによる患者家族および職業性抗がん剤曝露対策，第18回日本小児がん看護学会，2020年11月。福島/オンライン
- 泊祐子、市川百香里、遠渡絹代、部谷知佐恵、濱田裕子、岡田摩理、赤羽根章子、武村淳子：障がい児と家族の暮らしを支える訪問看護の礎となる診療報酬の拡大(2)，日本看護研究学会第46回学術集会，2020年09月。北海道/オンライン
- 当科におけるモビコール投与の実際、伊崎智子、小幡聡、入江敬子、宮田潤子、吉丸耕一朗、田口智章、第57回日本小児外科学会学術集会、2020年9月、東京
- 産科DICとなった慢性特発性偽性腸閉塞(CIIP)の1例、伊崎智子、柳佑典、江角元史郎、深水倫子、宮田潤子、小幡聡、入江敬子、田口智章、城戸咲、片山由大、加藤聖子、第50回日本小児消化管機能研究会、2020年2月、大阪
- 末次美子、錦井友美、吉田敬子、上別府圭子：「ボンディング障害」を測定する質問紙の特徴：Mother-to-Infant Bonding Scale (MIBS)とPostpartum Bonding Questionnaire (PBQ)の比較検討，日本赤ちゃん学会，2020年09月，Web開催

- Yokota F, Ahmed A, Nishikitani M, Islam R, Chowdhury R, Tasneem R, Biyani M, Nagar R, Kikuchi K, Izukura R, Nohara Y, Nakashima N: Factors associated with repeated participation in telemedicine health checkups, Bangladesh and India, 第24回日本医療情報学会 春期学術大会, 2020年06月05日.
- 菊地君与、佐藤洋子、諸隈誠一: オンラインによる国際保健・医療の教育についての現状と課題について, 日本国際保健医療学会(東日本大会), 2021年02月06日/オンライン.
- 名西恵子、安岡潤子、菊地君与:カンボジア農村部においてビレッジ・マラリア・ワーカーが継続的にカウンセリングすることによる乳幼児栄養改善の効果, 日本国際保健医療学会, 2020年11月1日/オンライン.
- 菊地君与、イスラム・ラフィクル、佐藤洋子、錦谷まりこ、伊豆倉理江子、加藤聖子、諸隈誠一、ネッサ・メヘルン、横田文彦、中島直樹: バングラデシュにおける遠隔での新生児健診について: 介入中間時における結果報告, 日本赤ちゃん学会, 2020年9月18日、福岡/オンライン.
- 八谷光紗、石原由紀、佐々木愛理佳、木村一絵: 介助を要する神経筋疾患患者に対する排痰意欲を高める体位ドレナージ実施プログラムの作成と実践—プログラム実施による患者満足度と患者の排痰意欲の変化について—, 臨床看護研究発表会, 2020年12月, オンデマンド.
- 福丸由佳、川崎雅子、木村一絵、長江美代子、門田行史、俣野美雪: I-CARE(インターネットによるCARE)のワークショップに向けた実践演習, 第10回PCIT-Japan & CARE-Japan 合同研究会, 2020年12月, オンライン
- 木村一絵、福丸由佳: オンライン版専門家向けCAREワークショップ, 第1回PCIT&CARE九州地区合同研究会, 2021年01月, オンライン.
- 向井綾、木村一絵、秋吉万純、奥村彩織: 覚醒下で行われる侵襲的処置の苦痛を最小限とする要因に関する文献研究—腰椎穿刺を受ける患者の身体的・精神的苦痛を緩和する看護介入—, 第25回日本難病看護学会 第8回日本難病医療ネットワーク学会 合同学術集会, 2020年11月
- 山上愛理佳、石原由紀、八谷光紗、江口恭世、木村一絵: 自力で寝返りできず排痰に吸引を要する神経筋疾患患者を対象とした安楽な体位ドレナージの実施を妨げる要因, 第25回日本難病看護学会 第8回日本難病医療ネットワーク学会 合同学術集会, 2020年11月
- 林下里見、濱田裕子、宮田潤子、藤田紋佳、森口晴美: 総排泄腔遺残症患者の体験 —“終わらない病氣”をもつ女性として生きる—, 第67回日本小児保健協会学術集会, 2020年11月, 福岡/オンライン

○ 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 諸隈誠一：（共著）母性看護学，2020年06月，株式会社メヂカルフレンド社。
- 前野 有佳里，寺岡 佐和：（共著）2021年度版 保健師国家試験問題集 医学書院，2020年04月，医学書院。
- Yahara T, Tanaka W, Inoue Y, Lee J, Qian K, Javadi F, Onda N, Yokota F, Eguchi K, Nishikitani M, Kikuchi K, Kawasaki A, Jeong Y, Ide J, Ota T, Fujiwara T, Hosoya T, Kano Y, Sugimoto M, Ahmed A, Shimatani Y, Tokunaga S, Nagahama A, Hiramatsu M, Murakami T：（共著）Decision science for future earth: a conceptual framework. In Yahara T. (Ed). Decision science for future earth: theory and practice, 2021年02月，Springer Nature Singapore.
- Yokota F, Biyani M, Islam R, Ahmed A, Nishikitani M, Kikuchi K, Izukura R, Nohara Y, Nakashima N:（共著）Co-design, co-production, and co-evaluation processes for a mobile health check-up research project in Jaipur, India: a case study of the portable health clinic, 2016-2020. In Yahara T. (Ed) Decision science for future earth: theory and practice, 2021年2月，Springer Nature Singapore.
- Islam R, Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Nishikitani M:（共著）Modular expansion of portable health clinic in Bangladesh. In Ray PD (Eds.) Mobile technologies for delivering healthcare in remote, rural or developing regions, 2020年10月，The Institution of Engineering and Technology.
- Yokota F, Biyani M, Hu Y, Kikuchi K, Shah F, Yasuoka J, Nanishi K, Alcoba R, Noureen A:（共著）PHC case studies in India, Cambodia, Pakistan and China. In Ray PD (Eds.) Mobile technologies for delivering healthcare in remote, rural or developing regions. 2020年10月，The Institution of Engineering and Technology.

2. 総説

- 諸隈誠一：エコチル調査から見てきた周産期の新たなリスク要因 産科合併症：CTG異常がみられた新生児は育てにくい傾向があるのか？臨床婦人科産科 74巻5号，2020年5月。
- 諸隈誠一：大気汚染と女性医学～周産期影響に着目して～日本女性医学学会雑誌 27巻4号 2020年7月。
- 嶋津多恵子，嶋野洋子，住徳松子，松尾和枝，岡順子，緒方文子，後藤智江，藤野善久：保健師のための倫理—学会の倫理審査を受けるときには，所属長の許可はらない？，保健師ジャーナル，2021年03月。
- 後藤智江，松尾和枝，嶋野洋子，岡順子，緒方文子，嶋津多恵子，住徳松子，松尾和枝，藤野善久：保健師のための倫理—事業アンケートの分析結果を学術誌に投稿することはできる？，保健師ジャーナル，2021年02月。
- 嶋野洋子，岡順子，緒方文子，後藤智江，嶋津多恵子，住徳松子，松尾和枝，藤野善久：保健師のための倫理—健診データを使って学会発表することはできる？，保健師ジャーナル，2021年01月。
- 岡順子，嶋野洋子，住徳松子，後藤智江，嶋津多恵子，緒方文子，松尾和枝：第8回日本公衆衛生看護学会学術集会ワークショップ報告 日常業務の中で扱う情報の公表 ～倫理と個人情報保護の視点から～，日本公衆衛生看護学会誌，2020年04月。

- 野田優子、古賀友紀、濱田裕子：小児がん医療での癌薬物療法における暴露対策の動向と課題，小児看護，2020年11月
- 濱田裕子：障がいのある子どもの End of Life とこどもホスピス，小児看護，2020年10月．
- 古賀友紀，野田優子，宮田潤子：小児がん医療でのがん薬物療法における曝露対策の動向と課題，小児看護，2020年12月．
- 伊崎智子，小幡聡，宮田潤子，田口智章：たかが便秘、されど便秘-小児の便秘を科学する そもそも便秘って何?(総論) 将来的な合併症とは，小児科診療，2020年06月
- 濱田裕子，藤田紋佳，森口晴美：子どもを亡くした遺族への関わりー遺族から学ぶグリーフケアー，グリーフ&ビリーブメント研究(2020)(1)69-75，2020年12月

3. 解説, 書評など

- 菊地君与：コロナ禍における研究の継続について，決断科学，2021年03月．
- 佐藤洋子：バングラデシュ母子遠隔健診プロジェクト，助産師，2020年8月

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 諸隈，新生児・乳児におけるシート型生体センサーを用いた行動期評価に関する研究，理化学研究所，2021年01月～2023年03月
- 濱田，障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト，2016年04月～2021年03月

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 諸隈, 基幹教育委員会委員.
- 諸隈, 教育企画委員会委員.

2. 部局委員

- 諸隈, 医学図書館運営委員会委員.
- 諸隈, 倫理委員会委員.
- 濱田, ユーザー感性学専攻教務ワーキング委員.
- 宮田, 九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクト副プログラム責任者.
- 菊地, 100人委員会委員.

3. 部門・コース内委員

- 諸隈, 教務委員会委員長.
- 鳩野, 大学院委員会委員.
- 鳩野, 実習委員会委員.
- 鳩野, 施設委員会、副委員長.
- 鳩野, 年報作成委員会・委員.
- 川田, 保健学部門学生支援会運営委員会.
- 川田, 学生委員会委員.
- 寺岡, 実習委員会委員.
- 寺岡, 看護研究委員会委員長.
- 濱田, 地域国際連携 WG 委員.
- 濱田, 地域国際連携 FD 委員.
- 前野, 広報委員会委員.
- 宮田, 看護学分野国際 WG 委員.
- 宮田, FD 実行委員会委員.
- 宮田, 地域・国際連携委員.
- 菊地, 地域国際連携 WG 委員.
- 末次, 看護学専攻卒業研究委員.
- 末次, 看護キャリアセンター会議委員.
- 末次, FD 実行委員会委員.
- 木村, 広報委員会委員.
- 藤田(紋), 年報作成委員会委員.

- 藤田(紋), 支線 LAN 管理者、KITE 連絡員.
- 藤田(紋), カリキュラム WG 委員.
- 藤田(紋), 実習委員会委員.
- 藤田(貴), 1年生担任.
- 藤田(貴), 施設・環境委員会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 諸隈, 同志社大学・赤ちゃん学研究センター, 非常勤講師.
- 濱田, 久留米大学大学院, 非常勤講師.
- 寺岡, 福岡看護大学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 諸隈, The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, Associate Editor, 国際
- 諸隈, 日本産科婦人科学会, 代議員, 国内.
- 諸隈, 日本母性衛生学会, 代議員, 国内.
- 諸隈, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 福岡産科婦人科学会, 評議員, 国内
- 諸隈, 日本あかちゃん学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 日本発達神経科学会, 理事, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 理事, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 表彰委員会, 委員長, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 表彰論文選考委員会 委員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護研究学会, 代議員, 国内
- 鳩野, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内
- 鳩野, 日本公衆衛生学会, 代議員, 国内
- 前野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内
- 川田, 「International Board Certified Lactation Consultant(IBCLC)」, The International Board of Lactation Consultant Examiners.
- 川田, NPO 法人 日本ラクテーションコンサルト協会, 査読委員, 国内.
- 川田, 日本母乳哺育学会, 査読委員, 国内.
- 川田, 日本母乳哺育学会, 編集委員, 国内.
- 川田, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内
- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 九州・沖縄1地域部会運営委員 副部長, 国内.

- 濱田, 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 倫理委員会, 委員, 国内.
- 濱田, 小児護系学会等社会保険連合(看保連), 委員.
- 濱田, 日本看護研究学会涉外, WG 委員, 国内
- 濱田, 日本小児がん看護学会, 理事/研究助成委員長, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 倫理委員会委員, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 九州沖縄小児看護教育研究会, 幹事, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会第 31 回学術集会企画委員, 国内
- 濱田, 日本家族看護学会第 28 回学術集会企画委員, 国内
- 菊地, 日本国際保健医療学会, 代議員, 国内
- 菊地, PLOS ONE, Academic Editor, 国際
- 菊地, PLOS ONE Global Public Health, Academic Editor, 国際
- 菊地, PeerJ, Editorial Board Member, 国際
- 木村, PCIT&CARE 九州地区研究会, 副会長 (CARE 担当), 国内.
- 藤田(紋), 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 藤田(紋), Progress in Transplantation, 査読, 国際.
- 藤田(貴), 医療福祉経営マーケティング研究会, 編集委員, 国内.

3. 官界

- 鳩野, 福岡市保健福祉審議会, 委員, 福岡市.
- 鳩野, 教育研修再構築プロジェクト委員会, 委員長, 福岡県看護協会.
- 川田, International Board Certified Lactation Consultant, IBCLC, The International Board of Lactation Consultant Examiners.
- 藤田貴子, 新型コロナウイルス感染症厚生労働省保健所支援チーム, 非常勤職員, 厚生労働省・那覇市.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 鳩野, 九州大学病院看護教育推進ワーキング, 委員.
- 鳩野, 教育研修再構築プロジェクト委員会, 福岡県看護協会, 委員長.
- 前野, 社会福祉法人福岡あけぼの会, 第三者委員.
- 前野, 社会福祉法人福岡あけぼの会, 評議委員.
- 川田, 九州大学助産師同窓会みのり会, 庶務, 国内.
- 濱田, 九州大学病院看護教育推進ワーキング, 委員.
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック実習指導者養成講習会, 非常勤講師.
- 濱田, 九州大学病院小児緩和ケアチーム, グリーフカード WG, 委員.
- 濱田, 福岡市立こども病院, 地域医療支援病院諮問委員会, 委員.

- 宮田, 原看護専門学校, 非常勤講師.
- 藤田(紋), 九州大学病院小児緩和ケアチーム, グリーフカード WG, 委員.
- 藤田(紋), 九州大学病院小児外科外来, 非常勤看護師

5. 公開講座・公開講演会

- 諸隈, 「眠育アドバイザー養成講座/ 発表内容:胎児・新生児期の睡眠と課題」, 日本眠育推進協議会, オンライン開催, セミナー・研修会.
- 鳩野, 「全国保健師長会研修」, 全国保健師長会, セミナー・研修会.
- 鳩野, 「プリセプター研修」, 福岡県, セミナー・研修会.
- 前野, 「初任者研修」, 福岡県, セミナー・研修会.
- 濱田, 「第3回全国こどもホスピスサミット in 福岡～いのちかがやく社会へ、ともに考えよう! ”生きるを支える子どもホスピス”」, NPO 法人福岡子どもホスピスプロジェクト, 講演会・公開討論.
- 濱田, 「第12回 小児がん親の会ピアサポーター養成研修会」オンライン開催, セミナー・研修会
- 濱田, 「総排泄腔疾患関連市民公開講座」, 公開講座.
- 濱田, 「総排泄腔疾患関連患者・医療者 web 交流会」
- 宮田, 「総排泄腔疾患関連市民公開講座」, 公開講座.
- 宮田, 「総排泄腔疾患関連患者・医療者 web 交流会」
- 菊地, 佐藤:「新型コロナと母子の医療および健康についての現状と課題」, 決断科学プログラム学生のための健康モジュール・オンラインセミナー, オンライン, セミナー・研修会
- 木村, 「ふくここオンラインセミナー 専門家向け I-CARE ワークショップ」, 福岡子どものこころ研究所, オンライン, セミナー・研修会.
- 木村, 「CARE-Japan 専門家向け I-CARE ワークショップ」, CARE-Japan, オンライン, セミナー・研修会.
- 末次, 佐藤:「シミュレーション教育実践例(ハイリスク妊産婦)」, 望ましい助産師教育におけるコアカリキュラム活用のための研修会, オンライン, セミナー・研修会
- 藤田(紋), 「総排泄腔疾患関連患者・医療者 web 交流会」

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

| | |
|-----|-------|
| 教授 | 有村 秀孝 |
| 教授 | 藤淵 俊王 |
| 准教授 | 高橋 昭彦 |
| 准教授 | 納富 昭弘 |
| 助教 | 河窪 正照 |
| 助教 | 尹 湧琇 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|--|----|-----|
| IT in Health and Medicine | 有村 | 夏学期 |
| Medical Image and Information Sciences | 有村 | 春学期 |
| Quantum Radiation Science and Technology I | 有村 | 前期 |
| 医学物理情報理論 | 有村 | 前期 |
| 医用画像情報科学論 | 有村 | 春学期 |
| 量子線理工科学 I | 有村 | 前期 |
| Information Theory for Medical Physics | 有村 | 前期 |
| 保健・医療とIT | 有村 | 夏学期 |
| Quantum Radiation Science and Technology I | 藤淵 | 前期 |
| IT in Health and Medicine | 藤淵 | 夏学期 |
| 量子線理工科学 I | 藤淵 | 前期 |
| リプロサイエンス I | 藤淵 | 前期 |
| 保健・医療とIT | 藤淵 | 夏学期 |
| Medical Image Sciences | 藤淵 | 後期 |
| 医用画像科学論 | 藤淵 | 後期 |
| 基礎電磁波論 | 高橋 | 前期 |
| 量子線理工科学 I | 納富 | 前期 |
| 基礎量子力学 | 納富 | 後期 |
| 医用線量計測学 | 納富 | 秋学期 |
| Medical Image Sciences | 河窪 | 後期 |
| 医用画像科学論 | 河窪 | 後期 |
| 国際社会とチーム医療 | 河窪 | 前期 |
| Medical Image Sciences | 尹 | 後期 |
| 医用画像科学論 | 尹 | 後期 |

2. 大学院実験・実習なし

3. 大学院演習

| | | |
|---|----|----|
| Practice in Quantum Radiation Therapy | 有村 | 前期 |
| Practice in Quantum Radiation Technology | 有村 | 前期 |
| Practice in Medical Image and Information Sciences | 有村 | 前期 |
| Thesis Research on Health Science in Asia (Professor Arimura) | 有村 | 通年 |
| Advanced International Presentation (Professor Arimura) | 有村 | 通年 |
| RhD Research in Health Science (Professor Arimura) | 有村 | 通年 |
| 保健学特別研究(有村教授) | 有村 | 通年 |
| 量子線治療科学演習 | 有村 | 前期 |
| 医用量子線理工学演習 | 有村 | 前期 |
| 医用画像情報科学演習 | 有村 | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(有村教授) | 有村 | 通年 |
| International Presentation (Professor Arimura) | 有村 | 前期 |
| 国際プレゼンテーション(有村教授) | 有村 | 通年 |
| Practice in Quantum Radiation Technology | 藤淵 | 前期 |
| Practice in Quantum Radiation Therapy | 藤淵 | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(藤淵教授) | 藤淵 | 通年 |
| 医用量子線理工学演習 | 藤淵 | 前期 |
| 量子線治療科学演習 | 藤淵 | 前期 |
| 保健学特別研究(藤淵教授) | 藤淵 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(藤淵教授) | 藤淵 | 通年 |
| Quantum Radiation Science and Technology II | 藤淵 | 後期 |
| 量子線理工科学II | 藤淵 | 後期 |
| 医用量子線理工学演習 | 高橋 | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(高橋准教授) | 高橋 | 通年 |
| 基礎量子力学 | 納富 | 後期 |
| 医用量子線理工学演習 | 納富 | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(納富准教授) | 納富 | 通年 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|----------------------------|---|
| Le Cuong Quoc (Vietnam) | Radiomics-based analysis for prediction of five-year overall survivals in head-and-neck cancer patients 頭頸部癌患者における5年生存率予測のためのレディオミクス解析 |
| 神崎祐依 | 医療現場で発生する中性子・X線計測における CCD カメラの応用に関する検討 |

5. 大学院博士課程修了者

| | |
|------|--|
| 高木剛司 | 一般撮影における最適な検出器到達線量を決定し撮影条件を表示する支援システムの開発 |
|------|--|

6. 学部講義

| | | |
|------------------|----|-----|
| コンピュータープログラミング入門 | 有村 | 秋学期 |
| 物理数学 I | 有村 | 前期 |
| 放射線物理学 | 有村 | 前期 |
| X線CT画像技術学 | 有村 | 春学期 |
| 放射線治療技術学 I | 有村 | 前期 |
| 放射線治療・核医学機器学 | 有村 | 前期 |
| 放射線技術科学入門 II | 有村 | 後期 |
| 放射線技術科学入門 I | 有村 | 前期 |
| 放射線治療技術学 I | 藤淵 | 前期 |
| X線CT画像技術学 | 藤淵 | 春学期 |
| 基礎医療統計 | 藤淵 | 夏学期 |
| 臨床解剖薬理学 | 藤淵 | 冬学期 |
| 放射線管理学 | 藤淵 | 後期 |
| 放射線技術科学入門 II | 藤淵 | 後期 |
| 放射線技術科学入門 I | 藤淵 | 前期 |
| 基幹物理学 I B 演習 | 納富 | 後期 |
| 放射性同位元素検査学・実習 | 納富 | 前期 |
| 放射線治療計測学 | 納富 | 後期 |
| 放射線技術科学入門 II | 納富 | 後期 |
| 放射線医学技術学概論 | 納富 | 夏学期 |
| 放射線技術科学入門 I | 納富 | 前期 |
| 放射線物理学 | 納富 | 前期 |
| 放射線治療・核医学機器学 | 納富 | 前期 |
| 原子核物理学 | 納富 | 後期 |
| 放射線計測学 | 納富 | 前期 |
| 物理数学 II | 高橋 | 春学期 |
| 放射線治療・核医学機器学 | 高橋 | 前期 |
| 放射線技術科学入門 II | 高橋 | 後期 |
| 放射線技術科学入門 I | 高橋 | 前期 |
| 品質管理論 | 河窪 | 後期 |
| 臨床解剖薬理学 | 河窪 | 冬学期 |
| 放射線技術科学入門 II | 河窪 | 後期 |
| 放射線技術科学入門 I | 河窪 | 前期 |
| 放射線治療・核医学機器学 | 河窪 | 前期 |
| 基礎医療統計 | 河窪 | 夏学期 |
| 品質管理論 | 尹 | 後期 |
| 医用画像評価学 | 尹 | 後期 |
| 基礎医療統計 | 尹 | 夏学期 |
| 放射線技術科学入門 II | 尹 | 後期 |

| | | |
|-------------|---|----|
| 放射線技術科学入門 I | 尹 | 前期 |
|-------------|---|----|

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|------------------|----|-----|
| コンピュータープログラミング入門 | 有村 | 秋学期 |
| 医用画像情報学実習 | 有村 | 夏学期 |
| 放射線機器学実験 | 有村 | 春学期 |
| 卒業研究 | 有村 | 通年 |
| 放射線管理学実験 | 藤淵 | 春学期 |
| 放射線治療技術学実習 | 藤淵 | 後期 |
| 放射線画像技術学実習 | 藤淵 | 後期 |
| 画像解剖学演習 | 藤淵 | 後期 |
| 放射化学実験 | 藤淵 | 冬学期 |
| 卒業研究 | 藤淵 | 通年 |
| 放射線計測学実験 | 納富 | 前期 |
| 卒業研究 | 納富 | 通年 |
| 放射線機器学実験 | 高橋 | 春学期 |
| 卒業研究 | 高橋 | 通年 |
| 放射線治療技術学実習 | 河窪 | 後期 |
| 放射線画像技術学実習 | 河窪 | 後期 |
| 画像解剖学演習 | 河窪 | 後期 |
| 卒業研究 | 河窪 | 通年 |
| 臨地実習 | 河窪 | 通年 |
| 放射線管理学実験 | 河窪 | 春学期 |
| コンピュータープログラミング入門 | 河窪 | 秋学期 |
| 放射化学実験 | 尹 | 冬学期 |
| 放射線画像技術学実習 | 尹 | 後期 |
| 医用画像処理学演習 | 尹 | 夏学期 |
| 卒業研究 | 尹 | 通年 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|-------|---|
| 福永 匠 | 膠芽腫における MR 画像と遺伝子発現量を用いた Radiogenomics |
| 平川勇也 | 前立腺低周波 MR 画像における様々な補間法の高解像度再構成 |
| 兒玉拓巳 | レディオミクス解析を用いた NSCLC 患者における SBRT 治療後の癌の進行リスク評価 |
| 江頭 舞 | 数学的モデルを用いた定位放射線治療後の非小細胞肺癌細胞数変化の予測 |
| 市瀬天河 | 前立腺癌における病理組織画像の特徴量解析 |
| 鞍井愛里咲 | 放射線防護シミュレーション用連続四面体ファントムの作成 |
| 清水美里 | 心臓カテーテル検査における照射条件別臓器線量推定法の検討 |
| 星子弘之 | 深層学習による血管造影室内の散乱線分布計算高速化の検討 |

| | |
|-------|---|
| 馬渡紗理 | SGRT のための AzureKinectDK を用いた 3D データ取得 |
| 森岡 翔 | 腹部 IVR における医療従事者の線量分布の可視化 |
| 加治屋凌介 | アルファ線放出核種 At-211 の SPECT 画像のモンテカルロシミュレーション |
| 木月麻綾 | Ra-223 SPECT 画像における散乱線補正の影響 |
| 志茂佑華 | アルファ線放出核種 Th-227 の画像化の最適条件 |
| 平山健心 | ランダムに分布した Ra-223 集積部の機械学習による検出 |
| 中野 優 | In 箔と液体シンチレータを用いた中性子検出方法の検討 |
| 新留聖哉 | ヨウ素添加プラスチックシンチレータの BNCT 中性子場への適用に関する検討 |
| 式見夢希 | 120kV 診断 X 線を用いた水発光現象の CCD カメラによる観測 |
| 長友勇樹 | 120kV 診断 X 線を用いた水発光現象の光電子増倍管による観測 |
| 長沼隆介 | CNN を用いた心臓シネ MRI における不整脈アーチファクトの低減 |
| 中島裕太 | 13N-ammonia PET による心筋ストレイン解析の観察者内および観察者間における再現性 |
| 谷口太一 | Digital mammography detector 性能評価のための Monte Carlo Simulation 用散乱線除去グリッド作成に関する研究 |
| 金 禮志 | 身元確認のための死後 CT 画像を用いた胸部単純 X 線画像作成 |

9. 研究生 4 名

| |
|----------------------|
| 金 煜 Jin Yu (中国) |
| 佟 弈志 Tong YiZhi (中国) |
| 崔 雲昊 Cui Yunhao (中国) |
| 武 錦岳 (中国) |

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

○ 主要研究事項

| | |
|--|----|
| 1 がん治療のレディオミクス(肺がん, 頭頸部癌, 前立腺がん) | 有村 |
| 2 多次元データ支援放射線治療法の開発(肺がん, 前立腺がん, 子宮頸がん) | 有村 |
| 3 類似症例に基づく放射線治療自動立案法の開発 | 有村 |
| 4 無症候性未破裂脳動脈瘤の検出支援システムの開発 | 有村 |
| 5 放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発 | 有村 |
| 6 高精度放射線治療計画支援システムの開発 | 有村 |
| 7 多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発 | 有村 |
| 8 アルツハイマー病検出のためのコンピューター支援診断システムの開発 | 有村 |
| 9 医用放射線による患者およびスタッフの放射線防護、モニタリング、放射性廃棄物に関する研究放射線の可視化に関する研究 | 藤淵 |

| | |
|--|----|
| 10 硼素中性子捕捉療法(BNCT)の物理工学的研究、放射線治療に関連する線量測定の研究 | 納富 |
| 11 モンテカルロシミュレーションを用いた核医学画像評価に関する研究 | 高橋 |
| 12 医用画像解析 | 河窪 |

○ 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」遺伝子変異検出から予後予測へつなぐ画像生検の開発, 有村(代表), 1400 千円.
- 「挑戦的研究(萌芽)」野外での昆虫体内における RI 動態可視化システムの開発, 藤淵(分担), 600 千円.
- 「基盤研究(C)」ホウ素中性子捕捉療法における中性子測定に適した自己放射化有機シンチレータの開発, 納富(代表), 800 千円.
- 「若手研究」シネ MRI による体循環右室リモデリング解析の CRT 効果予測における有用性の確立, 河窪(代表), 1900 千円.
- 「若手研究」散乱 X 線除去率を高めるための新しいデジタルマンモグラフィ検出器開発に関する研究, 尹(代表), 1100 千円.
- 「基盤研究(C)」放射線画像認識技術を用いた死後画像の特定に関する研究, 尹(分担), 280 千円.

○ 学内研究経費の受入れ

- 「九州大学 ARO 次世代医療センター2020 年度シーズ A 橋渡し研究戦略的推進プログラム」CT 画像を用いた予後予測可能な EGFR 遺伝子変異陽性肺癌の自動検出法の開発, 有村(代表), 4,300 千円.
- 「九州大学 ARO 次世代医療センター2020 年度シーズ A 橋渡し研究戦略的推進プログラム」肺高血圧症の右心室リモデリングに対する治療戦略決定のための全自動解析, 河窪(代表), 3,700 千円.
- 「数理・データサイエンスに関する教育・研究支援プログラム」胸部単純 X 線画像データベースを用いた性別・年齢推定深層学習モデルに関する研究, 尹(代表), 1,000 千円.

○ 奨学寄付金の受入れ なし

○ その他の外部研究資金の受入れ

- 「株式会社 A-Line 線量管理システムの機能追加に関する研究」藤淵.
- 「コニカミノルタ株式会社 低線量胸部動態 X 線画像を用いた呼吸器、循環器疾患の病態解明および臨床的意義の検討」河窪.

○ 受託研究員・研修員の受入れ なし

○ 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Yunhao Cui, Hidetaka Arimura, Risa Nakano, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hidetake Yabuuchi: Automated approach for segmenting gross tumor volumes for lung cancer

- stereotactic body radiation therapy using CT-based dense V-networks, *Journal of Radiation Research*, Volume 62, Issue 2, March 2021, Pages 346-355, 2021年03月.
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Wai Yee Chan, Kentaro Tanaka, Shinichi Mizuno, Nadia Fareeda Muhammad Gowdh, Nur Adura Yaakup, Chong-Kin Liam, Chee-Shee Chai, Kwan Hoong Ng: Robust identification of EGFR mutated NSCLC patients from three countries using Betti numbers, *PLOS ONE*, January 11, 2021, 2021年01月.
 - Quoc Cuong Le, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Yutaro Kabata: Radiomic features based on Hessian index for prediction of prognosis in head-and-neck cancer patients, *Scientific Reports* 10, 21301 (2020), 2020年12月.
 - Hidemi KAMEZAWA, Hidetaka ARIMURA, Ryuji YASUMATSU, Kenta NINOMIYA, Shu HASEAI: Preoperative and non-invasive approach for radiomic biomarker-based prediction of malignancy grades in patients with parotid gland cancer in magnetic resonance images, *Medical Imaging and Information Sciences 2020 Volume 37 Issue 4*, 2020年12月.
 - Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Tadamasu Yoshitake, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama: Radiomic prediction of radiation pneumonitis on pretreatment planning computed tomography images prior to lung cancer stereotactic body radiation therapy, *Scientific Reports* 10, 20424 (2020), 2020年11月.
 - Leni Aziyus Fitriya, Freddy Haryanto, Hidetaka Arimura, Cui YunHao, Kenta Ninomiya, Risa Nakano, Mohammad Haekal, Yuni Warty, Umar Fauzi: Automated classification of urinary stones based on microcomputed tomography images using convolutional neural network, *Physica Medica Vol.78, October 2020, Pages 201-208*, 2020年10月.
 - 山田真大, 二宮健太, 崔云昊, 有村秀孝: レディオミクス特徴量に基づく機械学習を用いた NSCLC の組織学的サブタイプ分類, *医用画像情報学会雑誌 Vol.37No. 3*, 2020年10月.
 - Toya R, Saito T, Matsuyama T, Kai Y, Shiraishi S, Murakami D, Yoshida R, Watakabe T, Sakamoto F, Tsuda N, Arimura H, Orita Y, Nakayama H, Oya N: Diagnostic Value of FDG-PET/CT for the Identification of Extranodal Extension in Patients With Head and Neck Squamous Cell Carcinoma., *Anticancer Res. 2020;40(4):2073-2077.*, 2020年04月.
 - Hiroshi Yoshitani, Toshioh Fujibuchi, Yumiko Nakajima: Basic study of mobile gamma ray imaging using a digital camera and scintillator, *Biomedical Physics & Engineering Express*, , 2021年03月.
 - 藤淵俊王, 藤田克也, 五十嵐隆元, 西丸英治, 堀田昇吾, 桜井礼子, 小野孝二: 放射線診療従事者の不均等被ばく管理の実態に基づく水晶体被ばく低減対策の提案, *日本放射線技術学会雑誌*, 77, 2, 160 - 171, 2021年02月.
 - Kazuki Nishi, Toshioh Fujibuchi, Takashi Yoshinaga: Development of an application to visualise the spread of scattered radiation in radiography using Augmented Reality, *Journal of Radiological Protection*, 11, 4, 1299 - 1310, 2020年11月.
 - Choirul Anam, Kusworo Adi, Heri Sutanto, Zaenal Arifin, Wahyu Setia Budi, Toshioh Fujibuchi, Geoff Dougherty: Noise reduction in CT images with a selective mean filter, *Journal of Biomedical Physics and Engineering*, , 2020年08月.
 - Yoshihiro Okada, Kosuke Kaneko, Toshioh Fujibuchi: IntelligentBox Based Training System for Operation of Radiation Therapy Devices, *Complex, Intelligent and Software Intensive Systems - Proceedings of the 14th International Conference on Complex, Intelligent and Software Intensive Systems, CISIS*, , 188 - 198, 2020年07月.
 - Choirul Anam, Dwi Adhianto, Heri Sutanto, Kusworo Adi, Mohd Hanafi Ali, William Ian, Duncombe Rae, Toshioh Fujibuchi, Geoff Dougherty: Comparison of central, peripheral, and weighted size-specific dose in CT, *Journal of X-Ray Science and Technology*, 2020年05月.
 - Navid Khaledi, Toshioh Fujibuchi, Xufei Wang, Zhao Ruifeng, Nur Kodaloglu, Farhad Samiei: The current status of the medical physicist certification program in Iran, in comparison with

- Turkey, China, Japan, UK, and USA, *Physical and Engineering Sciences in Medicine*, , 2020 年 05 月.
- Keisuke Hamada, Toshioh Fujibuchi, Naoki Yoshida, Hiroki Ohura: Examination of a dose evaluation method for floor-mounted kV X-ray image-guided radiation therapy systems, *Radiological Physics and Technology*, , 2020 年 05 月.
 - Akihiro Nohtomi, Yui Kanzaki, Naoya Sakamoto, Hideya Maeda: Observation of water luminescence for diagnostic 120-kV X-rays by using PMT and CCD camera, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research A*, 988, , - , 2021 年 01 月.
 - Yumika Hanada, Akihiro Nohtomi, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama: DEVELOPMENT OF A NEUTRON DOSIMETRY SYSTEM BASED ON DOUBLE SELF-ACTIVATED CsI DETECTORS FOR MEDICAL LINAC ENVIRONMENTS, *Radiation Protection Dosimetry*, , , 1 - 9, 2020 年 11 月.
 - Sota Tanaka, Tadatoshi Kinouchi, Tsuguru Fujii, Tetsuji Imanaka, Tomoyuki Takahashi, Satoshi Fukutani, Daisuke Maki, Akihiro Nohtomi, Sentaro Takahashi: Observation of morphological abnormalities in silkworm pupae after feeding $^{137}\text{CsCl}$ -supplemented diet to evaluate the effects of low dose-rate exposure, *SCIENTIFIC REPORTS 10 (2020) 16055*, 10, , - , 2020 年 10 月.
 - Shiina Y, Kawakubo M, Inai K, Asagai S, Nagao M. : Dual VENC 4D flow magnetic resonance imaging demonstrates arterial-pulmonary collaterals in an adult with tetralogy of Fallot, *Eur Heart J Cardiovasc Imaging.*, Online ahead of print, 2020 年 12 月.
 - T Kojima, M Nagao, H Yabuuchi, Y Yamasaki, T Shirasaka, M Kawakubo, K Fukushima, T Koto, A Yamamoto, R Nakao, A Sakai, E Watanabe, and S Sakai: New transluminal attenuation gradient derived from dynamic coronary CT angiography: diagnostic ability of ischemia detected by ^{13}N -ammonia PET, *Heart and Vessels*, In Press, 2020 年 10 月.
 - Hideo Arai, Masateru Kawakubo*, Kenichi Sanui, Hiroshi Nishimura, Toshiaki Kadokami. *Corresponding author: Assessing myocardial circumferential strain using cardiovascular magnetic resonance after magnetic resonance-conditional cardiac resynchronization therapy, *Radiology Case Reports*, 15, 10, 1954 - 1959, 2020 年 08 月.
 - Yamasaki Y, Abe K, Kamitani T, Hosokawa K, Kawakubo M, Sagiyama K, Hida T, Matsuura Y, Murayama Y, Funatsu R, Tsutsui H, Yabuuchi H. : Balloon pulmonary angioplasty improves right atrial reservoir and conduit functions in chronic thromboembolic pulmonary hypertension., *European Heart Journal Cardiovascular Imaging*, , 2020 年 05 月.
 - Shiina Y, Taniguchi K, Nagao M, Takahashi T, Niwa K, Kawakubo M, and Inai K. : The relationship between extracellular volume fraction in symptomatic adults with tetralogy of Fallot and adverse cardiac events., *Journal of Cardiology*, 75, 4, 424 - 431, 2020 年 04 月.
 - H Park, Y Yoon*, J Kim, J Kim, H Jeong, N Tanaka, J Morishita: USE OF CLINICAL EXPOSURE INDEX AND DEVIATION INDEX BASED ON NATIONAL DIAGNOSTIC REFERENCE LEVEL AS DOSE-OPTIMIZATION TOOLS FOR GENERAL RADIOGRAPHY IN KOREA, *Radiation Protection Dosimetry*, Online First, Corresponding Author, 2020 年 11 月.
 - Roh, Younghoon; Nam, Sora; Lee, Bong-Ki; Ryu, Dong-Ryeol; Chun, Kwangjin; Lee, Kyu-Sun; Cho, Namho; Yoon, Yongsu; Park, Hyemin; Cho, Byung-Ryul; Kim, Jung Su: Radiation exposure of interventional cardiologists during coronary angiography: evaluation by phantom measurement and computer simulation, *PHYSICAL AND ENGINEERING SCIENCES IN MEDICINE*, Online First, 2020 年 09 月.
 - Yuya Wada, Junji Morishita, Yongsu Yoon*, Miki Okumura, Noriaki Ikeda: A simple method for automatic classification of body parts and detection of implanted metal using postmortem computed tomography scout view, *Radiological Physics and Technology*, Online First, *Corresponding Author, 2020 年 07 月.

- Hyemin Park, Yongsu Yoon*, Nobukazu Tanaka, Jungsu Kim, Jungmin Kim*, Junji Morishita: Feasibility of displayed exposure index in IEC standard framework as a dose optimisation tool for digital radiography systems, *Radiation Protection Dosimetry (2020)*, *Co-corresponding Author, 2020年05月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Yunhao Cui, Hidetaka Arimura, Risa Nakano, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hidetake Yabuuchi: AI-segmentation of gross tumor volumes on 3D planning CT images for lung cancer stereotactic ablative radiotherapy based on dense V-networks (Oral, Jan. 26), International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2021, Hybrid conference (Taipei), 2021年01月, Taiwan.
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Wai Yee Chan, Kentaro Tanaka, Shinichi Mizuno, Nadia Fareeda Muhammad Gowdh, Nur Adura Yaakup, Chong-Kin Liam, Chee-Shee Chai, Kwan Hoong Ng: Novel recognition approach of TKI-sensitizing EGFR mutations in non-small cell lung cancer patients using topologically invariant Betti numbers (Oral, Jan. 25), International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2021, Hybrid conference (Taipei), 2021年01月, Taiwan.
- Hidetaka Arimura: What is the medical physics from academic point of view? (Keynote Speech, Dec.18), The 1st International Symposium on Physics and Application 2020 (ISPA 2020) Indonesia, 2020年12月, Thailand.
- Truong Gia Huy, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka, Kenta Ninomiya: Prediction of Tumor Growth Trajectories During Molecularly Targeted Therapy Based on Mathematical Models (E-Poster), 20th Asia-Oceania Congress on Medical Physics (AOCMP), 18th South-East Asian Congress of Medical Physics (SEACOMP), 2020年12月, Thailand.
- Noriyuki Nagami, Hidetaka Arimura, Junichi Nojiri, Kenta Ninomiya, Reika Ohgushi, Satoshi Takita, Manabu Ogata, Shigetoshi Kitamura, Hiroyuki Irie: CT-based convolutional-neural-network segmentation of poorly differentiated HCCs with lung-cancer-based transfer learning (E-Poster), 20th Asia-Oceania Congress on Medical Physics (AOCMP), 18th South-East Asian Congress of Medical Physics (SEACOMP), 2020年12月, Thailand.
- Akimasa Urakami, Hidetaka Arimura, Fumio Kinoshita, Kenta Ninomiya, Sumiko Watanabe, Kenjiro Imada, Yoshinao Oda: Automatic stratification of prostate cancer patients into low- and high-grade groups based on multiparametric MR image feature analysis (E-Poster), 20th Asia-Oceania Congress on Medical Physics (AOCMP), 18th South-East Asian Congress of Medical Physics (SEACOMP), 2020年12月, Thailand.
- Hidetaka Arimura: Novel technologies of advanced radiomics for clinical practices (Invited Speech, Dec.5), 20th Asia-Oceania Congress on Medical Physics (AOCMP), 18th South-East Asian Congress of Medical Physics (SEACOMP), 2020年12月, Thailand.
- Hidetaka Arimura: How to make a research plan for young investigators (Invited Speech, Dec.4), 20th Asia-Oceania Congress on Medical Physics (AOCMP), 18th South-East Asian Congress of Medical Physics (SEACOMP), 2020年12月, Thailand.
- Hidetaka Arimura: Radiomics with Artificial Intelligence in Radiation Oncology (Invited Speech, Nov.19), Korean Association for Lung Cancer 2020, International Conference Virtual (2020 KALC), 2020年11月, Korea.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Kenta Ninomiya: Preoperative Non-invasive Grading of Parotid Gland Cancer Malignancy Using Radiomic MR Features (Blue Ribbon e-Poster, July 12), 2020 Joint AAPM/COMP Virtual Meeting, 2020年07月, Canada.
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Tadamasa Yoshitake, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama: Radiomic prediction of radiation pneumonitis on pretreatment

planning CT images of lung cancer patients receiving stereotactic body radiation therapy (Oral, July 14), 2020 Joint AAPM/COMP Virtual Meeting, 2020年07月, Canada.

- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Wai Yee Chan, Kentaro Tanaka, Shinichi Mizuno, Nadia Fareeda Muhammad Gowdh, Nur Adura Yaakup, Chong-Kin Liam, Chee-Shee Chai, Kwan Hoong Ng: Phenotyping potential of topologically invariant Betti numbers for epidermal growth factor receptor mutations in non-small cell lung cancer patients (Oral, July 16), 2020 Joint AAPM/COMP Virtual Meeting, 2020年07月, Canada.
- Noriyuki Nagami, Hidetaka Arimura, Junichi Nojiri, Risa Nakano, Kenta Ninomiya, Manabu Ogata, Satoshi Takita, Shigetoshi Kitamura, Hiroyuki Irie: CT-based convolutional-neural-network segmentation of HCC regions with lung-cancer-based transfer learning (Poster, Blue ribbon, July 16), 2020 Joint AAPM/COMP Virtual Meeting, 2020年07月, Canada.
- Yui Kanzaki, Akihiro Nohtomi, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama: An observation of luminescence imaging of water during irradiation by 10MV clinical linac using a CCD camera, IEEE 2020 NSS/MIC/RTSD, 2020年11月, United States of America.
- Yui Kanzaki, Akihiro Nohtomi, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama: An observation of luminescence imaging of water during irradiation by 10MV clinical linac using a CCD camera, IEEE 2020 NSS/MIC/RTSD, 2020年11月, UnitedStatesofAmerica.
- M Kawakubo, M Nagao, A Yamamoto, R Nakao, Y Matsuo, K Fukushima, E Watanabe, A Sakai, M Sasaki, and S Sakai.: Potential of Right Ventricular Strain Estimated by ¹³N-Ammonia PET for the Assessment of Ischemic Cardiomyopathy, The 106th Scientific Assembly & Annual Meeting of the RSNA, 2020年11月, UnitedStatesofAmerica.
- M Kawakubo, M Nagao, A Yamamoto, R Nakao, Y Matsuo, K Fukushima, E Watanabe, A Sakai, M Sasaki, and S Sakai.: Feature-Tracking of High-Resolution Cine Imaging Derived From ¹³N-Ammonia PET: Diagnostic Ability of Longitudinal Strain for Detection of Myocardial Ischemia, The 106th Scientific Assembly & Annual Meeting of the RSNA, 2020年11月, UnitedStatesofAmerica.
- Koji Sagiya, Masateru Kawakubo, Ryohei Funatsu, Takeshi Kamitani, Yuza Yamasaki, Tomoyuki Hida, Yuko Matsuura, Yuriko Murayama, and Hidetake Yabuuchi: Detecting regional differences of lung motion by optical flow analysis combined with rapid cine MRI using compressed sensing, ISMRM & SMRT VIRTUAL CONFERENCE & EXHIBITION, 2020年08月, その他.
- M. Kawakubo, M. Nagao, K. Fukushima, E. Watanabe, A. Sakai, S. Suzaki, Y. Shimomiya, S. Sakai: CT instantaneous wave-free ratio (iFR) for detecting functional coronary stenosis using whole heart dynamic imaging with dose modulated scan, European Congress of Radiology, 2020年07月, その他.
- M. Kawakubo, M. Nagao, R. Nakao, E. Watanabe, M. Yoneyama, N. Hagiwara, S. Sakai: Association between decelerated dark flow in steady-state free precession cine cardiac MR imaging and left ventricular myocardial functions, European Congress of Radiology, 2020年07月, その他.
- Yoon, Y. et. al.: Monte Carlo Simulation-Based Feasibility Study of Novel Digital Mammography System to Reduce Scattered Radiation, American Association of Physicists in Medicine (AAPM2020) Annual Meeting, 2020年07月, Canada.

○ 大学・研究機関などの刊行誌 なし

○ 調査研究報告 なし

○ 国内学会での講演, 発表

- 廣瀬貴章, 有村秀孝, 二宮健太, 吉武忠正, 福永淳一, 塩山善之: CT-Radiomics 特徴量を用いた非小細胞肺癌定位照射後の放射線肺臓炎予測 (口頭), 日本放射線腫瘍学会第 33 回学術大会 (JASTRO2020), 2020 年 10 月, WEB オンライン開催.
- Akimasa Urakami, Hidetaka Arimura, Fumio Kinoshita, Kenjiro Imada, Yukihisa Takayama, Akihiro Nishie, Kousei Ishigami, Yoshinao Oda, Sumiko Watanabe: Automatic stratification of prostate cancer patients into low- and high-grade groups using machine learning models with MR image features, 第 39 回日本医用画像工学会大会 (JAMIT 2020), 2020 年 09 月, オンライン開催.
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura: A novel topologically invariant radiomic features for prognostic prediction in lung cancer patients (Sep. 18), 第 39 回日本医用画像工学会大会 (JAMIT 2020), 2020 年 09 月, オンライン開催.
- Hidetaka Arimura: Keynote lecture (President of the 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics), The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Hidetaka Arimura: Radiotherapeutic smart imaging with radiomics (Joint Symposium2 / Smart Imaging - QIBA vs Radiomics vs AI -), The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Le C. Quoc, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Hidemi Kamezawa, Yutaro Kabata: A Radiomics-based Prediction of Five-year Survival Probabilities of Head-and-Neck Cancer Patients, The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Takaaki Hirose, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Tamamasa Yoshitake, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama: Radiomic Prediction of Radiation Pneumonitis in Patients Receiving Stereotactic Body Radiation Therapy for Lung Cancer, The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Akimasa Urakami, Hidetaka Arimura, Kenjiro Imada, Fumio Kinoshita, Yoshinao Oda: Automatic Stratification of Prostate Cancer Patients Using SVM Built with MR Image Features, The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Masayuki Yamanouchi, Hidetaka Arimura: Exploration of Image Features Associated with Ruptures of Intracranial Aneurysms Using Magnetic Resonance Angiography, The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Kenta Ninomiya: MR-radiomic Biopsy for Prediction of Malignancy Grade in Parotid Gland Cancer, The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Satoshi Yoshidome, Hidetaka Arimura, Yunhao Cui: Prediction of Axillary Lymph Node Metastasis of Breast Cancer Using Radiomics Features in MRI Images, The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Noriyuki Nagami, Hidetaka Arimura, Junichi Nojiri, Risa Nakano, Kenta Ninomiya, Manabu Ogata, Satoshi Takita, Shigetoshi Kitamura, Hiroyuki Irie: Feasibility of Convolutional-neural-networks-based Segmentation of HCC Region with Transfer Learning for Lung Cancer, The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.
- Satoshi Sakata, Arimura Hidetaka, Ryo Toya, Yudai Kai: Distinguishability between Lymph Nodes and Metastasis from Head and Neck Cancer Using Image Features Calculated on CT

Images, The 119th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (WEB conference), 2020 年 05 月, WEB conference.

- 長友那豊, 堀内雅一, 松村 隆, 佐々木海斗, 深海星也, 大塚壮真, 若林源一郎, 納富昭弘: CsI シンチレータの放射化を用いた原子炉熱中性子束の測定, 2021 第 68 回 応用物理学会春季学術講演会, 2021 年 03 月, Web 開催.
- 納富昭弘, 神崎祐依, 坂本直哉, 前田英哉: 120kV 診断 X 線による水発光の光電子増倍管と CCD カメラによる観測, 第 35 回 研究会 放射線検出器とその応用, 2021 年 01 月, Web 開催(つくば 高エネルギー加速器研究機構).
- 新留聖哉, 納富昭弘, 花田侑美佳, 若林源一郎, 櫻井良憲, 金政浩, 新城優治: ヨウ素添加プラスチックシンチレータの BNCT 中性子場への適用に関する検討, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎ブリックホール.
- 中野 優, 納富昭弘, 坂本直哉, 福永淳一, 塩山善之: In 箔と液体シンチレータを用いた中性子検出方法の検討, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎ブリックホール.
- 長友勇樹, 納富昭弘, 神崎祐依, 前田英哉, 坂本直哉: 120kV 診断 X 線を用いた水発光現象の光電子増倍管による観測, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎ブリックホール.
- 式見夢希, 納富昭弘, 神崎祐依, 坂本直哉, 前田英哉: 120kV 診断 X 線を用いた水発光現象の CCD カメラによる観測, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎ブリックホール.
- 前田英哉, 納富昭弘, 黒澤俊介, 金 政浩, 小玉翔平, 若林源一郎, 島津美宇: CaI_2 結晶のヨウ素自己放射化法による中性子測定への適用, 次世代放射線シンポジウム 2020(-第 32 回-放射線夏の学校), 2020 年 08 月, Web 開催.
- 坂本直哉, 納富昭弘, 花田侑美佳, 金 政浩, 新城優治, 櫻井良則: ヨウ素添加プラスチックシンチレータの BNCT 中性子場への適用に関する検討, 次世代放射線シンポジウム 2020(-第 32 回-放射線夏の学校), 2020 年 08 月, Web 開催.
- Yui Kanzaki, Akihiro Nohtomi, Yoshinori Sakurai: Observation of neutron distribution at E3 port of KUR by the self-activation of a CsI plate with a CCD camera, 第 119 回日本医学物理学会学術大会, 2020 年 05 月, Web 開催.
- Naoya Sakamoto, Akihiro Nohtomi, Yumika Hanada, Eimi Nagano, Genichiro Wakabayashi, Miyu Shimazu: Study of neutron detection based on the self-activation of iodobenzene added to liquid scintillator with different mass concentrations, 第 119 回日本医学物理学会学術大会, 2020 年 05 月, Web 開催.
- M Kawakubo, M Nagao, A Yamamoto, R Nakao, Y Matsuo, K Fukushima, E Watanabe, A Sakai, M Sasaki, and S Sakai.: ^{13}N -アンモニア PET ストレイン解析による右室壁運動と心筋血流予備能の関連, 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021 年 03 月, 神奈川県横浜市.
- 白井友理恵, 河窪正照, 長尾充展, 山本篤志, 松尾有香, 安藤聖恵, 中尾梨沙子, 坂井晶子, 福島賢慈, 渡邊絵理, 百瀬満, 坂井修二.: アンモニア PET による心筋ストレイン: 新たな冠動脈疾患の機能評価(受賞あり), 第 23 回心世代核医学研究会, 2020 年 11 月, .
- 長尾充展, 河窪正照, 山本篤志, 松尾有香, 安藤聖恵, 中尾梨沙子, 坂井晶子, 福島賢慈, 渡邊絵理, 百瀬満, 坂井修二.: アンモニア PET による心筋ストレイン: 虚血壁運動異常の検出, 第 60 回日本核医学会学術総会, 2020 年 11 月, 神戸国際会議場(神戸市).
- Koji Sagiya, Masateru Kawakubo, Ryohei Funatsu, Takeshi Kamitani, Yuza Yamasaki, Tomoyuki Hida, Yuko Matsuura, Hidetake Yabuuchi, Kousei Ishigami: Optical flow analysis combined with rapid cine MRI using compressed sensing could detect regional differences of lung motion in different postures 圧縮センシング併用高速シネ MRI のオプティカルフロー解析による体位変換後の肺局所運動の変化の検出, 第 48 回 日本磁気共鳴医学会大会, 2020 年 09 月, Web 開催.

- Kim Yeji, Yoon Yongsu, 城 拓真, 杜下淳次: 身元確認のための死後 CT 位置決め画像を用いた胸部単純 X 線画像作成, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.
 - 谷口太一, Yoon Yongsu: デジタルマンモグラフィ検出器性能評価のためのモンテカルロシミュレーション用散乱線除去グリッドの作成に関する研究, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.
- 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 藤田 広志, 有村秀孝, 諸岡 健一(編集, 分担執筆): 放射線治療 AI と外科治療 AI (医療 AI とディープラーニングシリーズ)チャプター1, 2020 年 04 月, オーム社.
- 藤淵俊王(分担執筆): 医用画像検査技術学 改訂 4 版, 2020 年 11 月, 南山堂.
- 藤淵俊王(編集, 分担執筆): 放射線・医療安全管理学, 2020 年 09 月, 南山堂.
- 藤淵俊王(分担執筆): 医療放射線防護学, 2020 年 08 月, 国際文献社.
- 藤淵俊王(分担執筆): 放射線施設廃止の確認手順と放射能測定マニュアル, 2020 年 06 月, 一般社団法人 日本放射線安全管理学会.
- 藤淵俊王(分担執筆): 診療放射線技師 臨床実習テキスト、第 2 部第 3 章 B 放射線被ばく、第 3 部第 6 章超音波検査, 2020 年 06 月, 文光堂.
- 河窪正照, 小林幸次(分担執筆): 医用画像検査技術学 改訂 4 版, 2020 年 11 月, 南山堂.
- 尹 湧琇, 吉川英樹(分担執筆): 医用画像検査技術学 改訂 4 版, 2020 年 11 月, 南山堂.

2. 総説 なし

3. 解説, 書評など

- 藤淵俊王: 放射能計測・評価の基礎, 核医学技術 41: 84-87, 2021 年 01 月.
- 山口一郎, 藤淵俊王: 医療法施行規則の改正は現場にどのようなインパクトを与えていますか?, FBNews No.523, 2020 年 07 月.
- Michiya Sasaki, Toshioh Fujibuchi: Development of the System of Radiological Protection and Medical Exposure: Basic Information and Trends, Radiation Environment and Medicine, Vol. 9, No. 2, 105-110, 2020 年 04 月.
- 大野和子, 安陪等思, 坂本 肇, 松本一真, 福土政広, 赤羽正章, 船曳知弘, 谷本 安, 樺田尚樹, 櫻井 孝, 奥村泰彦, 原田康雄, 糸井隆夫, 脇 研自, 田尻達郎, 野坂俊介, 富田博信, 池田隆徳, 天野英夫, 伊藤 浩, 尾崎行男, 伊藤淳二, 平泉 裕, 松丸祐司, 太田勝正, 千田浩一, 藤淵俊王, 菊地 透, 粟井一夫, 横山須美, 関口 寛, 八木信行, 狩野好延: 医療スタッフの放射線安全に関わるガイドライン ~ 水晶体の被ばく管理を中心に~, 2020 年 04 月.
- Michiya Sasaki, Toshioh Fujibuchi: Development of the System of Radiological Protection and Medical Exposure: Basic Information and Trends, Radiation Environment and Medicine, Vol. 9, No. 2, 2020 年 04 月.
- 藤淵俊王: 仮想現実・拡張現実技術を活用した放射線診療従事者向け放射線防護教材の開発, FBNews, 520, 12-16, 2020 年 04 月.

受賞

- 有村, 「"Novel recognition approach of TKI-sensitizing EGFR mutations in non-small cell lung cancer patients using topologically invariant Betti numbers"」, Best Paper Award (Kenta Ninomiya, Arimura H.et al.) "Novel recognition approach of TKI-sensitizing EGFR mutations in non-small cell lung cancer patients using topologically invariant Betti numbers", International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2021, Hybrid conference, Jan.24-27, 2021,Taipei, 2021年01月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 藤淵, 線量管理システムの機能追加に関する研究, 株式会社 A-Line, 2019年06月~2021年03月, 公開.
- 河窪, 低線量胸部動態 X 線画像を用いた呼吸器、循環器疾患の病態解明および臨床的意義の検討, コニカミノルタ株式会社, 2019年04月~2022年11月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許

- 医用画像処理方法、医用画像処理装置および医用画像処理プログラム, 河窪正照, 山崎誘三, 阿部弘太郎, 細川和也, 特願 2020-181621.
- 画像処理のためのコンピュータプログラム、画像処理装置及び方法, 河窪 正照, 特許第 6748866.
- 異物検出の支援装置、異物検出の支援方法、支援プログラム、及びモデル作成方法, 白坂 崇, 河窪正照, 小島 幸, 特願 2020-094615.

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ

崔 雲昊 Cui Yunhao (China) 修士課程

| | | |
|--------------------------|------|---------------------|
| Truong Gia Huy (Vietnam) | 修士課程 | |
| Le Cuong Quoc (Vietnam) | 修士課程 | |
| Ceyda Cumur (Turkey) | 修士課程 | |
| 金煜 Jin Yu (China) | 研究生 | 留学生 |
| 佟 弈志 Tong YiZhi (China) | 研究生 | 留学生 |
| 崔 雲昊 Cui Yunhao(China) | 研究生 | 留学生(2020年10月修士課程入学) |
| 武 錦岳 (China) | 研究生 | 留学生 |

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者.
- 藤淵, 放射線障害防止委員会委員.
- 高橋, 全学情報環境利用委員会委員.

2. 部局委員

- 藤淵, 医療系統合教育研究センター委員会委員.
- 高橋, ICT活用教育推進専門部会委員.

3. 部門・コース内委員

- 有村, 人事委員会 委員.
- 有村, 教務委員会 委員.
- 有村, 地域・国際連携推進委員会 副委員長
- 有村, FD実行委員会 副委員長.
- 有村, 教員活動評価委員会 委員.
- 有村, 医用量子線科学分野 副分野長.
- 藤淵, 大学院委員会 委員長.
- 藤淵, 学生委員会 委員.
- 藤淵, 入試実施委員会 委員.
- 藤淵, 施設環境委員会 委員.
- 高橋, 施設環境委員会 委員.
- 高橋, 支線 LAN 管理者.
- 納富, 広報委員会 委員.
- 河窪, 年報委員会 委員.
- 尹, 放射線安全委員会 委員.
- 尹, 地域・国際連携推進委員会 委員
- 尹, FD 実行委員会委員 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 有村, 原田学園 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 非常勤講師.
- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師.
- 納富, 福岡大学・医学部, 客員教員.
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 客員教員.
- 納富, 福岡市医師会看護学校, 客員教員.

2. 学協会

- 有村, 第 119 回日本医学物理学会学術大会(JSMP) 大会長として学会準備、WEB 開催の運営に努めた。(2020 年 5 月 15 日(金)~6 月 5 日(金)WEB 開催に変更), 日本医学物理学会 JSMP, 学術団体.
- 有村, 医学物理士認定機構(JBMP), 運営委員(広報委員長), 国内.
- 有村, 医学物理士認定機構(JBMP), 理事, 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 理事, 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 編集委員長, 国内.
- 有村, 電子情報通信学会(IEICE), 医用画像研究会(MI) 専門委員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 代議員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 第 49 回秋季学術大会実行委員会 委員長, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 学術委員会 AI 技術活用班 班員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 英語論文誌 編集委員, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, Journal of Radiation Protection and Research 誌 編集委員, 国際.
- 藤淵, 「加速器施設の廃止措置に関わる放射化物の測定、評価方法の確立」研究検討委員, 平成 31 年度放射線対策委託費「加速器施設の廃止措置に関わる放射化物の測定、評価方法の確立」研究検討委員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線安全管理学会, 「放射線施設廃止の確認手順と放射能測定マニュアル」改訂専門委員会, 委員, 国内.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, 企画委員会, 委員, 国内.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, 理事, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 理事, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会九州支部, 理事(九州支部理事), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会, 理事, 国内.
- 納富, 第 119 回日本医学物理学会学術大会, 実行委員長, 国内.
- 納富, 日本中性子捕捉療法学会, rBNCT 人材育成委員会委員, 国内.
- 納富, 日本医学物理学会誌「医学物理」, 編集委員, 国内.
- 納富, Journal of Nuclear Science and Technology, 査読委員, 国内.
- 納富, Physics in Medicine and Biology, 査読委員, 国際.
- 納富, Medical Physics, 査読委員, 国際.
- 納富, 日本放射線技術学会誌, 査読委員, 国内.
- 納富, Journal of Radiation Research, 査読委員, 国際.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.

3. 官界

- 藤淵, 「電離放射線障害防止に関する参考資料「医療分野における職業被ばくと放射線防護」の HP 掲載」, 厚生労働省.
- 藤淵, 「被ばく医療診療手引き編集委員会委員」, 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 「令和 2 年度第 2 回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 2021 年 1 月 9 日(土) 13:00~17:00、以下 3 名の講師を迎え、Zoom によるオンライン講演会を開催講演 1 大分県立看護科学大学 甲斐倫明先生「実効線量の意味合いとその適用について」講演 2 福岡大学病院 長町 茂樹先生「核医学 update -radiotheranostics について-」講演 3 藤田医科大学 寺本 篤司 先生「がん診療および治療における人工知能の応用とその可能性」九州大

学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定。参加者 96 名」, 2020-01-01.

- 有村, 「令和 2 年度第 1 回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 2020 年 12 月 19 日(土)13:00~17:00、以下 3 名の講師を迎え、Zoom によるオンライン講演会を開催講演1 帝京大学 福岡医療技術学部 診療放射線学科 前畑 京介 先生「気体 GEM 検出器を用いたがん治療用重粒子線ビームの線量分布モニター技術の開発」講演 2 高麗大学大学院 保健安全融合科学科 放射線医科学専攻 Kihyun Kim 先生「CdZnTe 素子の医学応用:がんと病気の診断」(英語講演)“Semiconductor-based Radiation detector and Imaging system”講演3 名古屋市立大学病院 中央放射線部 國友 博史 先生「診断領域における物理的画質特性についてと放射線治療領域への活用」九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定。参加者 90 名」, 2020-01-01.
- 有村, 「Online visiting at Institute of Technology Bandung Indonesia(ITB), Indonesia (Sep. 25) “Why am I doing researches? -Messages to young investigators” and “Introduction of Kyushu University”」, 2020-01-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 藤淵, 「診療放射線技師養成機関はこんな場所 知っていますか? 診療放射線技師への道のり!」, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会 市民公開講座, 長崎ブリックホール、長崎市, 公開講座.
- 藤淵, 「放射線勉強会、講師」, 九州電力, 電気ビル、福岡市, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

| | |
|-----|--------|
| 教授 | 佐々木 雅之 |
| 教授 | 杜下 淳次 |
| 教授 | 藪内 英剛 |
| 准教授 | 井手口 忠光 |
| 准教授 | 佐々木 智成 |
| 助教 | 田中 延和 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|--|--------|-----|
| ヘルスサイエンス論 | 佐々木(雅) | 前期 |
| 臨床量子線科学 I | 佐々木(雅) | 前期 |
| Clinical Quantum Science I | 佐々木(雅) | 前期 |
| Health Science | 佐々木(雅) | 前期 |
| Clinical Quantum Science I | 杜下 | 前期 |
| Health Science Research | 杜下 | 前期 |
| 臨床量子線科学 I | 杜下 | 前期 |
| 保健学研究論 | 杜下 | 前期 |
| 医用画像科学論 | 杜下 | 後期 |
| Medical Image Sciences | 杜下 | 後期 |
| 保健・医療とIT | 藪内 | 夏学期 |
| 臨床量子線科学 I | 藪内 | 前期 |
| IT in Health and Medicine | 藪内 | 夏学期 |
| Clinical Quantum Science I | 藪内 | 前期 |
| 医用画像科学論 | 井手口 | 後期 |
| Medical Image Sciences | 井手口 | 後期 |
| 先端医療論 | 佐々木(智) | 前期 |
| 保健・医療とIT | 佐々木(智) | 夏学期 |
| 国際社会とチーム医療 | 佐々木(智) | 前期 |
| 臨床量子線科学 I | 佐々木(智) | 前期 |
| IT in Health and Medicine | 佐々木(智) | 夏学期 |
| International Society and Multidisciplinary Care | 佐々木(智) | 前期 |
| Clinical Quantum Science I | 佐々木(智) | 前期 |
| 医用量子線治療科学論 | 佐々木(智) | 後期 |
| 医用画像科学論 | 田中 | 後期 |
| Medical Image Sciences | 田中 | 後期 |

2. 大学院実験・実習なし

3. 大学院演習

| | | |
|---|--------|----|
| 医療英語 | 佐々木(雅) | 通年 |
| 保健学特別研究(佐々木教授) | 佐々木(雅) | 通年 |
| 分子機能画像科学演習 | 佐々木(雅) | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(佐々木雅之教授) | 佐々木(雅) | 通年 |
| Practice in Molecular & Functional Imaging Technology | 佐々木(雅) | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(杜下教授) | 杜下 | 通年 |
| 保健学特別研究(杜下教授) | 杜下 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(藪内教授) | 藪内 | 通年 |
| 保健学特別研究(藪内教授) | 藪内 | 通年 |
| 分子機能画像科学演習 | 藪内 | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(藪内教授) | 藪内 | 通年 |
| Practice in Molecular & Functional Imaging Technology | 藪内 | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(井手口准教授) | 井手口 | 通年 |
| 量子線治療科学演習 | 佐々木(智) | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(佐々木智成准教授) | 佐々木(智) | 通年 |
| Practice in Quantum Radiation Therapy | 佐々木(智) | 前期 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|-------|--|
| 椿 悠馬 | 早期アルツハイマー病における分子イメージング定量解析の検討 |
| 勝部 俊 | 陽電子飛程が PET 画像に与える影響のモンテカルロシミュレーション |
| 尾崎 誠 | 胸部画像の差分処理におけるアーチファクトの改善と新たな差分処理の有用性 |
| 山下雄也 | 死後頭部 X 線 CT 画像のポジショニング補正法の開発と歯根部観察への応用 |
| 寶珠山桃子 | 後縦靭帯骨化症の診断における Ultra-short Echo Time Imaging の有用性の検討: ファントム研究 |
| 藤原光希 | 圧縮センシングを用いた高分解能 MRI の有用性に関する研究 |
| 高塚 遼 | TomoTherapy を用いた全身照射における Thread Effect に関する研究 |
| 高山雄一郎 | 子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療における治療実施前後の HR-CTV の線量 分布及びアプリータの位置変化に関する研究 |
| 井上慶輝 | 肺癌の体幹部定位放射線治療の臨床症例における線量計算アルゴリズムの違いに よる標的線量分布の違いについて |

5. 大学院博士課程修了者

| | |
|------|---|
| 中市 徹 | 6種類のターゲット抽出法間の代謝体積及び総糖代謝量の正確性 |
| 竹下利貴 | 外部放射線治療における CV ポートの影響に関するモンテカルロベースのアルゴ リズムに関する評価 |

6. 学部講義

| | | |
|--------------|--------|-----|
| 医学総論Ⅰ | 佐々木(雅) | 秋学期 |
| 医学総論Ⅱ | 佐々木(雅) | 冬学期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 佐々木(雅) | 前期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 佐々木(雅) | 後期 |
| 放射化学 | 佐々木(雅) | 秋学期 |
| 核医学検査学Ⅱ | 佐々木(雅) | 後期 |
| 臨床解剖薬理学 | 佐々木(雅) | 冬学期 |
| 医療安全学 | 佐々木(雅) | 秋学期 |
| 放射線医学技術学概論 | 佐々木(雅) | 夏学期 |
| 核医学検査学Ⅰ | 佐々木(雅) | 前期 |
| 放射性同位元素検査技術学 | 佐々木(雅) | 春学期 |
| 実践画像技術学 | 杜下 | 冬学期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 杜下 | 後期 |
| 医用画像評価学 | 杜下 | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 杜下 | 前期 |
| 放射線画像技術学Ⅰ | 杜下 | 前期 |
| 放射線医学技術学概論 | 杜下 | 夏学期 |
| 人体の構造と機能Ⅱ | 藪内 | 前期 |
| 人体の構造と機能Ⅲ | 藪内 | 前期 |
| 放射線医学技術学概論 | 藪内 | 夏学期 |
| MR画像技術学 | 藪内 | 前期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 藪内 | 前期 |
| 放射線診断機器学 | 井手口 | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 井手口 | 後期 |
| 医用画像情報学 | 井手口 | 後期 |
| 医療安全学 | 井手口 | 秋学期 |
| 医用画像評価学 | 井手口 | 後期 |
| 放射線画像技術学Ⅱ | 井手口 | 後期 |
| 品質管理論 | 井手口 | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 井手口 | 前期 |
| 放射性同位元素検査技術学 | 井手口 | 春学期 |
| X線CT画像技術学 | 井手口 | 春学期 |
| インフォームドコンセント | 井手口 | 夏学期 |
| 人体の構造と機能Ⅱ | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線医学技術学概論 | 佐々木(智) | 夏学期 |
| 放射線生物学 | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線治療技術学Ⅰ | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線治療技術学Ⅱ | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 佐々木(智) | 前期 |

| | | |
|------------|--------|-----|
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 佐々木(智) | 後期 |
| 臨床解剖薬理学 | 佐々木(智) | 後期 |
| 医学総論Ⅰ | 佐々木(智) | 後期 |
| 品質管理論 | 田中 | 後期 |
| 医用画像評価学 | 田中 | 後期 |
| 放射線画像技術学Ⅱ | 田中 | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 田中 | 後期 |
| 基礎医療統計 | 田中 | 夏学期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 田中 | 前期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|------------|--------|-----|
| 放射化学実験 | 佐々木(雅) | 冬学期 |
| 卒業研究 | 佐々木(雅) | 通年 |
| 放射線画像技術学実習 | 杜下 | 後期 |
| 臨地実習 | 杜下 | 通年 |
| 卒業研究 | 杜下 | 通年 |
| 放射化学実験 | 井手口 | 冬学期 |
| 画像解剖学演習 | 井手口 | 後期 |
| 放射線画像技術学実習 | 井手口 | 後期 |
| 放射線機器学実験 | 井手口 | 春学期 |
| 卒業研究 | 井手口 | 通年 |
| 放射線治療技術学実習 | 佐々木(智) | 後期 |
| 卒業研究 | 佐々木(智) | 通年 |
| 放射化学実験 | 田中 | 冬学期 |
| 放射線画像技術学実習 | 田中 | 後期 |
| 画像解剖学演習 | 田中 | 後期 |
| 放射線計測学実験 | 田中 | 前期 |
| 卒業研究 | 田中 | 通年 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|-------|--|
| 藤田紗也加 | 神経内分泌腫瘍の分子イメージング画像の比較 ーモンテカルロシミュレーションによる検討ー |
| 稲嶺克哉 | 半導体 PET/CT 装置のサブセンチ球描出能の検討 |
| 城 拓真 | 胸部単純 X 線画像の年齢推定人工知能における非対称学習データ数の影響 |
| 辻 麻里奈 | 画像読影能力向上を目的とした e-learning システムの有用性の検討 |
| 品川晴哉 | 死後 CT の位置決め画像を用いた個人識別のための基礎研究 |
| 高島みゆう | 画像観察時の視線追跡装置取り扱いについて |
| 山崎 卓 | 前縦隔充実性腫瘍の鑑別診断における MRI 全腫瘍ヒストグラム解析の有用性の検討 |

| | |
|-------|--|
| 渥美里菜 | Triple Negative Breast Cancer :MRI ヒストグラム解析による予後・リンパ節転移予測因子の検討 |
| 追立和久 | Compressed SENSE MRI による三角線維軟骨複合体 (TFCC) の準動態撮影の有用性の検討 |
| 松下友基 | 肺気腫患者の残気率予測における吸気・呼気 CT を用いた定量パラメータの有用性の検討 |
| 林 美聖 | Virtual Grid が Exposure Index に与える影響 |
| 今村瑛三郎 | Single Energy CT と Dual Energy CT 被ばく線量の比較 |
| 西原晃佑 | FBP と逐次近似 (IR) 計算手法による画質評価 |
| 伊津野拓真 | Dual Energy CT のデータ収集システムの違いによる画質の検討 |
| 山中宥樺 | Helical TomoTherapy による下腿領域への骨髄照射に用いる Virtual Bolus の研究 |
| 原 ひかり | 脊椎転移に対する TomoTherapy による体幹部定位放射線治療の基礎的検討 |
| 園川実歩 | 肺癌の SBRT において肺密度の違いが線量計算アルゴリズムの計算精度に与える影響 |
| 福村真生子 | 肺癌の SBRT に対する VMAT の応用における回転角度に関する検証 |
| 林 優希 | 子宮頸癌の小線源治療における 3 次元治療計画と 2 次元治療計画の線量比較に関する研究 |
| 小池萌子 | デジタルマンモグラフィの信号自動検出の評価に関する研究 |
| 佐藤真美 | 二種類のファントムを使用したデジタルマンモグラフィの画質評価に関する研究 |
| 白石琴美 | デジタルマンモグラフィの画質と検出能の関連性に関する研究 |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|---|--|--------|
| 1 | PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断 | 佐々木(雅) |
| 2 | PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断 | 佐々木(雅) |
| 3 | 身元確認のための画像認識技術の開発 | 杜下 |
| 4 | 画像情報を用いた自動認識技術の開発 | 杜下 |
| 5 | デジタル X 線画像の画質評価法の開発 | 杜下 |
| 6 | デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究 | 藪内 |
| 7 | 乳腺腫瘍の MRI による診断頭頸部腫瘍の MRI による診断造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究 | 藪内 |
| 8 | 医用画像評価:被ばくを低減し、さらに、診断能を向上する方法の研究 | 井手口 |
| 9 | Helical TomoTherapy による 下腿領域への骨髄照射に用いる Virtual Bolus の研究 | 佐々木(智) |

| | |
|---|--------|
| 10 脊椎転移に対する TomoTherapy による体幹部定位放射線治療の基礎的検討 | 佐々木(智) |
| 11 肺癌の SBRT において肺密度の違いが線量計算アルゴリズムの計算精度に与える影響 | 佐々木(智) |
| 12 肺癌の SBRT に対する VMAT の応用における回転角度に関する検証 | 佐々木(智) |
| 13 子宮頸癌の小線源治療における 3 次元治療計画と 2 次元治療計画の線量比較に関する研究 | 佐々木(智) |
| 14 超音波診断システムの撮像技術に関する研究 | 田中 |
| 15 デジタルラジオグラフィシステムの画質と被ばく線量の評価に関する研究 | 田中 |
| 16 液晶ディスプレイの特性に関する研究 | 田中 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」放射線画像認識技術を用いた死後画像の特定に関する研究, 杜下(代表), 1100 千円.
- 「基盤研究(C)」吸気・呼気超高精細 CT による慢性閉塞性肺疾患患者の末梢気道病変の定量解析, 藪内(代表), 800 千円.
- 「若手研究」深層学習による線量指標を用いた画質管理の基礎的研究, 田中(代表), 1300 千円.

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「PET による腫瘍診断の研究」日本メジフィジックス, 佐々木(雅)
- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」フジRFファーマ, 佐々木(雅)
- 「令和元年度がん研究助成金/画像表示装置の画質と視認性の関連性に関する研究」, 2022 年 3 月末まで, 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団, 田中, 300 千円

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「株式会社キュアホープ 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究」 杜下
- 「EIZO 株式会社 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」 杜下
- 「富士フイルムメディカル株式会社 デジタル X 線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究」 井手口・田中

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Yuma Tsubaki, Go Akamatsu, Natsumi Shimokawa, Suguru Katsube, Aya Takashima, Masayuki Sasaki: Development and evaluation of an automated quantification tool for amyloid PET images, *EJNMMI Physics*, 7, 1, -, 2020 年 12 月.

- Tetsu Nakaichi, Shozo Yamashita, Wataru Kawakami, Haruki Yamamoto, Masayuki Sasaki, Kunihiro Yokoyama: Accuracy of metabolic volume and total glycolysis among six threshold-based target segmentation algorithms, *Annals of Nuclear Medicine*, 34, 8, 583 – 594, 2020年08月.
- Yuji Tsutsui, Shinichi Awamoto, Kazuhiko Himuro, Toyoyuki Kato, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Evaluating and comparing the image quality and quantification accuracy of SiPM-PET/CT and PMT-PET/CT, *Annals of Nuclear Medicine*, , 2020年07月.
- Natsumi Shimokawa, Go Akamatsu, Miyako Kadosaki, Masayuki Sasaki: Feasibility study of a PET-only amyloid quantification method: a comparison with visual interpretation, *Annals of nuclear medicine*, , 2020年06月.
- Hyemin Park, Yongsu Yoon, Jungmin Kim, Jungsu Kim, Hoiwoun Jeong, Nobukazu Tanaka, Junji Morishita: USE OF CLINICAL EXPOSURE INDEX AND DEVIATION INDEX BASED ON NATIONAL DIAGNOSTIC REFERENCE LEVEL AS DOSE-OPTIMIZATION TOOLS FOR GENERAL RADIOGRAPHY IN KOREA, *Radiation Protection Dosimetry*, 191, 4, 439 – 451, 2020年11月.
- Taku Kuramoto, Shinya Takarabe, Kazutoshi Okamura, Kenshi Shiotsuki, Yusuke Shibayama, Hiroki Tsuru, Hiroshi Akamine, Masato Tatsumi, Toyoyuki Kato, Junji Morishita, Kazunori Yoshiura: Effect of differences in pixel size on image characteristics of digital intraoral radiographic systems: a physical and visual evaluation, *Dentomaxillofacial Radiology*, , 2020年05月.
- Yuya Wada, Junji Morishita, Yongsu Yoon, Miki Okumura, Noriaki Ikeda: A simple method for automatic classification of body parts and detection of implanted metal using postmortem computed tomography scout view, *Radiation Physics and Technology*, , 2020年07月.
- Hyemin Park, Yongsu Yoon, Nobukazu Tanaka, Jungsu Kim, Jungmin Kim, and Junji Morishita: Feasibility of displayed exposure index in IEC standard framework as a dose optimization tool for digital radiography systems, *Radiation Protection Dosimetry (2020)*, 189, 3, 384 – 394, 2020年05月.
- Yabuuchi H, Kamitani T, Sagiyama K, Yamasaki Y, Hida T, Matsuura Y, Hino T, Murayama Y, Yasumatsu R, Yamamoto H: Characterization of parotid gland tumors: added value of permeability MR imaging to DWI and DCE-MRI, *EUROPEAN RADIOLOGY*, 30, 12, 6402 – 6412, 2020年12月.
- Nobukazu Tanaka, Hiroyuki Kuroyanagi: Combination system in advanced image processing for improving image contrast and a conventional row-ratio grid for an indirect flat-panel detector system: An experimental study, *Physica Medica (European Journal of Medical Physics)*, 74, 40 – 46, 2020年06月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Yuma Tsubaki, Suguru Katsube, Go Akamatsu, Natsumi Shimokawa, Aya Takashima, Masayuki Sasaki: Examination of the relationship between PiB-PET and FDG-PET in Alzheimer's disease by using Random Forest and two-sample t-test, 67th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2020年07月, United States of America.
- Suguru Katsube, Go Akamatsu, Yuma Tsubaki, Natsumi Shimokawa, Aya Takashima, Hideaki Sato, Kodai Kumamoto, Masayuki Sasaki: Combination Analysis of Pittsburgh Compound-B Positron Emission Tomography and 18F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography for Alzheimer's Disease with the t Test, 67th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2020年07月, United States of America.
- Hideaki Sato, Suguru Katsube, Yuma Tsubaki, Kodai Kumamoto, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Masayuki Sasaki: Improvement of time-of-flight timing resolution provides high

- quality PET images., 67th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2020年07月, United States of America.
- Kodai Kumamoto, Suguru Katsube, Yuma Tsubaki, Hideaki Sato, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Masayuki Sasaki: Comparison of continuous bed motion and step-and-shoot method in SiPM PET/CT, 67th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2020年07月, United States of America.
 - Tomohisa Fukunaga, Kenichi Sanui, Toshiaki Kadokami, Masayuki Sasaki: Effect of radionuclides on the left ventricular phase analysis using the gated-myocardial perfusion single photon emission computed tomography for ischemic heart disease, 67th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2020年07月, United States of America.
 - Makoto Ozaki, Junji Morishita, Yoichiro Shimizu, Yasuo Sasaki, Yuya Yamashita, Yongsu Yoon, Hidetake Yabuuchi: Usefulness of novel temporal subtraction technique with small region of interest for finding suspicious lung nodule on digital chest radiographs, 2020 Joint AAPM/COMP Virtual Meeting, 2020年07月, Canada.
 - Yuichiro Takayama, Kana Edamitsu, Hideaki Matsukawa, Taka-aki Hirose, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki: Intra-fractional Dose Variation of HR-CTV and Applicator shift in image-guided Brachytherapy for cervical cancer, 2020 Joint AAPM/COMP Virtual Meeting, 2020年07月, Canada.
 - Keiki Inoue, Hideaki Matsukawa, Kana Edamitsu, Kazuki Matsumoto, Yuichiro Takayama, Taka-aki Hirose, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki: Comparison of dose distribution by the difference of the dose calculation algorithm for the same treatment plan, 2020 Joint AAPM/COMP Virtual Meeting, 2020年07月, Canada.
 - Norisato Tsuda, Kota Mitsui, Shinichiro Oda, Nobukazu Tanaka, Hitoshi Aibe: Image Quality in the Slice-Plane of Half-Reconstructed Computed Tomography in Filtered Back Projection and Iterative Reconstruction Methods, 2020 Joint AAPM/COMP Virtual Meeting, 2020年07月, Canada.
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
 - **調査研究報告**
 - 日高昌則, 野上大史, 常葉信生, 大石明広, 小林和矢, 横尾侑典, 田中延和, 杜下淳次: LIGA 微細加工による X 線画像診断システムの角度分散式 Air-Grid マイクロメッシュ製作の技術開発(Ⅲ), 九州シンクロトロン光研究センター 県有ビームライン利用報告書, 課題番号 1912121s: 1-8. 2020年10月.
 - 日高昌則, 野上大史, 常葉信生, 大石明広, 小林和矢, 横尾侑典, 田中延和, 杜下淳次: LIGA 微細加工による X 線画像診断システムの角度分散式 Air-Grid マイクロメッシュ製作の技術開発(Ⅱ), 九州シンクロトロン光研究センター 県有ビームライン利用報告書, 課題番号 1909081s: 1-11. 2020年10月.
 - 日高昌則, 野上大史, 常葉信生, 大石明広, 小林和矢, 田中延和, 杜下淳次: LIGA 微細加工による X 線画像診断システムの角度分散式 Air-Grid マイクロメッシュ製作の技術開発, 九州シンクロトロン光研究センター 県有ビームライン利用報告書, 課題番号 1908063s: 1-9. 2020年10月.
 - **国内学会での講演, 発表**
 - 佐藤秀昭, 椿 悠馬, 勝部 俊, 熊本航大, 筒井悠治, 氷室和彦, 佐々木雅之: ファントム試験による異なる TOF 時間分解能がもたらす PET 画像の画質への影響, 第 40 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2020年11月, Japan.

- 熊本航大, 椿 悠馬, 勝部 俊, 佐藤秀昭, 筒井悠治, 氷室和彦, 佐々木雅之: 半導体 PET/CT 装置における連続ベッド移動によるデータ収集の検討, 第 40 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2020 年 11 月, Japan.
- 椿 悠馬, 赤松 剛, 勝部 俊, 熊本航大, 佐藤秀昭, 佐々木雅之: グラフ理論解析を用いた早期アルツハイマー病における FDG-PET および PiB-PET の比較検討, 第 40 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2020 年 11 月, Japan.
- Tomohisa Fukunaga, Kenichi Sanui, Toshiaki Kadokami, Masayuki Sasaki: Effect of the radionuclides on the Left Ventricle Phase Analysis using the Myocardial Gated-Perfusion SPECT, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020 年 05 月, Web 開催.
- Kodai Kumamoto, Yuma Tsubaki, Suguru Katsube, Hideaki Sato, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Masayuki Sasaki: Evaluation of the PET images quality using continuous bed moving method, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020 年 05 月, Web 開催.
- Hideaki Sato, Yuma Tsubaki, Suguru Katsube, Kodai Kumamoto, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Masayuki Sasaki: Influence of the time-of-flight timing resolution on image quality of PET/CT, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020 年 05 月, Web 開催.
- Yuma Tsubaki, Go Akamatsu, Suguru Katsube, Natsumi Shimokawa, Aya Takashima, Masayuki Sasaki: Investigation of the relationship between PiB-PET and FDG-PET in Alzheimer's disease by using quantitative analysis, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020 年 05 月, Web 開催.
- Suguru Katsube, Go Akamatsu, Yuma Tsubaki, Natsumi Shimokawa, Aya Takashima, Masayuki Sasaki: Detection of Abnormal Accumulation of PiB-PET and FDG-PET in Alzheimer's Disease and Examination of its Relationship, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020 年 05 月, Web 開催.
- Kim Yeji, Yoon Yongsu, 城 拓真, 杜下淳次: 身元確認のための死後 CT 位置決め画像を用いた胸部単純 X 線画像作成, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.
- 城 拓真, Yoon Yongsu, Kim Yeji, 尾崎 誠, 山下雄也, 杜下淳次: 胸部単純 X 線画像を用いた年齢推定 AI における非対称学習データの影響, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.
- 品川晴哉, 杜下淳次, 尾崎 誠, 山下雄也, 城 拓真, 辻 麻里奈, 高島みゆう: 死後に撮影した CT のスカウト画像を用いた体内埋め込み金属の局所特微量の抽出, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.
- 山下雄也, 衛藤 希, 尾崎 誠, Yoon Yongsu, 川添優介, 奥村美紀, 池田典昭, 杜下淳次: ドイツ水平線に合わせる死後頭部 X 線 CT 画像の半自動ポジショニング補正法の歯根部観察への応用, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.
- 尾崎 誠, 杜下淳次, 清水陽一郎, 佐々木康夫, 山下雄也, 藪内英剛: 局所的な関心領域を差分する新たな差分処理による肺門部の病変描出の向上, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.
- 山下雄也, 衛藤 希, Yoon Yongsu, 山添淳一, 杜下淳次: 死後頭部 X 線 CT 画像に対する上顎歯根部描出法の開発, 日本法医学会学術九州地方集会, 2020 年 10 月, Web 開催.
- 山下雄也, 杜下淳次, 尹 湧琇, 奥村美紀, 池田典昭: 死後の頭部 X 線 CT 画像のポジショニング補正法の改良, 第 104 回日本法医学会学術全国集会, 2020 年 09 月, 京都市.
- Hyemin Park, Yongsu Yoon, Jungmin Kim, Jungsu Kim, Hoiwoun Jeong, Nobukazu Tanaka, Junji Morishita: Suggestion of Determining Method for Proper Target Exposure Index in Clinical Setting, 日本放射線技術学会第 76 回総会学術大会, 2020 年 05 月, Web 開催.
- 林 美聖, 井手口忠光: Virtual Grid が Exposure Index に与える影響, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.
- 今村瑛三郎, 鬼塚泰弘, 近藤雅敏, 井手口忠光: Dual Energy CT のデータ収集システムの違いによる画質の検討, 第 15 回九州放射線医療技術学術大会, 2020 年 11 月, 長崎市.

- 西原晃佑, 鬼塚泰弘, 近藤雅敏, 井手口忠光: FBPと逐次近似(IR)計算手法による画質評価, 第15回九州放射線医療技術学会大会, 2020年11月, 長崎市.
 - 伊津野拓真, 鬼塚泰弘, 近藤雅敏, 井手口忠光: Dual Energy CTのデータ収集システムの違いによる画質の検討, 第15回九州放射線医療技術学会大会, 2020年11月, 長崎市.
 - 松本和樹, 笠井裕貴, 福山幸秀, 寺島廣美, 佐々木智成: TomoDirectを用いた骨髄破壊的全身照射における門数と評価指標の関係およびTomoHelicalとの比較検討, 第33回高精度放射線外部照射部会学会大会, 2020年05月, Web開催.
 - Yuichiro Takayama, Kana Edamitsu, Hideaki Matsukawa, Taka-aki Hirose, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki: Intra-fractional Dose Variation of HR-CTV and Applicator shift in image-guided Brachytherapy for cervical cancer, 第76回日本放射線技術学会総会学会大会, 2020年05月, Web開催.
 - Ryo Takatsuka, Yuki Kasai, Kazuki Matsumoto, Yukihide Fukuyama, Hiromi Terashima, Tomonari Sasaki: Investigation of TE in total body irradiation using TomoTherapy, 第76回日本放射線技術学会総会学会大会, 2020年05月, Web開催.
 - Keiki Inoue, Hideaki Matsukawa, Kazuki Matsumoto, Taka-aki Hirose, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki: Comparison of Dose Distribution by the Difference of Dose Calculation Algorithm for the Same Treatment Plan, 第76回日本放射線技術学会総会学会大会, 2020年05月, Web開催.
- 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 杜下淳次, 加藤豊幸(編集, 分担執筆): 医用画像検査技術学 改訂4版, 2020年11月, 南山堂.
- 藤淵俊王, 杜下淳次(編集): 放射線・医療安全管理学, 2020年09月, 南山堂.
- 杜下淳次, 中村泰彦(編集, 分担執筆): 診療放射線技師臨床実習テキスト, 2020年06月, 文光堂.
- 井手口忠光, 田中延和(分担執筆): 新・医用放射線技術実験—基礎編— 第4版, 2020年12月, 共立出版.
- 井手口忠光, 小川和久, 齋藤高志, 近藤雅敏(分担執筆): 医用画像検査技術学 改訂4版, 2020年11月, 南山堂.
- 井手口忠光(分担執筆): 診療放射線技師臨床実習テキスト, 2020年06月, 文光堂.
- 井手口忠光(分担執筆): 人体のメカニズムから学ぶ 画像診断技術学, 2020年04月, メジカルビュー社.
- 田中延和, 服部昭子(分担執筆): 医用画像検査技術学 改訂4版, 2020年11月, 南山堂.
- 田中延和(分担執筆): 診療放射線技師臨床実習テキスト, 2020年06月, 文光堂.

2. 総説

- Junji Morishita, Yasuyuki Ueda: New solutions for automated image recognition and identification: challenges to radiographic technology and forensic pathology, Radiological Physics and Technology, 2021年03月 on line first.

3. 解説, 書評など なし

受賞

- 佐々木(雅), 「大学院生(勝部俊)が 67th Annual Meeting of SNMMI にて 1st Place Technologist Best PET Oral Abstract を受賞した。」, 2020 SNMMI-TS Travel Award, Society of Nuclear Medicine, 2020 年 06 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下, 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究, 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究, 株式会社キュアホープ, 2016 年 06 月～2021 年 03 月
- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究, EIZO 株式会社, 2006 年 05 月～2023 年 03 月
- 井手口, 田中, デジタル X 線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究, 富士フイルムメディカル株式会社, 2019 年 03 月～2021 年 03 月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員

- 佐々木(雅), 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員.
- 佐々木(雅), 九州大学病院サイクロトン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員.

3. 部門・コース内委員

- 佐々木(雅), 病院地区協議会 議長.
- 佐々木(雅), 病院地区協議会 委員.
- 佐々木(雅), 医学研究院保健学部門 部門長.
- 杜下, 放射線安全委員会 委員.
- 杜下, 入試実施委員会 副委員長.
- 杜下, 広報委員会 委員長.
- 杜下, 年報委員会 委員.
- 藪内, 医用量子線科学分野 分野長.
- 藪内, 入試実施委員会 委員.
- 藪内, 大学院委員会 委員.
- 井手口, 学生委員会 委員.
- 佐々木(智), 教務委員会 委員.
- 田中, 放射線安全委員会 委員.
- 田中, FD 実行委員会 委員.
- 田中, 地域・国際連携推進委員会 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木(雅), 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師.
- 佐々木(智), 東京都立大学 大学院、非常勤講師

2. 学協会

- 佐々木(雅), 日本核医学会, 理事, 国内.
- 佐々木(雅), 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 佐々木(雅), 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 杜下, 日本放射線技術学会・日本医学物理学会 official journal Radiological Physics and Technology 編集委員, 国内.
- 杜下, 医用画像情報学会, 理事, 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, 代議員, 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, Japanese Journal of Radiology 副編集長, 国内.
- 藪内, 日本磁気共鳴医学会, 代議員, 国内
- 佐々木(智), Japanese Journal of Radiology, 査読委員, 国内.
- 佐々木(智), 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 佐々木(智), 日本放射線腫瘍学会, 評議員, 国内.
- 井手口, 日本医用画像情報学会, 理事, 国内.
- 田中, 公益社団法人 日本放射線技術学会, 代議員, 国内.
- 田中, 第119回日本医学物理学会学術大会, 実行委員, 国内.
- 田中, 日本放射線技術学会雑誌, 査読委員, 国内
- 田中, 医用画像情報学会雑誌, 査読委員, 国内

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

| | |
|----|--------|
| 教授 | 内海 健 |
| 教授 | 重藤 寛史 |
| 講師 | 小島 夫美子 |
| 講師 | 田代 洋行 |
| 講師 | 相原 正宗 |
| 助教 | 安田 洋子 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|--|----|----|
| Health Science | 内海 | 前期 |
| Biological Sciences and Technology I | 内海 | 前期 |
| International Society and Multidisciplinary Care | 内海 | 前期 |
| 生体情報解析学 I | 内海 | 前期 |
| ヘルスサイエンス論 | 内海 | 前期 |
| 国際社会とチーム医療 | 内海 | 前期 |
| 生体情報解析検査学 | 重藤 | 後期 |
| 保健学研究論 | 重藤 | 前期 |
| 生体情報解析学 I | 重藤 | 前期 |
| Health Science Research | 重藤 | 前期 |

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

| | | |
|-------------|----|----|
| 検査技術科学特別研究 | 内海 | 通年 |
| 生体情報機能検査学演習 | 内海 | 前期 |
| 保健学特別研究 | 内海 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション | 内海 | 通年 |
| 生体情報解析学 II | 重藤 | 後期 |
| 国際プレゼンテーション | 重藤 | 通年 |
| 保健学特別研究 | 重藤 | 通年 |
| 生体情報解析検査学演習 | 重藤 | 前期 |
| 検査技術科学特別研究 | 重藤 | 通年 |
| 検査技術科学特別研究 | 田代 | 通年 |

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

| | | |
|-------------------------|----|-----|
| 臨床検査学概論 I | 重藤 | 秋学期 |
| 臨床検査学概論 II | 重藤 | 冬学期 |
| 人体の構造と機能 I | 重藤 | 前期 |
| 生理機能検査学 I | 重藤 | 前期 |
| 生理機能検査学 II | 重藤 | 前期 |
| 生理機能検査学 III | 重藤 | 前期 |
| 国際感染症学および実習 | 小島 | 前期 |
| 寄生虫学(分担) | 小島 | 前期 |
| 臨床検査総論 | 小島 | 春学期 |
| 医療安全・バイオリスク管理および実習 (分担) | 田代 | 秋学期 |
| 医用工学・情報概論 | 田代 | 前期 |
| 病原体学 | 相原 | 前期 |
| 臨床微生物学および実習 | 相原 | 前期 |
| 医療安全・バイオリスク管理および実習 | 相原 | 冬学期 |
| 検査基礎技術 | 安田 | 前期 |
| 臨床検査学概論 I | 安田 | 秋学期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|-------------------|----|-----|
| 生理機能検査学実習 | 重藤 | 後期 |
| 臨地実習 | 重藤 | 前期 |
| 卒業研究 | 重藤 | 通年 |
| 国際感染症学および実習 | 小島 | 前期 |
| 寄生虫学(分担) | 小島 | 前期 |
| 一般検査学および実習 | 小島 | 後期 |
| 医用工学・情報概論実験 | 田代 | 秋学期 |
| 臨床微生物学および実習 | 相原 | 前期 |
| 生化学・臨床化学実習 | 安田 | 後期 |
| 組織・病理検査学および実習 III | 安田 | 後期 |
| 一般検査学および実習 | 安田 | 後期 |
| 組織・病理検査学および実習 I | 安田 | 後期 |
| 組織・病理検査学および実習 II | 安田 | 前期 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|-------|---|
| 野上美里 | 各種癌における NAD 合成酵素の遺伝子発現と予後の関係性 |
| 堂園 裕史 | ミトコンドリア移行シグナル後の翻訳停止機序 |
| 中山 晴音 | アミノ酸置換がないサイレント変異の分子機構の解明:シグナル配列上のフェニルアラニンコドン出現率の偏りの検証 |
| 深堀侘奈 | ミトコンドリア蛋白 MFN2 ノックダウンによる遺伝子発現の変化 |
| 岡本拓磨 | ミトコンドリア機能異常が見られる老化・老化付随疾患に伴う遺伝子発現の相違 |
| 高橋千紘 | 前頭部におけるタスク関連電位の周波数解析 |
| 石崎 光 | 側頭葉てんかんにおける紡錘状回容積の左右差の検討 |

| | |
|--------|---|
| 大田絹嘉 | 短時間睡眠が脳波優位律動におよぼす影響についての検討 |
| 鍛冶綾香 | 側頭葉てんかん患者における海馬容積の左右差の検討 |
| 石野結衣 | ストレスバイオマーカーとしての毛髪内 microRNA の基礎的検討 |
| 稲田圭那 | 種特異的プライマーを用いた <i>Anisakis simplex</i> 同胞種の鑑別法の確立 |
| 平田りの | PCR-CTPP 法を応用した <i>Anisakis simplex</i> 同胞種鑑別法の検討 |
| 大田 智裕 | 光-電気複合神経刺激の実現に向けた近赤外線レーザー光源出力の検証 |
| 山内 魁 | ナノ構造白金電極による脳内ドーパミン計測の基礎的検討 |
| 西 凜佳子 | 抗菌薬膜透過性低下に起因するカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の新規検査法確立に向けた polymyxin B nonapeptide の有用性の検討 |
| 龍原 わかな | 転写抑制因子 RamR の 42 番目のグリシンからアルギニンへのアミノ酸置換は RamR の転写抑制機能を阻害する |
| 加藤 百華 | 臨床分離された OmpK35 低発現 ESBL 産生 <i>K. pneumoniae</i> における OmpK35 発現と転写抑制因子 ramR の遺伝子変化に関する疫学解析 |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|---|--------------------------------------|----|
| 1 | ミトコンドリアーリソソーム機能関連の新規分子機構 | 内海 |
| 2 | 新規臨床化学測定法の開発 | 内海 |
| 3 | てんかん患者における忘却の加速のメカニズム | 重藤 |
| 4 | アニサキスに関する研究 | 小島 |
| 5 | 人工視覚システムの開発 | 田代 |
| 6 | ニューロモジュレーションを応用した医療治療機器の開発 | 田代 |
| 7 | 臨床微生物学 | 相原 |
| 8 | hybrid EMT に伴うエピゲノム変動に着目した転移メカニズムの解明 | 安田 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(A)」ミトコンドリア病態解析に基づく臓器特異的ミトコンドリア異常診断法の開発, 内海(分担), 1000 千円.
- 「基盤研究(C)」先天性門脈体循環シャント症候群を引き起こす遺伝的要因の解明, 内海(分担), 200 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」ミトコンドリア異常と代償的葉酸代謝亢進の分子基盤と予防栄養の探索, 内海(分担), 200 千円.
- 「基盤研究(A)」網羅的代謝変化によるミトコンドリア異常疾患の病態解析とバイオマーカー探索, 内海(分担), 1000 千円.
- 「基盤研究(C)」てんかん患者の忘却促進現象の標的記憶再活性化と経頭蓋直流刺激による病態解明と治療, 重藤(代表), 650 千円. (公開)

- 「基盤研究(C)」新規脳波バイオマーカーを用いた機械学習によるてんかんの診断手法の開発, 重藤(分担), 260 千円. (公開)
- 「若手研究」BMI デバイスの治療効果予測・評価のための光刺激ー光記録神経活動撮像系の開発, 田代(代表), 2100 千円.
- 「若手研究」Photoswitch を応用した人工感覚器の有効性および安全性の検証(研究代表者: 帝京大学 野村修平), 田代(連携), 0 千円. (公開)
- 「基盤研究(B)」ゲノム進化予測による薬剤耐性菌発生防止に向けた研究, 相原(代表), 5700 千円.
- 「基盤研究(B)」老化・疾病をもたらすミトコンドリア機能障害を鋭敏に捕らえる手法の開発, 相原(分担), 10 千円.

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「研究等に関する助成(田代洋行)」サンライズコーポレーション(株), 田代, 600 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「(株)ニデック 次世代人工視覚の研究」田代, 2400 千円.
- 「帝京大学 神経刺激方法の研究開発」田代, 420 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Shiota M., Akamatsu S., Narita S., Sumiyoshi T., Fujiwara M., Uchiumi T., Ogawa O., Habuchi T. & Eto M.,: The association between missense polymorphisms in SRD5A2 and HSD3B1 and treatment failure with abiraterone for castration-resistant prostate cancer, *In: Pharmacogenomics Journal*, 2021 年 01 月. (査読あり)
- Matsumoto T., Shiota M., Uchiumi T., Ueda S., Tsukahara S., Toshima T., Matsumoto S., Noda, N., Eto M. & Kang D., Genomic characteristics revealed by targeted exon sequencing of testicular germ cell tumors in Japanese men, *International Journal of Urology*, 28, 1, p. 40-46, 2021 年 02 月. (査読あり)
- Nakao Y., Fukuda T., Zhang Q., Sanui T., Shinjo T., Kou X., Chen C., Liu, D., Watanabe Y., Hayashi C., Yamato H., Yotsumoto K., Tanaka U., Taketomi T., Uchiumi T., Le A. D., Shi S. & Nishimura F.: Exosomes from TNF- α -treated human gingiva-derived MSCs enhance M2 macrophage polarization and inhibit periodontal bone loss, *Acta Biomaterialia*, 2021, 122, p. 306-324, 2021 年 03 月. (査読あり)
- Kana Ueki, Yoshinobu Wakisaka, Kuniyuki Nakamura, Yuji Shono, Shinichi Wada, Yoji Yoshikawa, Yuta Matsukuma, Takeshi Uchiumi, Dongchong Kang, Takanari Kitazono, Tetsuro Ago:

Mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like episodes due to m.3243A > G mutation in a 76-year-old woman, *Journal of the Neurological Sciences*, 412, 2020年05月. (査読あり)

- Sakata A, Mukae N, Morioka T, Tanaka S, Shimogawa T, Shigeto H, Hotta T, Kang D, Mizoguchi M.: Simultaneous Electroencephalographic and Electrocorticographic Recordings of Lateralized Periodic Discharges in Temporal Lobe Epilepsy., *Clin EEG Neurosci*, 2020年11月. (査読あり)
- 笹川 清隆, Erus Rustami, 太田 安美, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 太田 淳: 生体内蛍光イメージング用ハイブリッドフィルタ搭載イメージセンサ, *電気学会論文誌E(センサ・マイクロマシン部門誌)*, 141, 3, 71 - 76, 2021年03月. (査読あり)
- Ronnakorn Siwadamrongpong, Taisuke Saigo, Kenji Sugie, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Small and high-frame rate imaging system for implantable CMOS image sensor, *電気学会バイオ・マイクロシステム研究会資料*, BMS-20-028, 2020年07月.
- 野村 修平, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 太田 淳: 電気化学インピーダンススペクトル法による人工視覚システム用多孔性刺激電極界面特性解析のための Randles 型回路モデルの提案, *電気学会バイオ・マイクロシステム研究会資料*, BMS-20-029, 2020年07月.
- 上村 将之, 王 澤, 竹原 浩成, 角 博文, 田代 洋行, 春田 牧人, 笹川 清隆, 太田 淳: 近赤外カラー高速眼底カメラ向けイメージセンサへのモザイク多層膜干渉フィルタ搭載と評価, *映像情報メディア学会技術報告書*, 44, 14, 19 - 21, 2020年06月.
- Ishiguro A, Nishioka M, Morishige A, Kawano R, Kobayashi T, Fujinaga A, Takagi F, Kogo T, Morikawa Y, Okayama N, Mizuno H, Aihara M, Suehiro Y, Yamasaki T. 2020. What is the best wavelength for the measurement of hemolysis index? *Clin Chim Acta* 510:15-20.
- Aihara M, Nishida R, Akimoto M, Gotoh Y, Kiyosuke M, Uchiumi T, Nishioka M, Matsushima Y, Hayashi T, Kang D. Within-host evolution of a *Klebsiella pneumoniae* clone: Selected mutations associated with the alteration of outer membrane protein expression conferred multidrug resistance. *J Antimicrob Chemother* 76:362-369, 2021.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Thanet Pakpuwadon, Mark Guinto Christian, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: A self-reset CMOS image sensor for high signal-to-noise in-vivo imaging, 2020 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2020), 2020年09月, オンライン.
- Mohamad Izzat Azmer Adnan, Kiyotaka Sasagawa, Erus Rustami, Kenji Sugie, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Miniaturized LED light source with a hybrid filter for fluorescent imaging, 2020 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2020), 2020年09月, オンライン.
- Ze Wang, Masayuki Uemura, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuku Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Near-infrared fundus camera with patterned illumination mask for lipid concentration determination based on light scattering from retinal blood vessels, 2020 International Conference on Solid State Devices and Materials(SSDM2020), 2020年09月, オンライン.

- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Atsushi Tanaka: Spatiotemporal Aspects of Suprachoroial Retinal Stimulation using Temporally Interfering Electric Fields, 2020 The Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) Annual Meeting, 2020年05月, オンライン.

c. 大学・研究機関などの刊行誌

- 相原 正宗, 平成 30 年度(2018 年度) 学術奨励基金の報告-血液培養より分離されたカルバペネマーゼ非産生 *Klebsiella pneumoniae* における新規カルバペネム耐性機構の解明を目的とした研究- 会誌ふくおか, 2021 年 3 月.

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 萩原綱一、三好絢子、田中秀明、小川さや香、鎌田崇嗣、重藤寛史、赤松直樹、大原信司: 前頭葉離断術後に一過性 MRI 信号変化を同側線条体に認めた 2 例, 第 28 回 九州山口てんかん外科学研究会, 2021 年 02 月, WEB .
- 萩原綱一、三好絢子、田中秀明、小川さや香、鎌田崇嗣、重藤寛史、赤松直樹、大原信司: 前頭葉離断術後に同側線条体に認められた一過性 MRI 信号変化, 第 44 回 日本てんかん外科学会 , 2021 年 01 月, WEB.
- 上原平, 向野隆彦, 横山淳, 岡留敏樹, 迎伸孝, 重藤寛史, 酒田あゆみ, 赤松直樹, 村井弘之: 睡眠紡錘波と徐波振動の連関に与える発作間欠期てんかん性放電の影響, 日本臨床神経生理学会学術大会第 50 回記念大会, 2020 年 11 月, 国立京都国際会館.
- 重藤寛史: 正常亜型とアーチファクト 誤判読しない TIPS, 日本臨床神経生理学会学術大会第 50 回記念大会, 2020 年 11 月, 国立京都国際会館.
- 重藤寛史: 症例から学ぶ脳波のピットフォール 正常と異常の狭間のグレイゾーンー正常亜型脳波, 日本臨床神経生理学会学術大会第 50 回記念大会, 2020 年 11 月, 国立京都国際会館.
- 重藤寛史: 臨床脳波の現状と未来, 日本臨床神経生理学会学術大会第 50 回記念大会, 2020 年 11 月, 国立京都国際会館.
- 向野 隆彦, 上原 平, 岡留 敏樹, 横山 淳, 荒川 友美, 酒田 あゆみ, 横山 節, 赤松 直樹, 重藤 寛史, 吉良 潤一: 側頭葉てんかんでは左海馬 CA1 の相対的容積の減少が長期記憶の健忘を加速させる, 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020 年 09 月, 岡山コンベンションセンター.
- 岡留 敏樹、向野 隆彦、横山 淳、藤井 敬之、渡邊 恵利子、酒田 あゆみ、重藤 寛史、山崎 亮: 発作時頻脈・発作時徐脈の双方を記録しえた一例, 第 15 回 日本てんかん学会九州地方会, 2020 年 07 月, WEB.
- 倉澤 和暉, 西郷 太輔, Guinto Mark, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 低ストレス慢性脳表血流計測用 CMOS イメージングデバイスの開発, 2021 年 第 68 回応用物理学会春季学術講演会, 2021 年 03 月, オンライン.
- 邑上 貴秋, 太田 安美, 須永 圭紀, 河原 麻美子, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 埋植型イメージングデバイスとマイクロダイアリスによるマウス腹側被蓋野神経活動と投射先

- におけるドーパミン放出の同時計測, 2021 年 第 68 回応用物理学会春季学術講演会, 2021 年 03 月, オンライン.
- 杉江 謙治, 笹川 清隆, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳: 電気生理学的計測機能を搭載した生体埋植イメージセンサの試作, 2021 年 第 68 回応用物理学会春季学術講演会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - 高野 拓郎, 四宮 正之, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 春田 牧人, 田代 洋行, 竹原 浩成, 笹川 清隆, 上野 登輝夫, 太田 淳: 長期生体埋植可能な人工視覚デバイス実現に向けた新規気密パッケージデバイスの試作評価, 2021 年 第 68 回応用物理学会春季学術講演会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - 長沼 京介, 太田 安美, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 高感度細胞外電位記録を目指した電極表面への Nano-Pt コーティング, 2021 年 第 68 回応用物理学会春季学術講演会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - Thanet Pakpuwadon, Kiyotaka Sasagawa, Mark Christian Guinto, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: A self-reset CMOS imaging device with high capacitance photodiode, 2021 年 第 68 回応用物理学会春季学術講演会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - Kuangchih Tso, Yuki Fukunari, Mizuki Hagita, Hironari Takehara, Makito Haruta, Takuro Kouno, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Pu-wei Wu, Jun Ohta: A hexagon-assembly retinal prosthesis with chemical-derived IrOx bio-interfaces, 2021 年 第 68 回応用物理学会春季学術講演会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - 森 康登, 長谷川 諒, Ronnakorn Siwadamrongpong, 鐘堂健三, 寺澤靖雄, 竹原浩成, 春田牧人, 田代洋行, 笹川清隆, 太田 淳: 慢性刺激に対応した人工視覚システム用 AC 駆動制御チップの設計, 2021 年電子情報通信学会総合大会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - 塩谷涼太, 長谷川 諒, 森 康登, 鐘堂健三, 寺澤靖雄, 竹原浩成, 春田牧人, 田代洋行, 笹川清隆, 太田 淳: AC 駆動型人工視覚デバイスに向けた CMOS 整流回路の設計と評価, 令和 3 年電気学会全国大会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - 萩田瑞生, 左 颯之, 福成由基, 春田牧人, 高野拓郎, 寺澤靖雄, 竹原浩成, 田代洋行, 笹川清隆, 太田 淳: 人工視覚用 CMOS スマート電極搭載フレキシブルデバイスの実装工程最適化, 令和 3 年電気学会全国大会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - Ronnakorn Siwadamrongpong, Mark Christian Guinto, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Miniaturized multi-modal sensing system using implantable CMOS imager and temperature sensor, 令和 3 年電気学会全国大会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - Erus Rustami, Kiyotaka Sasagawa, Thanet Pakpuwadon, Yasumi Ohta, Hironori Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Fabrication of Thin and Wide Hybrid Emission Filters Using a Plasma Etching Technique, 令和 3 年電気学会全国大会, 2021 年 03 月, オンライン.
 - 岡田 竜馬, 笹川 清隆, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 太田 淳: 多層偏光子構造による高感度偏光変調検出イメージング, 映像情報メディア学会 創立 70 周年記念大会, 2020 年 12 月, オンライン.
 - 上村将之, 王 澤, 竹原浩成, 角 博文, 田代洋行, 春田牧人, 笹川清隆, 太田 淳: モザイク多層膜干渉フィルタ搭載イメージセンサによる近赤外カラー眼底撮像, 映像情報メディア学会 創立 70 周年記念大会, 2020 年 12 月, オンライン.

- Ronnakorn Siwadamrongpong, Kenji Sugie, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: A small imaging system for dual-area imaging by CMOS imaging sensors, 映像情報メディア学会 情報センシング研究会 (IST), 2020 年 11 月, オンライン.
- Kulmala Natcha, Treepetchkul Thanaree, 笹川 清隆, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳: Development of Hybrid Filters for Dual-color Fluorescence Imaging Using Lens-free Device, 第 37 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム・第 12 回集積化 MEMS シンポジウム (FT2020), 2020 年 10 月, オンライン.
- Kyosuke Naganuma, Mana Hasegawa, Yasumi Ohta, Yoshinori Sunaga, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Metin Akay, Jun Ohta: ラット VTA 小領域を対象とした活動電位記録デバイスの開発, 第 37 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム・第 12 回集積化 MEMS シンポジウム (FT2020), 2020 年 10 月, オンライン.
- 西郷 太輔, Ronnakorn Siwadamrongpong, Mark Christian Guinto, 堀田 朱里, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 慢性脳血流観察にむけた CMOS イメージングデバイスの開発, 第 37 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム・第 12 回集積化 MEMS シンポジウム (FT2020), 2020 年 10 月, オンライン.
- Nicha Sato, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Oratai Jongprateep, Jun Ohta: Electrochemical activities of TiO₂-Zn/MWCNTs modified microelectrode for dopamine detection, 第 37 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム・第 12 回集積化 MEMS シンポジウム (FT2020), 2020 年 10 月, オンライン.
- Kuang Chih Tso, Yuki Fukunari, Yasuo Terasawa, Takuro Kouno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Development of Implantable Retinal Device with CMOS Smart Electrodes in Honeycomb Matrix, 2020 年電子情報通信学会ソサイエティ大会, 2020 年 09 月, オンライン.
- 森 康登, 長谷川 諒, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 多電極人工視覚のための慢性刺激回路の検討, 2020 年電子情報通信学会ソサイエティ大会, 2020 年 09 月, オンライン.
- 春田 牧人, 西郷 太輔, Ronnakorn Siwadamrongpong, Mark Christian Guinto, 堀田 朱里, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 小動物用小型イメージングデバイスによる動物の行動と脳機能の相互関連性の解明, 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会, 2020 年 09 月, オンライン.
- Teixeira Barbara Sais, Ronnakorn Siwadamrongpong, Joshua Olorocisimo, Taisuke Saigo, Mark Christian Guinto, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Compact Fluorescent Cell Imaging System for Real Time Acquisition, 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会, 2020 年 09 月, オンライン.
- Thanaree Treepetchkul, Natcha Kulmala, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: High Rejection of Excitation Light in Lensless Dual-color Fluorescence Imaging Using a Combination of Notch filter and Absorption filters, 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会, 2020 年 09 月, オンライン.
- 高野 拓郎, 四宮 正之, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 春田 牧人, 田代 洋行, 竹原 浩成, 笹川 清隆, 上野 登輝夫, 太田 淳: 長期生体埋植可能な広視野・高解像度人工視覚デバイス 実現に向けた新規気密

パッケージデバイスの試作評価, 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会, 2020 年 09 月, オンライン.

- 福成 由基, Kuang-Chih Tso, 春田 牧人, 寺澤 靖雄, 高野 拓郎, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 人工視覚用ハニカム型 CMOS スマート電極アレイの新規実装工程の開発, 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会, 2020 年 09 月, オンライン.
- 長谷川 真菜, 長沼 京介, 太田 安美, 河原 麻美子, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: マウス脳深部用光刺激デバイスの作製と評価, 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会, 2020 年 09 月, オンライン.
- 長谷川 諒, 森 康登, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 竹原浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 人工視覚システムに向けた AC 駆動 CMOS 整流器搭載チップの設計, 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会, 2020 年 09 月, オンライン.
- Ronnakorn Siwadamrongpong, Taisuke Saigo, Kenji Sugie, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Small and high-frame rate imaging system for implantable CMOS image sensor, 電気学会 バイオ・マイクロシステム研究会, 2020 年 07 月, online.
- 野村 修平, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 太田 淳: 電気化学インピーダンススペクトル法による人工視覚システム用多孔性刺激電極界面特性解析のための Randles 型回路モデルの提案, 電気学会 バイオ・マイクロシステム研究会, 2020 年 07 月, オンライン.
- 上村 将之, 王 澤, 竹原 浩成, 角 博文, 田代 洋行, 春田 牧人, 笹川 清隆, 太田 淳: 近赤外カラー高速眼底カメラ向けイメージセンサへのモザイク多層膜干渉フィルタ搭載と評価, 映像情報メディア学会情報センシング研究会, 2020 年 07 月, オンライン.
- 相原 正宗, 同一患者血液培養から経時的に検出された *Klebsiella pneumoniae* 2 株の全ゲノム比較解析, 第 30 回福岡県医学検査学会 学術奨励基金受賞講演, 2020 年 12 月, オンライン.

f. 学会以外での講演, 発表

- 重藤寛史: 3 月 16 日 保健学部門における国際化のとりくみ, 第 4 回 医系地区 国際化フォーラム, 2021 年 03 月, 九州大学医学部 薬学部第一講堂.

著作

a. 単行本 なし

b. 総説

- 重藤 寛史, 萩原 綱一, 茶谷 裕 言語に関連した脳領域〜てんかん診療医の視点から シリーズ企画「脳と言語」I 認知神経科学 22 巻 2 号 p. 78-87 2021 年
- 岡留敏樹 重藤寛史 特集/ 外来における救急診療のポイント1. 各症状への対応 けいれん「臨床と研究」令和 3 年 2 月号特集企画
- Hiroshi Shigeto: Hippocampal modulation of auditory processing in epilepsy, *Neurology and Clinical Neuroscience*, 2020 年 11 月. (公開)

- 田代洋行, 寺澤靖雄: 人工視覚システムの安全性・耐久性評価(特集:人工視覚の現状と展望), 光アライアンス, 日本工業出版, 2020年07月.(公開)

c. 解説, 書評など

- 重藤寛史, 人見 健文: 問題症例の脳波の特集にあたって 臨床神経生理学 48 巻 2 号 p81, 2020 年
- 重藤寛史: 治療とケア～症例から考える～OSA (閉塞性睡眠時無呼吸)を伴うてんかんの一例, 2020 年 05 月.(公開)

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 田代, 次世代人工視覚の研究, (株)ニデック, 2020年04月～2021年03月.
- 田代, 神経刺激方法の研究開発, 帝京大学, 2018年08月～2022年03月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

- 田代, ニプロ(株) 新規事業本部 技術顧問.

5. 特記すべきその他の技術相談

- 田代, 九州大学研究開発コンサルティング「疾病における電気治療機の可能性について」, 日商平野(株), (技術指導).

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 相原, 令和2年度 医療技術等 国際展開推進事業「ミャンマー国における薬剤耐性(AMR)サーベイランスと抗菌薬適正使用(AMS)の強化事業」, 2021年01月, オンライン

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 田代, 支線 LAN 管理者.
- 相原, 九州大学研究用微生物安全管理委員会委員.

2. 部局委員

- 内海, 特定認定再生医療等委員会委員.
- 小島, 医療系統合教育研究センター委員会委員.
- 相原, 臨床研究(観察研究)倫理審査委員会委員.

3. 部門・コース内委員

- 内海, IRB 委員会委員.
- 重藤, 教務委員会委員.
- 重藤, 地域国際連携推進委員会委員.
- 小島, 地域国際連携推進委員会委員.
- 田代, 年報委員会委員.
- 田代, KITE 連絡員.
- 相原, 広報委員会委員.
- 安田, 学生支援会委員.
- 安田, 学生委員会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.
- 田代, 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域・准教授(客員), 客員教員.

2. 学協会

- 重藤, 日本てんかん学会, 理事, 国内.
- 重藤, Epilepsy & Seizure, 編集委員, 国際.
- 重藤, 臨床神経生理学, 編集委員, 国内.

- 小島, 研究テーマ<食中毒リスクフリーのための高電圧大電流処理による革新的アニサキス殺虫装置の開発>の推進委員会委員として寄与, 公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団, 学術団体.
- 小島, 日本臨床寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会南日本支部, 評議員, 国内.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内

3. 官界

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 田代, ニプロ(株) 新規事業本部 技術顧問.

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

検査技術科学分野

《病態情報学》

| | |
|----|--------|
| 教授 | 勝田 仁 |
| 教授 | 水野 晋一 |
| 講師 | 外園 栄作 |
| 講師 | 栗崎 宏憲 |
| 講師 | 渡邊 壽美子 |
| 助教 | 八木 美佳子 |
| 助教 | 塩津 弘倫 |
| 助教 | 木村 朋子 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|----------------------------------|----|----|
| Health Science | 勝田 | 前期 |
| Medical Science and Technology I | 勝田 | 前期 |
| 病態情報解析学 I | 勝田 | 前期 |
| ヘルスサイエンス論 | 勝田 | 前期 |
| 分子情報解析検査学 | 勝田 | 後期 |
| 病態情報機能検査学 | 勝田 | 後期 |
| 国際社会とチーム医療 | 水野 | 前期 |
| 病態情報解析学 I | 水野 | 前期 |
| 病態情報解析検査学 | 渡邊 | 後期 |

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

| | | |
|-----------------------------------|----|----|
| 検査技術科学特別研究 | 勝田 | 通年 |
| 分子情報解析検査学演習 | 勝田 | 前期 |
| 病態情報機能検査学演習 | 勝田 | 前期 |
| 保健学特別研究 | 勝田 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション | 勝田 | 通年 |
| Medical Science and Technology II | 勝田 | 後期 |
| 病態情報解析学 II | 勝田 | 後期 |
| 病態情報解析検査学演習 | 水野 | 前期 |
| 保健学特別研究 | 水野 | 通年 |
| 検査技術科学特別研究 | 水野 | 通年 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|--------|--|
| 寺澤 明穂 | 検査値プロファイルの機械学習により糖尿病腎症の発症を早期に予測するアルゴリズムの開発 |
| 向窪 七海 | CRISPR-Cas9 システムによるクローン造血モデルマウスの作成 |
| 小川 泰平 | 免疫不全マウスを用いたクローン造血発症への免疫監視仮説の検討 |
| 後藤 大希 | 尿中高感度総蛋白測定法の開発 |
| 岩崎 遥菜 | 二核細胞と GLUT1 の関連性に関する検討 |
| 細山田 理葉 | BCG non-response 細胞の核形態に関する研究-pRB 非発現 T24 細胞を用いて |

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

| | | |
|------------------|----|-----|
| 遺伝子・細胞工学 | 勝田 | 前期 |
| 臨床検査学概論 I | 勝田 | 春学期 |
| 人体の構造と機能 II | 勝田 | 前期 |
| 生物化学分析検査学特論 | 勝田 | 後期 |
| 臨床検査医学総論 | 勝田 | 冬学期 |
| 病因・生体防御検査学特論 | 勝田 | 秋学期 |
| 臨床検査学概論 II | 勝田 | 冬学期 |
| 臨床検査学概論 I | 勝田 | 秋学期 |
| 人体の構造と機能 I | 水野 | 前期 |
| 血液検査学 | 水野 | 後期 |
| 生化学 | 外園 | 春学期 |
| 生化検査学 | 外園 | 夏学期 |
| 臨床検査統計学および演習 | 外園 | 秋学期 |
| 生物化学分析学特論 (分担) | 外園 | 後期 |
| 輸血検査学 | 栗崎 | 冬学期 |
| 臨床検査学概論 II | 栗崎 | 冬学期 |
| 病原体学 | 栗崎 | 前期 |
| 病理検査学概論 | 渡邊 | 冬学期 |
| 病理学 | 渡邊 | 秋学期 |
| 組織・病理検査学および実習 II | 渡邊 | 前期 |
| 生理機能検査学 I・II・III | 塩津 | 前期 |
| 臨床検査学概論 I | 木村 | 秋学期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|----------------|----|-----|
| 遺伝子検査学実験 | 勝田 | 秋学期 |
| 血液検査学実習 | 水野 | 前期 |
| 検査基礎技術 | 外園 | 前期 |
| 臨床検査統計学および演習 | 外園 | 秋学期 |
| 生物化学分析学特論 (分担) | 外園 | 後期 |
| 臨床免疫学および実習 | 栗崎 | 後期 |

| | | |
|-------------------|----|-----|
| 組織・病理検査学および実習 III | 渡邊 | 後期 |
| 組織・病理検査学および実習 I | 渡邊 | 後期 |
| 組織・病理検査学および実習 II | 渡邊 | 前期 |
| 国際感染症学および実習 | 八木 | 前期 |
| 血液検査学実習 | 八木 | 前期 |
| 臨床微生物学および実習 | 八木 | 前期 |
| 遺伝子検査学実験 | 八木 | 秋学期 |
| 生化学・臨床化学実習 | 八木 | 後期 |
| 臨床免疫学および実習 | 八木 | 後期 |
| 生理機能検査学実習 | 塩津 | 後期 |
| 医用工学・情報概論実験 | 塩津 | 後期 |
| 臨床免疫学および実習 | 木村 | 後期 |
| 遺伝子検査学実験 | 木村 | 秋学期 |
| 国際感染症学および実習 | 木村 | 前期 |
| 血液検査学実習 | 木村 | 前期 |
| 臨床微生物学および実習 | 木村 | 前期 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|--------|---|
| 梅枝 玲奈 | k 近傍法を使用した腫瘍の診断 |
| 小山 怜奈 | 線形回帰を使った医療費の予測 |
| 山本 夏翠 | Rによる機械学習と医療への応用ー決定木解析 |
| 若松 遥香 | 相関ルールを用いたパターン検出と医療への応用 |
| 多田 百花 | k 平均法を用いたクラスタリング解析 |
| 牛島 楓 | ニューラルネットワークモデルによる画像認識の基礎的検討 |
| 福元 沙織 | 畳み込みニューラルネットワーク(CNN)におけるハイパーパラメーター最適化の基礎的検討 |
| 中川 七海 | Convolutional Neural Network(畳み込みニューラルネットワーク)における画像処理機構の基礎的検討 |
| 森田 恵莉菜 | AI(artificial intelligence)モデル構築における転移学習とデータ増強の基礎的検討 |
| 芦野 秀通 | LSTM(Long short-term memory)ニューラルネットワークの画像認識への応用の基礎的検討 |
| 田中 駿輔 | 新規血清ビリルビン測定法の検討 |
| 山口 麗奈 | 尿中オキシシンの日内変動に関する研究 |
| 谷川 憂衣 | CRISPR-Cas9 システムによる AIRE 遺伝子のノックアウト |
| 泉 朱里 | 末梢血単球から樹状細胞への分化検討および末梢血単核細胞中の AIRE 遺伝子検出 |
| 宮原 里歩 | サラセミア疑い患者における遺伝子解析 |
| 高藤 将平 | Papanicolaou 染色と DAPI 染色における核形態の比較 -HeLa 細胞を用いて- |
| 森田 環 | 子宮体部の内膜細胞診における Hyperplasia と類内膜腺癌 G1 の鑑別 |
| 龍 美玖璃 | 巨核球系分化におけるマイクロパーティクル内 miRNA の変化からみた新規バイオマーカーの可能性に関する研究 |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|----|---|----|
| 1 | 膝島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立 | 勝田 |
| 2 | 九州大学病院検査データを用いた新たな糖尿病病態分類の確立 | 勝田 |
| 3 | ゲノム編集技術の基礎研究 | 水野 |
| 4 | 腫瘍免疫の誘導法および検査技術の開発 | 水野 |
| 5 | 血液疾患診断への遺伝子解析の応用 | 水野 |
| 6 | 生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発 | 外園 |
| 7 | 生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究 | 外園 |
| 8 | 自己免疫調節遺伝子(AIRE)の機能解析 | 栗崎 |
| 9 | Deep Learning を活用した細胞診断支援システムの開発 | 渡邊 |
| 10 | 膀胱癌の診断と膀胱注入療法的作用機序解明 | 渡邊 |
| 11 | 癌細胞における細胞形態学 | 渡邊 |
| 12 | ミトコンドリアがオートファジーを制御する新機構と老化随伴疾患代謝物の探索 | 八木 |
| 13 | MicroRNA を用いた新規臨床検査法の開発 | 塩津 |
| 14 | 呼吸凝縮液における気道炎症状態の評価法の確立 | 木村 |
| 15 | 骨髄異形成症候群細胞株 MDS-L を用いた in vitro における新規薬剤の抗腫瘍効果の検討 | 木村 |
| 16 | 概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発 | 木村 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(B)」慢性疼痛難治例の症例対照研究: 中枢性感作に関する愛着・認知・情動とバイオマーカー, 外園(分担), 400 千円.
- 「基盤研究(C)」生体試料中の酸化・還元物質の影響を受けない超高感度検出法の開発とその発展性の検証, 外園(代表), 1100 千円.
- 「若手研究」ミトコンドリアがオートファジーを制御する新機構と老化随伴疾患代謝物の探索, 八木(代表), 800 千円.
- 「若手研究」血小板由来マイクロパーティクルの基礎的性状の解明と生体内の役割に関する研究, 塩津(代表), 1200 千円.
- 「若手研究」概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発, 木村(代表), 1100 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「英語論文オープンアクセス支援」ミトコンドリア翻訳障害により NAD⁺が減少しリソソーム機能低下を引き起こす, 八木(代表), 60 千円.
- 「出産・育児復帰者支援」概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発, 木村(代表), 500 千円. (公開)

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「中外製薬研究活動支援/ 血友病をはじめとする先天性凝固性疾患の CRISPR/Cas9ゲノム編集による遺伝子修復」, 水野, 200 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Takanori Hasegawa, Shuto Hayashi, Eigo Shimizu, Shinichi Mizuno, Atsushi Niida, Rui Yamaguchi, Satoru Miyano, Hidewaki Nakagawa, Seiya Imoto. Neoantimon: a multifunctional R package for identification of tumor-specific neoantigens. *Bioinformatics*. 36:4813-4816, 2020年09月. (査読あり)
- Takayuki Nakamura, Satoshi Morishige, Hidetoshi Ozawa, Kenji Kuboyama, Yoshitaka Yamasaki, Shuki Oya, Maki Yamaguchi, Kazutoshi Aoyama, Ritsuko Seki, Fumihiko Mouri, Koichi Osaki, Takashi Okamura, Shinichi Mizuno, Koji Nagafuji. Successful correction of factor V deficiency of patient-derived iPSCs by CRISPR/Cas9-mediated gene editing. *Haemophilia* 26:826-833, 2020年07月. (査読あり)
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Wai Yee Chan, Kentaro Tanaka, Shinichi Mizuno, Nadia Fareeda Muhammad Gowdh, Nur Adura Yaakup, Chong-Kin Liam, Chee-Shee Chai, Kwan Hoong Ng. Robust radiogenomics approach to the identification of EGFR mutations among patients with NSCLC from three different countries using topologically invariant Betti numbers. *PLoS One* 16:e0244354, 2021年01月. (査読あり)
- Shotaro Sakimura, Satoshi Nagayama, Mitsuko Fukunaga, Qingjiang Hu, Akihiro Kitagawa, Yuta Kobayashi, Takanori Hasegawa, Miwa Noda, Yuta Kouyama, Dai Shimizu, Tomoko Saito, Atsushi Niida, Yusuke Tsuruda, Hajime Otsu, Yoshihiro Matsumoto, Hiroki Uchida, Takaaki Masuda, Keishi Sugimachi, Shin Sasaki, Kazutaka Yamada, Kazuki Takahashi, Hideki Innan, Yutaka Suzuki, Hiromi Nakamura, Yasushi Totoki, Shinichi Mizuno, Masanobu Ohshima, Tatsuhiro Shibata, Koshi Mimori. Impaired tumor immune response in metastatic tumors is a selective pressure for neutral evolution in CRC cases. *PLoS Genet* 17:e1009113, 2021年01月. (査読あり)
- Kazuhito Gotoh, Yuya Kunisaki, Soichi Mizuguchi, Daiki Setoyama, Kentaro Hosokawa, Hisayuki Yao, Yuya Nakashima, Mikako Yagi, Takeshi Uchiumi, Yuichiro Semba, Jumpei Nogami, Koichi Akashi, Fumio Arai, Dongchon Kang: Mitochondrial Protein Synthesis Is Essential for Terminal Differentiation of CD45- TER119-Erythroid and Lymphoid Progenitors, *iScience*, 23, 11, 2020年09月. (査読あり)
- Katsuhiko Sasaki, Takeshi Uchiumi, Takahiro Toshima, Mikako Yagi, Yura Do, Haruka Hirai, Ko Igami, Kazuhito Gotoh, Dongchon Kang: Mitochondrial translation inhibition triggers ATF4 activation, leading to integrated stress response but not to mitochondrial unfolded protein response, *BIOSCIENCE REPORTS*, 40, 2020年11月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス なし

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 後藤大希、内海健、外園栄作: ニッケル-ビウレット法を基本原理とするクロムアズロール B を用いた尿中総蛋白測定法の開発, 第 32 回日本臨床化学会 (第 66 回日本臨床検査医学会 九州地方会合同開催), 2021 年 03 月, 九州大学医学部 Web 開催.
- 上原俊貴、渡邊壽美子、甲斐友基、大喜雅文、加来恒壽、岩坂剛: Deep Learning による DNA 染色像からの細胞周期推定に関する検討, 第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会 Web, 2020 年 11 月.
- 岩崎遥菜、渡邊壽美子、上原俊貴、加来恒壽、岩坂剛: 二核細胞の分裂に関する検討, 第 61 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) Web, 2020 年 06 月.
- 細山田理葉、中司成、上原俊貴、加来恒壽、岩坂剛、渡邊壽美子: BCG 曝露 T24 細胞における pRB、p27 と核形の関連性, 第 61 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) Web, 2020 年 06 月.
- 上原俊貴、大喜雅文、渡邊壽美子、大久保文彦、山元英崇、加藤聖子、小田義直、加来恒壽、岩坂剛: 子宮頸部・体部細胞診における Deep Learning の有用性の検討, 第 61 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) Web, 2020 年 06 月.
- 八木美佳子、康東天、内海健: ミトコンドリアを介したリソソーム機能制御のメカニズム, 日本生化学会, 2020 年 09 月.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 横山大輔、角田篤信、下澤達雄、川良徳弘、佐藤良平、栗原 由利子、永山寛、小林浩二、市野直浩、横田浩充、刑部恵介、谷直人、奥野敬一郎、笹野哲郎、川口陽子、角勇樹、芝 紀代子、外園 栄作、古谷信彦、佐藤健次、小池由佳子、関貴行、菅野義彦、矢野哲也、星野哲、古川泰司、吉田則行、窪田哲朗、明石巧、大野京子: (共著) 臨床検査技師 ブルー・ノート 3rd edition, 2021 年 03 月, メジカルビュー社.
- 芝 紀代子、栗原 由利子、外園 栄作: (共著) ポケットマスター臨床検査知識の整理 臨床化学 第2版, 2021 年 03 月, 医歯薬出版株式会社.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- 外園 栄作: 個々のデータを保証するための工夫・改善 III. 分析後の工夫・改善 7) 造影剤ガドリニウム製剤による血清カルシウム測定への影響, 日本医療検査科学会誌, 2021 年 03 月.

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし
2. 外国人研究者の受入れ
 - a. 訪問教授・研究員 なし
 - b. 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ なし
4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 外園, 環境安全センター委員会・委員.
- 外園, 環境安全管理委員会・委員.
- 渡邊, 入学者選抜研究委員会・委員.

2. 部局委員

- 勝田, 医学研究院等動物実験委員会・委員.
- 勝田, 医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会・委員.
- 勝田, 病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会・委員.
- 勝田, 九州大学病院糖尿病専門部会・委員.
- 水野, 細胞免疫治療委員会・委員長.

3. 部門・コース内委員

- 勝田, 広報委員会・副委員長.
- 勝田, 大学院委員会・委員.

- 勝田, 検査技術科学分野・副分野長.
- 水野, 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野・分野長.
- 外園, 教務委員会・委員.
- 栗崎, 施設・環境委員会・委員.
- 塩津, 地域国際連携・FD 委員会・委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 水野, 久留米大学医学部血液・腫瘍内科 客員教授, 客員教員.
- 外園, 博多学園高等学校(看護科および看護学専攻科), 非常勤講師.
- 外園, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.
- 栗崎, 福岡県私設病院協会看護学校, 非常勤講師.
- 八木, 純真学園大学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 勝田, 日本糖尿病学会, 評議員, 国内.
- 勝田, 日本臨床検査教育協議会, 評議員, 国内.
- 水野, 日本血液疾患免疫療法学会, 評議員, 国内.
- 水野, 日本血液学会, 評議員, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 理事, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会 科学技術委員会, 幹事(科学技術委員会委員), 国内.
- 外園, 日本臨床検査学教育協議会, その他(編集委員会委員), 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, その他(査読委員), 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会, 理事(広報), 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会, その他(編集委員), 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会福岡県支部, 理事, 国内.
- 外園, 生物試料分析学会誌, 編集及び査読委員, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員(および査読委員), 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

4. 教員組織および委員会一覧

◆教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門

令和2年度

| 分野・領域 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | その他 |
|---------|---|--|---|--|-----|
| 看護学 | | | | | |
| 統合基礎看護学 | 後藤 健一 <small>令和2年4月1日採用</small> 中尾 久子 <small>令和3年3月31日退職</small> 橋口 暢子 藤田 君支 | | 青本 さとみ 能登 裕子 <small>育児休業R2.2.28~R3.3.31</small> 松尾 和枝 松永 由里子 <small>令和2年4月1日採用</small> 丸山 マサ美 | 相星 香 <small>令和2年8月1日採用</small> 木原 深雪 酒井 久美子 道面 千恵子 藤田 香奈恵 <small>令和2年4月1日採用</small> 前野 里子 <small>令和2年5月31日退職</small> 松本 美晴 薬師寺 佳菜子 <small>令和2年4月1日採用</small> 山口 優 相星 香 <small>令和2年8月1日採用</small> | |
| 広域生涯看護学 | 鳩野 洋子 諸隈 誠一 | 川田 紀美子 <small>令和3年3月31日退職</small> 寺岡 佐和 濱田 裕子 <small>令和3年3月31日退職</small> 前野 有佳里 | 菊地 君与 <small>令和2年4月1日採用</small> 宮田 潤子 | 木村 一絵 佐藤 洋子 末次 美子 福田 陽子 <small>令和3年3月31日退職</small> 藤田 紋佳 藤田 貴子 森口 晴美 | |
| 医用量子線科学 | | | | | |
| 基礎放射線科学 | 有村 秀孝 藤淵 俊王 | 高橋 昭彦 納富 昭弘 | | 河窪 正照 尹 湧琇 <small>令和3年2月26日退職</small> | |
| 医用放射線科学 | 佐々木 雅之 杜下 淳次 藪内 英剛 | 佐々木 智成 井手口 忠光 | | 田中 延和 | |
| 検査技術科学 | | | | | |
| 生体情報学 | 重藤 寛史 内藤 健 | | 田代 洋行 小島 夫美子 相原 正宗 <small>令和3年3月31日退職</small> | 安田 洋子 | |
| 病態情報学 | 水野 晋一 勝田 仁 | | 外園 栄作 栗崎 宏憲 渡邊 壽美子 | 木村 朋子 <small>育児休業R1.12.25~R2.5.31</small> 塩津 弘倫 八木 美佳子 | |

| No. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---------|---------------------|---|---|--------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| 委員会 | 総務委員会 | 将来計画、点検・評価委員会 年報委員会 | 人事委員会 教員活動評価委員会 | 財務委員会 | 入学試験実施委員会 | 学生委員会 |
| 合併委員会 | | | | | | |
| 委員長 | 部門長 | 部門長 | 部門長 | 部門長 | 【看】橋口 | 【看】中尾 |
| 副委員長 | 委員長指指名 【検】水野 | 委員長指指名 【検】水野 | 委員長指指名 【検】水野 | 施設・環境委員 会委員長 【検】内海 | 総務委員会で検 討、部門会議で 選出 | 総務委員会で検 討、部門会議で 選出 |
| 看護学 | 委員長指指名 | 委員長指指名 | 委員長指指名 | | 教授 (1) | R1.4~ R3.3 教授 (1) |
| | 分野長：藤田君 | 鳩野 | R1.4~ R3.3 ※前任者 の残任期 間 橋口 | | R1.4~ R3.3 教授 (1) | R2.4~ R4.3 教授 (1) |
| 医用量子線科学 | 分野長：藪内 | 藤田紋 | R1.4~ R3.3 有村 | | R2.4~ R4.3 教授 (1) | R1.4~ R3.3 助教 以上 (1) |
| 検査技術科学 | 分野長：水野 | 杜下 | R1.4~ R3.3 重藤 | | R1.4~ R3.3 教授 (1) | R2.4~ R4.3 助教 以上 (1) |
| | 分野長：水野 | 内海 | | | R2.4~ R4.3 教授 (1) | R1.4~ R3.3 教授 (1) |
| | 分野長：水野 | 田代 | | | | R2.4~ R4.3 助教 以上 (1) |
| | 部門長 副部門長 各分野長 | (各分野長) (部内)学生委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長 | (各分野長) (副部門長) (各分野長) (部内)地域・国際連携推進 委員会委員長 (部内)施設・環境委員会委員長 (部内)学生委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長 (部内)広報委員会委員長 | 部門長 (各分野長) | | 内海 |
| 職指定の委員 | | | | | | 安田 |

分野から選出する委員

| No. | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | |
|---------|------------------|----------------------------|------------------|----------|--|-----|----------------------------------|--------------------------------|------------------|--------------|---|--------|
| 委員会 | 教務委員会 | | 大学院委員会 | | 施設・環境委員会 | | 地域・国際連携推進委員会 | | 広報委員会 | | 放射線安全委員会 | |
| 合併委員会 | 【看】諸隈 | | 【放】藤淵 | | 【検】内海 | | FD実行委員会 | | 【放】杜下 | | 北園 | |
| 委員長 | 総務委員会で検討、部門会議で選出 | | 総務委員会で検討、部門会議で選出 | | 前年度副委員長 | | 前年度副委員長 | | 総務委員会で検討、部門会議で選出 | | 医学研究院長 | |
| 副委員長 | 【検】重藤 | | 【看】橋口 | | 【看】嶋野 | | 総務委員会検出 | | 【放】有村 | | 放射線取扱主任者 納富(H26.4~) | |
| 看護学 | 教授 (1) | R1.4~ R3.3 ※前任者の兼任期間 | 嶋野 | 教授 (1) | R1.4~ R3.3 ※前任者の兼任期間 | 嶋野 | 教授 (1) | R1.4~ R3.3 | 橋口・濱田 | 教授または准教授 (1) | R1.4~ R3.3 R2.4~ R4.3 | 中尾・前野有 |
| | 講師以上 (1) | R2.4~ R4.3 | 橋口 | 助教以上 (1) | R2.4~ R4.3 | 藤田貴 | 助教または准教授 (5) | R1.4~ R3.3 R2.4~ R4.3 | 宮田・山口・道面 菊地 | 助教または講師 (2) | R1.4~ R3.3 | 木村 |
| 医用量子線科学 | 教授 (1) | R2.4~ R4.3 | 有村 | 教授 (1) | R1.4~ R3.3 | 藤淵 | 教授または准教授 (1) | R2.4~ R4.3 | 有村 | 助教または准教授 (1) | R1.4~ R3.3 | 杜下 |
| | 講師以上 (1) | R1.4~ R3.3 | 佐々木智 | 助教以上 (1) | R1.4~ R3.3 | 高橋 | 助教または講師 (2) | R1.4~ R3.3 | ユン 田中 | 助教または講師 (1) | R1.4~ R3.3 | 納富 |
| 検査技術科学 | 教授 (1) | R2.4~ R4.3 | 重藤 | 教授 (1) | R1.4~ R3.3 | 内海 | 教授または准教授 (1) | R1.4~ R3.3 | 重藤 | 助教または准教授 (1) | R1.4~ R3.3 | 勝田 |
| | 講師以上 (1) | R2.4~ R4.3 | 外園 | 助教以上 (1) | R2.4~ R4.3 | 栗崎 | 助教または講師 (2) | R2.4~ R4.3 | 小島 塩津(再任) | 助教または講師 (1) | R1.4~ R3.3 | 相原 |
| 職指定の委員 | | | | | 支線LAN管理者 【保健学科本館】 (看護)藤田紋助教、山口助教 【基礎研究B棟】 (主)(放射)高橋准教授 (副)(検査)田代講師 【総合研究棟J-4F】 (検査)田代講師 | | ※NIEEP(教育の質向上支援プログラム)の実施責任者:橋口教授 | | | | 部門長 放射線取扱主任者【納富(H26.4~)】 放射線取扱副主任者【赤坂】H30年度退職 事務部長 | |

分野から選出する委員

※(部内)教務委員会委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。

※(全学)教育企画委員会委員は、(部内)教務委員会委員長が就任する。

【令和2年度病院地区委員会】

| 番号 | 委員会名 | 役職指定等 | 現(R2)委員 | 任期 | 始期 | 終期 | 委員資格・条件等 | 備考 |
|-----|--|-----------------------------|---|----|---------|---------|---|--|
| 1 | アイソトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会 | | 【放射】佐々木教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 講師以上1名 | 医学研究院から5名(内、保健学から1名) |
| 2 | アイソトープ総合センター 病院地区実験室放射線安全委員会 | | 【放射】納富准教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 講師以上1名 | |
| 3 | アイソトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生 実習室放射線取扱副主任者 | | 【放射】 藤淵 准教授 | | | | | RIセンターから委嘱依頼有 選出の必要なし |
| 4 | 附属図書館医学図書館運営委員会 | 部門内教務委員会委員長、副委員長 | 【看護】諸隈教授 | 2年 | R2.4.1 | | 教授2名 | 〔部門内〕図書委員会は教務委員会と統合→教務委員会委員長・副委員長が兼ねる |
| | | | 【検査】重藤教授 | | R2.4.1 | | | |
| 5 | 医療系統合教育研究センター委員会 | 部門内教務委員長(実質的な任期は1年) | 【検査】小島講師 | 2年 | H31.4.1 | R3.3.31 | 保健学部 教員から1名 | ・副センター長 ※センター長は各部局選出の副センター長4名から1名が輪番で選出(原則、副センター長経験者から) ★センター長 H25-H26 医 H27-H28 歯 H29-H30 保 R1-R2 薬 ・〔部門内〕教務委員長 →実質的な任期は1年 |
| | | | センター長は薬学部【放射】藤淵教授 | | H31.4.1 | R3.3.31 | 保健学部 教員から1名 | |
| | | | 【看護】丸山講師 | | R2.4.1 | R4.3.31 | の教員から1名 (医療系統合教育研究センター兼任教員) | |
| 6 | 医療系統合教育研究センター ICT活用教育推進専門部会 | | 【放射】高橋 准教授 | - | - | - | | H26.6～ |
| 7 | 病院地区協議会 | 【職指定】部門長 | 佐々木教授 (部門長) | - | - | - | 部門長 | 医学・歯学・薬学 研究院長、生体 防御医学研究所 長、病院長、保 健学部部門長、医 系学部等事務部 長、病院事務部 長、医療系統合 教育研究セン ター長及び(オプ ザーパーとして) 副病院長(歯科 部門) |
| | | 【職指定】 医療系統合教育 研究センター長 | (薬) | - | - | - | 医療系統合 教育研究セ ンター長 | |
| 7-1 | 九州大学病院地区学生感染対策 委員会 | | 【検査】水野 教授 | 2年 | H31.4.1 | R3.3.31 | 九州大学病院 地区学生感染 対策委員会内 規第3条1項「学 部(学科)、学 府の学生の教 育または感染 対策に責任を 持つ組織に所 属する教員のう ちから選出され た者 1名」 | |
| 8 | 九州大学医の倫理に関する協議会 | 【職指定】部門長 | 佐々木教授 (部門長) | - | - | - | 部門長 | 部局長・保健学 部部門長・各倫理 審査委員会委員 長・人文・社会 科学の有識者・ その他協議会が 必要と認めた者 |
| 9 | 総合研究棟管理運営委員会 | 【職指定】部門長 | 佐々木教授 (部門長) | 2年 | - | - | 部門長 | ※4号委員を兼ねる ※5号委員 部局管理運用部 分の許可を受けて いる者 ⇒該当なし |
| | | | - | | - | | | |
| 10 | 馬出地区職員等用駐車区域委員会 | | 【放射】 井手口准教授 (准教授以下) 【看護】嶋野教授 (教授) | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 教授1名、准 教授以下1名 | |

【令和2年度病院地区委員会】

| 番号 | 委員会名 | 役職指定等 | 現(R2)委員 | 任期 | 始期 | 終期 | 委員資格・条件等 | 備考 |
|----|--------------------------------|--|--|----|---------------------------------|----------|--|--|
| 11 | 病院サイクロtron運用・薬剤審査委員会 | | 【放射】 佐々木 教授 | 2年 | H29.10.1 | R1.9.30 | 病院地区所属保健学部門の教員1名 | 委嘱依頼あり 選出不要 |
| 12 | 病院放射性医薬品委員会 | | 【放射】 佐々木教授 | 2年 | H30.4.1 | R2.3.31 | 教員1名 | 委嘱依頼あり 選出不要 |
| 13 | 病院先進医療適応評価委員会 | | 【看護】青本講師 | 2年 | H31.4.1 | R3.3.31 | 保健学部門助教以上、女性教員 | |
| 14 | 医系地区部局臨床研究倫理審査委員会 | | 【検査】相原講師 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 保健学部門講師以上2名(1名は教授とする) | 委員会の構成上、H29では女性委員の選出依頼あり。 |
| | | | 【看護】諸隈 教授 | | H31.4.1 | R3.3.31 | | |
| 15 | 医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会 | | 【検査】勝田教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 保健学部門教授1名(医学に関する専門家) | |
| 16 | 医学研究院情報公開委員会 | | 【職指定】 教育研究評議員 (部門長) | - | - | - | 教育研究評議員 | 年5回程度 |
| | | | (必要に応じて選出) | - | - | - | | |
| 17 | 医学研究院教員業績評価専門部会 | 部門長 各分野長 | 部門長 各分野長 | - | - | - | 部門長 各分野長 | 申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている |
| 18 | 基礎研究B棟管理運営委員会 | 【職指定】 ①部門長 ②当該年度施設・環境委員長 ③前年度施設・環境委員長 | | - | - | - | ※部門長、当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる→実質的な任期は2年 | 基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について |
| 19 | 病院運営会議 オブザーバー委員 | | 【放射】佐々木教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 保健学部門臨床系教授1名 | 毎月1回開催 |
| 20 | 安全・衛生委員会 | | 【検査】内海教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | | 申し出がないかぎり再任 毎月1回開催 |
| | | | 【看護】木原助教 | | R2.4.1 | R4.3.31 | | |
| 21 | 海外交流センター運営委員会委員 | | 【看護】橋口 教授 | 2年 | H29.4.1 | H31.3.31 | | 再任可 |
| 22 | 九州大学病院特定認定再生医療等委員会 | 委員会より指名 | 【看護】樗木教授 (副委員長) | 2年 | | | 委員会から指名(保から選出手続き不要) | 再任可 |
| 23 | KITE連絡員 | | 【看護】藤田紋助教 山口助教 【放射】納富准教授 【検査】田代講師 | - | H27.10.1 H22.4.1 H27.10.1 | | | 施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(H30年7月6日施設・環境委員会にて決定) |
| 24 | 九州大学院医研究等動物実験委員 | | 【検査】勝田 教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 九州大学院医研究等動物実験委員会内規第3条9号「その他委員会が必要と認める者若干人」 | 委嘱依頼あり 選出不要 |
| 25 | アイソトープ総合センター 病院地区学生実習室運営委員会 | | 【放射】 佐々木 教授 | 2年 | H30.4.1 | R2.3.31 | 講師以上1名 | |
| 参考 | 福岡医学雑誌編集委員会 | | ①【放射】佐々木教授 ②【看護】嶋野 教授 ③【検査】 | - | - | - | 各分野から1名 | ①編集幹事 ②編集委員 ③編集委員 |

【令和2年度全学委員会】

| 番号 | 委員会 | 職指定等 | 現(R2)委員 | 任期 | 始期 | 終期 | 委員資格・条件等 | 備考 |
|------|---------------------------|---|----------------------|------------------|------------------|--------------------|---|---|
| 1 | 教育研究評議会 (オブザーバー) | 【職指定】医学部部長または 保健学部部長で、医学研究 院長で無い方 | 佐々木教授 (学科長) | - | - | - | 九州大学教育研究評議会 規則第6条第1項(学 部長の推薦に基づき総 長が必要と認める者) | 医学研究院における 九州大学教育研究評 議会委員に関する申 合せ(H22.11.10教授 会決定) |
| 2 | キャンパス計画及び施設 管理委員会 | 【職指定】 病院地区協議会議長 | (生) | | | | | <地区協議会議長 > 医・歯・薬・病・生・保の 輪番 |
| 3 | 研究用微生物安全管理委 員会 | | 【検査】相原講師 | 2 年 | H31.4.1 | R3.3.31 | 研究用微生物を取扱う 施設を置く部局の教授、 准教授及び講師各1名 | ※医学とは別枠 ※願わくば、藤本教 授、小島講師と交互に 担当をお願いしたいと のこと。(H25.12.25) |
| 4-1 | 放射線障害防止委員会 | | 【放射】藤淵 准教授 | 2 年 | H30.9.1 | R2.8.31 | | |
| 4-2 | 放射線障害防止委員会 オブザーバー | | 【放射】 納富 准教授 | - | H26.4.1~ | - | | 放射線取扱主任者が オブザーバーとして参 加 |
| 5 | 環境保全管理委員会 | | 【検査】外園講師 | 2 年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 環境保全管理委員会が 必要と認めた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題 に詳しい教員) | 環境安全センター委 員会委員を兼ねる ★(部門内)施設・環境 委員会構成員となる |
| 6 | 環境安全センター委員会 | | 【検査】外園講師 (同上) | 2 年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 環境安全センター委員 会が必要と認めた者 ※医学とは別枠 | 環境保全管理委員会 委員が兼ねる(H18年 度から) |
| 7 | 入学試験審議会 | 【職指定】学科長 | 佐々木教授(学科長) | - | - | - | | 保健学科長がオブ ザーバーとして参加 |
| 8 | 入学試験実施委員会 | 【職指定】 部内入試実施委員会委員 長 | 【看護】橋口教授 | 1 年 | R2.4.1 | R3.3.31 | 九州大学入学試験実施 委員会等規程第3条第1 項第11号(総長が必要と 認めた者若干人)(任 期1年) | [部門内]入学試験実 施委員会委員長 |
| 9 | 入学者選抜研究委員会 | | 【検査】渡辺講師 | 2 年 | R2.5.1 | R4.4.30 | 入学者選抜研究委員会 規程第3条第1項第10号 (総長が必要と認めた者 若干人) | 統計のできる准教授ク ラス |
| 10 | 学生支援委員会 | 【職指定】 部内学生委員会委員長 【職指定】 部内学生委員会副委員長 | 【看護】中尾教授 【看護】後藤教授 | (2 年) | R2.4.1 R2.4.1 | R3.3.31 R3.3.31 | 学生支援委員会が必要 と認めた者 若干人 | [部門内]学生委員会 委員長・副委員長 →実質的な任期は1年 |
| 10-1 | 学生生活実態調査実施 WG委員 | | 【看護】中尾教授 | | | | | |
| 11 | 教育企画委員会 | 【職指定】 部内教務委員会委員長 | 【看護】諸隈教授 | (2 年) | R2.4.1 | R3.3.31 | 医学系学府保健学専攻 又は医学部保健学科か ら選ばれた教授1名 | ※医学とは別枠 [部門内]教務委員会 委員長 →実質的な任期は1年 |
| 12 | 基幹教育委員会 (H25.11 新設) | 【職指定】 部内教務委員会委員長 | 【看護】諸隈教授 | (2 年) | R2.4.1 | R3.3.31 | 医学系学府保健学専攻 の教授のうちから選ばれ た者 1人 | [部門内]教務委員会 委員長 →実質的な任期は1年 |
| 13 | 21世紀プログラム専門委 員会 | H24 看護学から選出 H26 検査から選出 H28 放射から選出 H30 放射から選出 R1年度看護分野長 R2年度検査分野長 R3年度放射分野長で終了 | 【検査】水野教授 | | R2.4.1 | R3.3.31 | 各学部から選ばれた教 授1名 ※医学として | 看護・検査・放射分野 の輪番 |
| 14 | 21世紀プログラム主導教 員(修学指導) | R1年度看護分野長 R2年度検査分野長 R3年度放射分野長で終了 | 【検査】水野教授 | | R2.4.1 | R3.3.31 | | 看護・検査・放射分野 の輪番 |
| 15 | 基幹教育実施会議 | 【職指定】 部内教務委員会委員長 | 【看護】諸隈教授 | (な し) | R2.4.1 | R3.3.31 | その他運営会議が必要 と認めた者 | [部門内]教務委員会 委員長 →実質的な任期は1年 |
| 16 | 大学院基幹教育実施会議 (H26.1 新設) | 【職指定】 部内大学院委員会委員長 | 【放射】藤淵教授 | (2 年) | R2.4.1 | R3.3.31 | その他運営会議が必要 と認めた者 | [部門内]大学院委員 会委員長 →実質的な任期は1年 |

【令和2年度全学委員会】

| 番号 | 委員会 | 職指定等 | 現(R2)委員 | 任期 | 始期 | 終期 | 委員資格・条件等 | 備考 |
|----|---------------------------------------|----------------------|--|------|----------|---------|--|---|
| 17 | 全学情報環境利用委員会 | | 【放射】高橋准教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として | *H26.3まで有村准教授 |
| 18 | ハラスメント等対策委員会 | | (歯) (病) (生) | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性) | 医・歯・薬・病・生の輪番 |
| 19 | ハラスメント等相談員 | | (歯) (病) | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として ※H30.4.1 ¹ 保から選出依頼(住本研究院長より) | 医・歯・薬・病・生の輪番 |
| 20 | 加速器・ビーム応用科学センター複担教員 | | 【放射】納富 准教授 | なし | H26.4.1～ | - | | |
| 21 | 加速器・ビーム応用科学センターガンマ線施設運営委員会 | | 【放射】佐々木教授 | 2年 | H31.4.1 | R3.3.31 | 医学研究院、薬学研究院、総合理工学研究院及び比較社会文化研究院の専任の教授、准教授、講師のうちから選ばれた者 各1名 ※医学として ※R1.4.1 ¹ 保から選出依頼(北園研究院長より) | |
| 22 | 学生相談室相談員 | 【職指定】 部内学生委員会委員長 | 【看護】中尾教授 | (2年) | R2.4.1 | R3.3.31 | 学府・学部の教員(教授、准教授、講師) | 〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年 |
| | | 【職指定】 部内学生委員会副委員長 | 【看護】後藤教授 | | R2.4.1 | R3.3.31 | | |
| 23 | 基幹教育科目実施班員 ※理系ディシプリン科目班 生物専門チーム | | 【検査】水野教授 | 1年 | R1.7.1 | R2.6.30 | 各学部の教員のうちから実施会議が必要と認めた者 会議から指名あり(選出必要なし) | H26新設 |
| 24 | アイソトープ統合安全管理センター委員会 | | 【放射】納富 准教授 | 2年 | H31.4.1 | R3.3.31 | 別表2(2)センターの教授及び准教授 | RIセンター複担教員(放射線科学部) |
| | | | 【放射】藤瀬 准教授 | 2年 | | | | |
| 25 | 研究活動基礎支援専門委員会 | | 【看護】鳩野 教授 | 2年 | H30.4.1 | R2.3.31 | 研究活動基礎支援専門委員会要項第3条(5)その他専門委員会が必要と認めた者 委員会から指名(選出必要なし) | |
| 26 | 九州大学特定臨床研究監査委員会 | 委員会から指名 | 【看護】樽木 教授(副委員長) | 2年 | | | 委員会から指名(保から選出手続き不要) | |
| 27 | 支線LAN管理者 | | 保健学科本館 ⇒【看護】藤田紋助教 山口助教 基礎研究B棟 ⇒主【放射】高橋准教授 副【検査】田代講師 総合研究棟 ⇒【検査】田代講師 | - | | | 施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(H30年7月6日施設・環境委員会にて決定) | 133.5.216.0.24(保健学科本館)ならびに133.5.213.0.24(基礎研究B棟)の管理 |

令和2年度
年 報

作成日 : 令和3年10月

発行者 : 保健学部門 令和3年度 年報委員会
藤田君支
佐々木雅之・鳩野洋子・能登裕子・杜下淳次
田中延和・水野晋一・田代洋行

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1